

土質ボーリング柱状図(標準貫入試験)

調査名		第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)																																
事業名または工事名																																		
調査目的及び調査対象		建築 構造物基礎																																
ボーリング名		BV-1		調査位置		奈良県橿原市四条町地内					北緯		34° 30' 03. 7159〃																					
発注機関		奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局					調査期間		令和8年8月17日～令和8年8月19日			東経		135° 47' 28. 8878〃																				
調査業者名				主技術者		地質調査技士 登録番号		現場代理人		地質調査技士 登録番号		コア鑑定者		地質調査技士 登録番号		ボーリング責任者		地質調査技士 登録番号																
孔口標高		T. P. + 66. 40 m		角				方位				地盤勾配				使用機種		試錐機		東邦地下工機 D0-D														
総削孔長		26. 50 m		度				エンジン		ヤンマー TF-90V-E			ポンプ		東邦地下工機 BG-3C																			
標尺	標高	層厚	深度	現場土質名 (模様)	現場土質名	色調	相對密度	相對稠度	記事	孔内水位 測定月日	標準貫入試験										原位置試験		試料採取			室内試験	削孔月日							
m	m	m	m								深度-N値										深度		試験名 及び結果		深度		試料番号		採取方法		試験		月日	
																					m				m		号		法		験		日	
1	64.80	1.60	1.60		盛土(礫混じり粘土(質砂))	暗褐色			細～粗砂主体。不規則に多量粘土混入。φ2～30mm位の礫混入。有機物片点在。含水少。	1.75	3.4	1.15	1	2	1	4	350																	
2	64.15	0.65	2.25		砂質粘土	暗灰			粘性小～中。細～粗砂不規則に混入。腐植物点在。		10	2.15	1	4	5	10	300																	
3	63.60	0.55	2.80		シルト混じり砂	淡灰	rd3		細～粗砂主体。含水多。若干シルト混入。		3.6	3.15	1	2	1	4	330		3.20	孔内載荷試験														
4	61.55	2.05	4.85		砂混じり粘土	暗灰～暗褐			粘性中。細砂不規則に混入。腐植物点在。		7	5.15	2	2	3	7	300				4.00								08.17					
5	60.95	0.60	5.45		砂質粘土	暗褐～暗青灰	rc3		粘性中～大。腐植物混入。細～粗砂混入。		4.4	6.15	1	2	2	5	340				4.60													
6	60.25	0.70	6.15		礫混じり砂	淡灰			細～中砂主体。含水多。φ2～10mm位の礫混入。		18	7.15	6	6	6	18	300																	
7	59.80	0.45	6.60		砂質粘土	暗青灰	rc3		粘性中。細砂一様に混入。腐植物点在。		27	9.15	7	9	11	27	300																	
8	58.60	1.20	7.80		礫・シルト混じり砂	淡青灰	rd3		細～中砂主体。φ2～20mm位の礫混入。含水多。シルト少量混入。		39	10.15	13	14	12	39	300																	
9	58.00	0.60	8.40		砂混じり粘土	暗緑灰			粘性中。細砂混入。細礫や粗砂点在。		27	11.15	9	9	9	27	300																	
10	57.65	0.35	8.75		粘土質砂	暗青灰			細～中砂主体。粘土多量混入。		5	12.15	2	1	2	5	300																	
11	54.50	3.15	11.90		シルト混じり砂礫	淡青灰	rd3		φ2～40mm位の亜円～亜角礫主体。中～粗砂混入。細砂少量混入。含水多。シルト少量混入。		26	13.15	11	11	4	26	300																	
12	53.75	0.75	12.65		砂質粘土	青灰	rc3		粘性中。細砂一様に混入。腐植物点在。		7	14.15	2	2	3	7	300																	
13	53.05	0.70	13.35		シルト混じり砂礫	淡青灰	rd3		φ2～40mm位の礫主体。含水多。細～粗砂混入。		39	15.15	15	15	9	39	300																	
14	52.25	0.80	14.15		砂混じり粘土	暗青灰	rc3		粘性小～中。細砂少量混入。		20	16.15	8	6	6	20	300																	
15	51.35	0.90	15.05		粘土	淡灰	rd4		粘性中～大。腐植物点在。均質。		29	17.15	8	10	11	29	300																	
16	50.60	0.75	15.80		礫混じり砂	淡灰	rd3		中～粗砂主体。φ2～30mm位の礫混入。含水多。		56	18.15	11	17	28	56	300																	
17	49.55	0.45	16.85		礫混じり粘土質砂	淡青灰	rd3		細～粗砂主体。含水少。φ2～20mm位の礫混入。		34	19.15	11	11	12	34	300																	
18	48.65	0.90	17.75		砂質粘土	暗青灰	rd3		粘性小～中。腐植物点在。		20	20.15	6	8	11	25	300																	
19	47.10	1.55	19.30		粘土質砂	暗青灰	rd3		細～粗砂主体。含水少。粘土多量混入。		112.5	21.15	30	30	60	60	160																	
20	45.55	1.55	20.85		粘土混じり砂	暗青灰	rd4		粘性小～中。細砂一様に混入。所々、粘土質砂在。		78.3	22.15	17	27	16	60	230																	
21	42.90	2.65	23.50		礫・シルト混じり砂	暗黄緑～黄褐灰	rd5		細～粗砂主体。含水少。シルト不規則に多量混入。φ2～50mm位の礫混入。風化礫混入。		85.7	23.15	30	27	3	60	210																	
22					砂質粘土	暗青灰	rc5		粘性小～中。細砂一様に混入。所々、粘土質砂在。		48	24.15	10	14	24	48	300																	
23					礫・シルト混じり砂	暗黄緑～黄褐灰	rd5		粘性小～中。細砂一様に混入。所々、粘土質砂在。		78.3	25.15	12	33	15	60	230																	
24	39.90	3.00	26.50		礫混じり粘土質砂	黄褐灰～黄茶褐灰	rd5		細～粗砂主体。含水少。粘土多量に混入。φ2～50mm位の礫混入。風化礫混入。		56	26.15	11	19	26	56	300																	
25												26.45																						
26																																		
27																																		

土質ボーリング柱状図(標準貫入試験)

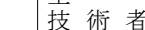
第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)																																
事業名または工事名																																
調査目的及び調査対象										建築 構造物基礎																						
ボーリング名					BV-2					調査位置					奈良県橿原市四条町地内					北緯		34° 30' 00. 2564"										
発注機関					奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局										調査期間					令和8年8月24日～令和8年8月27日					東経		135° 47' 28. 4222"					
調査業者名										主技術者		地質調査技士 登録番号			現代場人		地質調査技士 登録番号			コア鑑定者		地質調査技士 登録番号			ボーリング責任者		地質調査技士 登録番号					
孔口標高		T. P. + 67. 30 m			角 度	180° 上 下 0° 90°	方位	270° 西 0° 90° 180° 南 東	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機					東邦地下工機 D0-D					ポンプ					東邦地下工機 BG-3C					
総削孔長		31. 50 m										エンジン					ヤンマー TF-90V-E															
標尺	標高	層厚	深度	現場土質名(模様)	現場土質名	色調	相對密度	相對稠度	記号	孔内水位測定月日	標準貫入試験										原位置試験		試料採取			室内試験	削孔月日					
m	m	m	m						事		深度-N値										深度	試験名及び結果	深度	試験番号	採取方法	内試験						
											0	10	20	30	40	50	60	換算N値	深度	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈の貫入量	深度	試験名及び結果	深度	試験番号	採取方法	内試験			
											m							m		0	100	200	300									
1	66.30	1.00	1.00	盛土(シルト混じり砂礫)	黄褐灰				シルト混じり砂礫主体。0.50mまで、鉄クズ点在。0.50m以深、φ150mm位の玉石点在。含水少。								6	1.15	3	2	1	6		1.00	試掘							
	65.70	0.60	1.60	盛土(礫混じり粘土質砂)	暗茶褐				細～粗砂主体。φ2～30mm位の礫混入。含水少。									1.45		130	70	300										
2	64.95	0.75	2.35	砂質粘土	暗褐灰			rc3	粘性大。細～中砂不規則に混入。								4.5	2.15	2	1	2	5		2.65	孔内載荷試験							
	64.15	0.80	3.15	粘土混じり砂	暗灰			rd3	細砂主体。含水多。φ2～10mm位の礫混入。3m付近、細～中砂主体。									2.48	110	90	130	330										
3	63.30	0.85	4.00	礫混じり砂	暗灰			rd3	細～中砂主体。含水多。φ2～10mm位の礫混入。									3.15	3	4	4	11										
	63.00	0.30	4.30	シルト質砂	暗青灰				細砂主体。腐植物混入。シルト多量混入。									3.45														
5	61.90	1.10	5.40	粘土	黒褐～暗灰			rc2	粘性中～大。腐植物点在。均質。									4.15	1	2		3										
	61.45	0.45	5.85	砂質粘土	暗灰			rc3	粘性中。腐植物点在。									4.50	150	200		350										
6	60.40	1.05	6.90	粘土混じり砂	暗青灰			rd2	細～中砂主体。粘土質砂介在。含水多。不記憶に粘土混入。									5.40	2	2	3	7										
	59.80	0.60	7.50	砂質粘土	暗灰				粘性中～大。細～中砂混入。粘土質砂介在。									5.70														
8	59.15	0.65	8.15	粘土質砂	暗灰				細～中砂主体。含水中～多。粘土多量混入。									6.15	3	3	3	9										
	58.40	0.75	8.90	砂混じり粘土	暗青灰			rc3	粘性中。細砂不規則に混入。腐植物点在。シルト混入。									6.45														
9	57.35	1.05	9.95	砂質シルト	暗青灰			rc4	粘性小～中。細砂多量混入。腐植物点在。									8.15	1	2	2	5										
	56.55	0.80	10.75	粘土混じり砂	暗灰			rd3	細砂主体。細砂少量混入。含水多。雲母片点在。									8.49														
11								rd3	φ2～40mm位の亜円～垂角礫主体。中～粗砂混入。細砂少量混入。マトリックスはシルト混じり砂。含水多。									9.15	3	2	4	9										
	54.40	2.15	12.90	シルト混じり砂礫	暗灰			rd4										9.47	120	80	120	320										
13									細～中砂主体。φ2～20mm位の礫混入。粘土多量混入。風化礫認める。含水少～中。									10.15	4	5	7	16										
	51.60	2.80	15.70	礫混じり粘土質砂	暗青灰～暗緑灰			rd4										10.45														
16	50.75	0.85	16.55	シルト質砂	青灰			rd4	細砂主体、含水少。シルト多量混入。所々、砂質シルトに変わる。									11.15	10	9	10	29										
	49.60	1.15	17.70	砂質シルト	青灰			rc5	粘性小。細砂一様に混入。所々に砂質粘土介在。固結状。									11.45														
18	48.70	0.90	18.60	砂質粘土	青灰			rc5	粘性小。細砂一様に混入。腐植物点在。									12.15	8	12	14	34										
	47.60	1.10	19.70	礫混じり砂質粘土	青灰			rc5	粘性小。φ2～15mm位の風化礫混入。砂の混入は少ない。									12.45														
20									φ2～30mm位の礫主体。風化礫多い。マトリックスはシルト質砂。細～粗砂混入。含水少。									13.15	4	7	7	18										
	45.45	2.15	21.85	シルト質砂礫	黄褐灰			rd5										13.45														
22								rd4	φ2～30mm位の風化礫混入。未風化の礫も少量認める。細～中砂主体。含水少。									14.15	3	4	9	16										
								rd5	礫混じり砂質粘土を介在。									14.45														
24																		15.15	12	13	12	37										
																		15.45														
26																		16.15	11	11	12	34										
																		16.45														
28																		17.15	9	14	30	53										
																		17.45														
30																		18.15	7	8	9	24										
																		18.45														
32																		19.15	5	5	6	16										
																		19.45														
34																		20.15	38	22	40	60										
																		20.29														
36																		21.15	23	37	90	60										
																		21.34														
38																		22.15	13	15	21	49										
																		22.45														
40																		23.15	10	19	21	50										
																		23.45														
42																		24.15	9	15	23	47										
																		24.45														
44																		25.15	9	15	18	42										
																		25.45														
46																		26.15	11	15	34	60										
																		26.44														

土質ボーリング柱状図(標準貫入試験)

調査名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

事業名または工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	BV-3				調査位置	奈良県橿原市四条町地内						北緯	34° 30' 00. 4400"			
発注機関	奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局						調査期間	令和8年8月28日～令和8年9月1日						東経	135° 47' 33. 8536"	
調査業者名	[redacted]				主技術者	[redacted] 地質調査技士登録番号		現場代理人	[redacted] 地質調査技士登録番号		コア鑑定者	[redacted] 地質調査技士登録番号		ボーリング責任者	[redacted] 地質調査技士登録番号	
孔口標高	T. P. + 67. 79 m		角 度		方位		地盤勾配		使用機種	試錐機 東邦地下工機 D0-D						
総削孔長	32. 42 m									エンジン	ヤンマー TF-90V-E				ポンプ	東邦地下工機 BG-3C

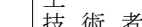
[illegible]

土質ボーリング柱状図(標準貫入試験)

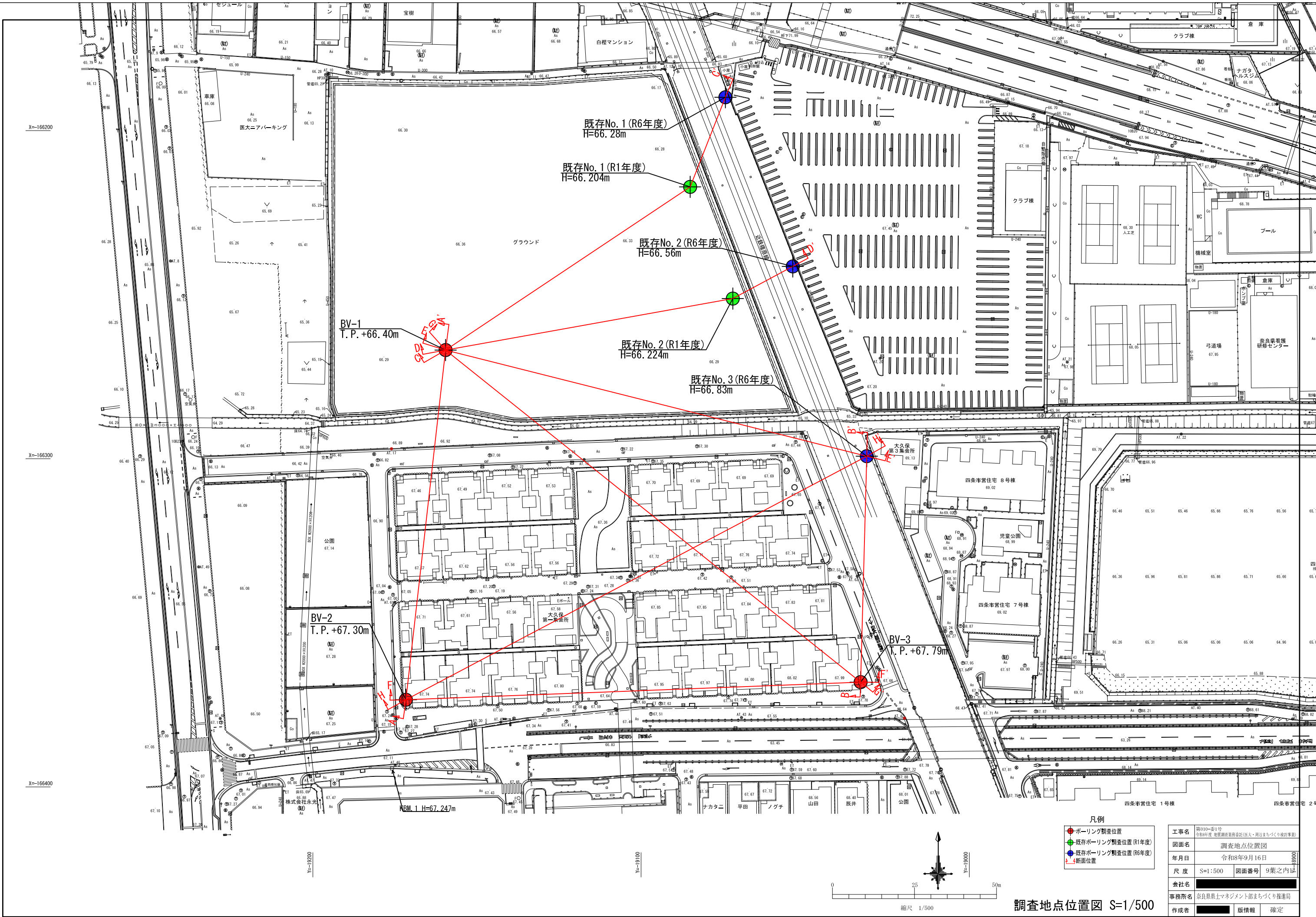
調査名	第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)
-----	---

事業名または工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名		BV-3		調査位置		奈良県橿原市四条町地内						北緯		34° 30' 00. 4400"									
発注機関		奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局						調査期間		令和8年8月28日～令和8年9月1日						東経		135° 47' 33. 8536"					
調査業者名				主技術者		地質調査技士 登録番号		現場代理人		地質調査技士 登録番号		コア鑑定者		地質調査技士 登録番号		ボーリング責任者		地質調査技士 登録番号					
孔口標高		T. P. + 67. 79 m		角				方位				地盤勾配				使用機種		東邦地下工機 D0-D					
総削孔長		32. 42 m		度		0°		位		エンジン		ヤンマー TF-90V-E				ポンプ		東邦地下工機 BG-3C					

[illegible]

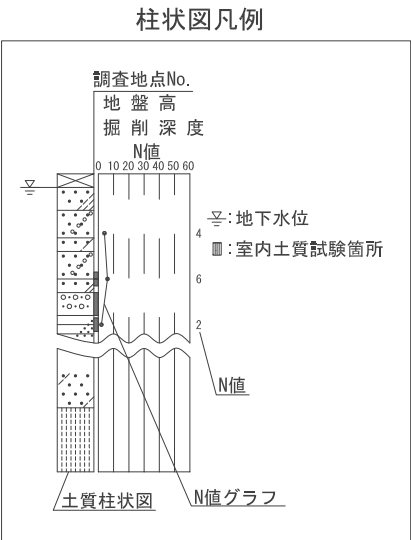
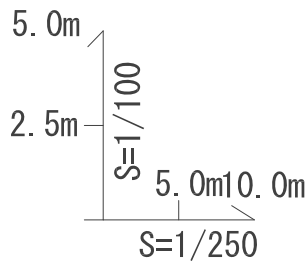
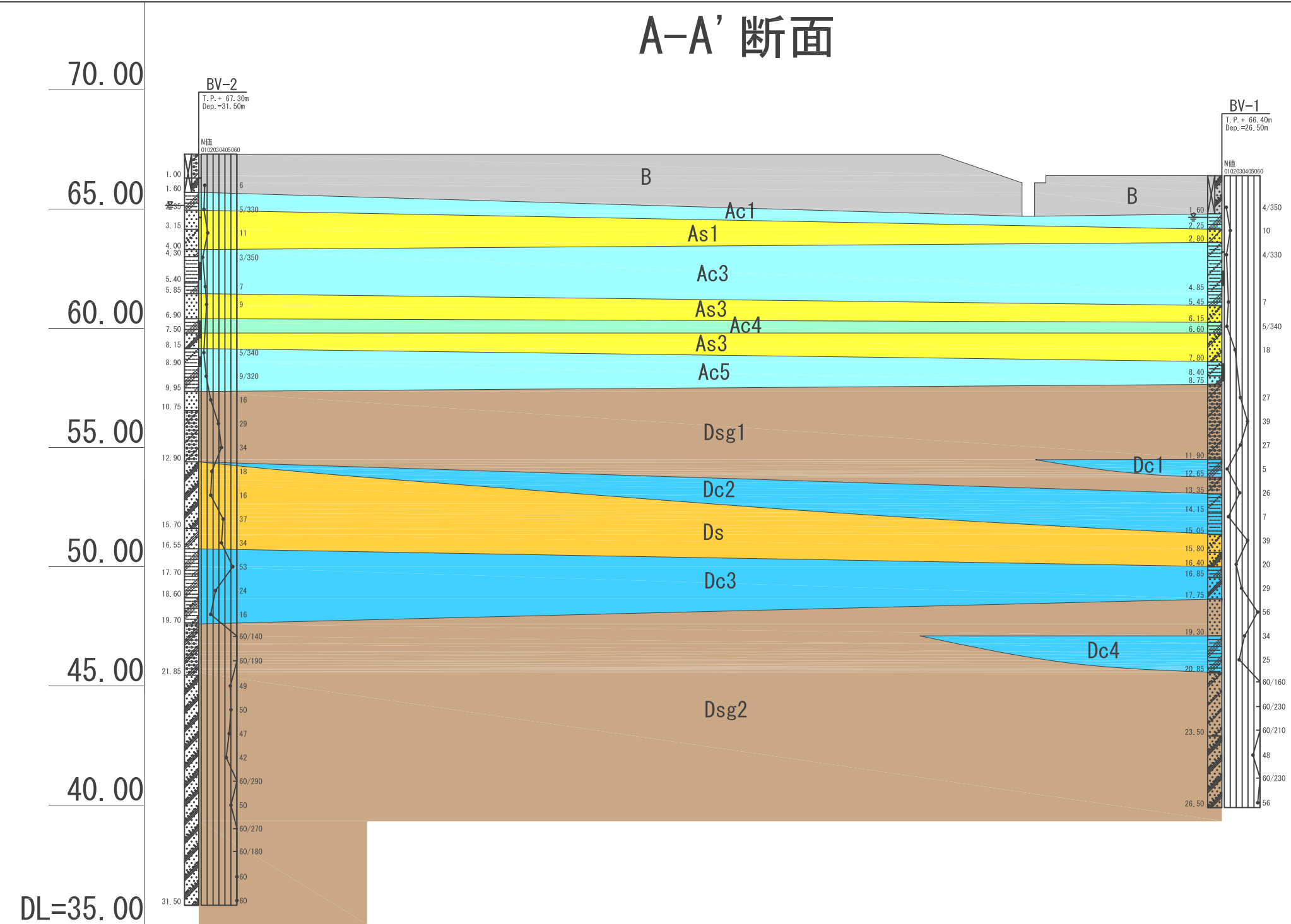


凡例	
●	ボーリング調査位置
●	既存ボーリング調査位置 (R1年度)
●	既存ボーリング調査位置 (R6年度)
+	断面位置

工事名	第010-第1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)
図面名	調査地点位置図
年月日	令和8年9月16日
尺度	S=1:500
図面番号	9葉之内 1
会社名	株式会社永光
事務所名	奈良県土木マネジメント部まちづくり推進局
作成者	版情報 確定

調査地点位置図 S=1/500

A-A' 断面



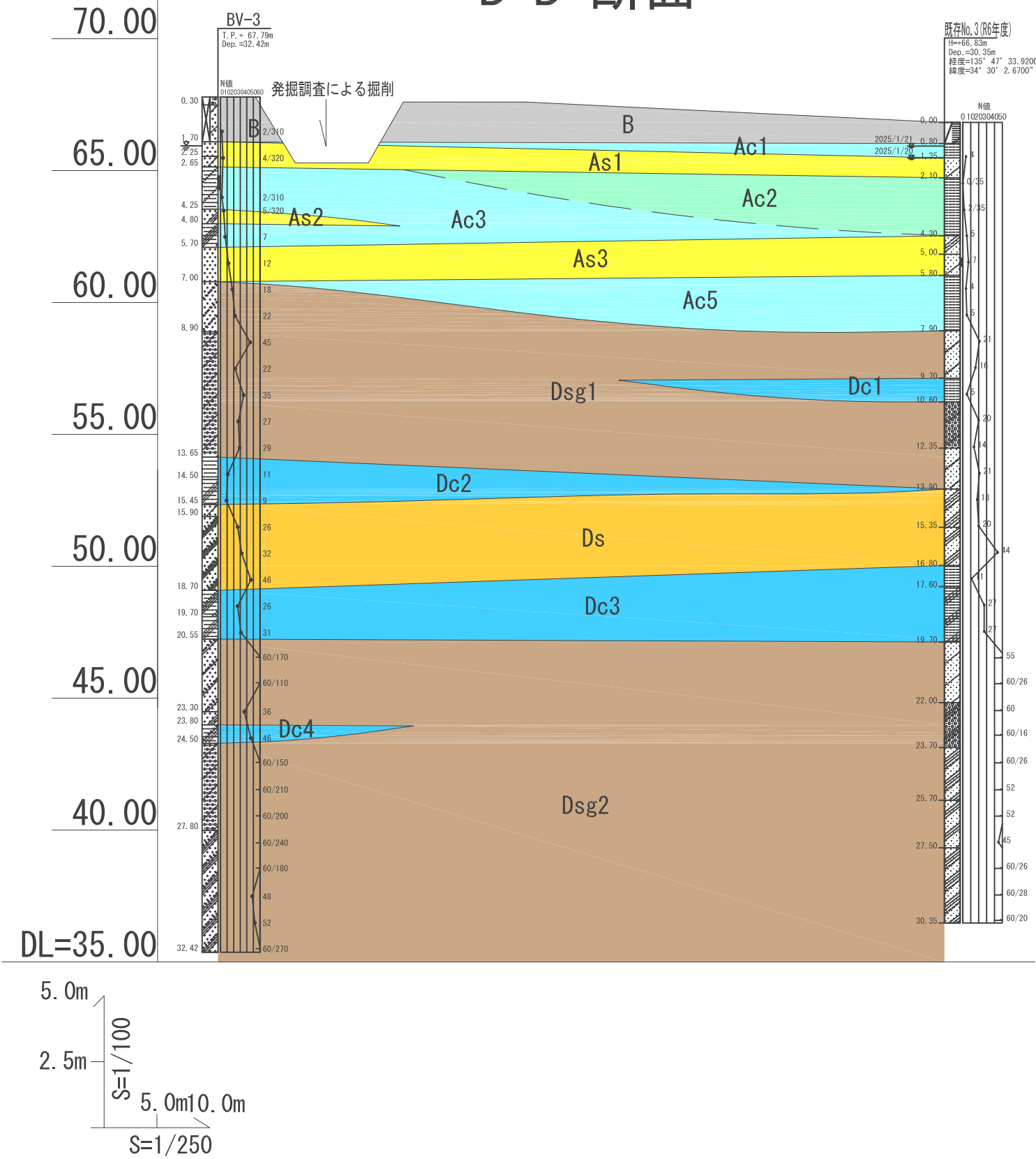
地層, 岩体区分凡例	
B	盛土層
As1~3	沖積第1~3砂質土層
Ac1~5	沖積第1~5粘性土層
Dc1~4	洪積第1~4粘性土層
Ds	洪積砂質土層
Dsg1~2	洪積第1~2砂質土・礫質土層

推定地質断面図

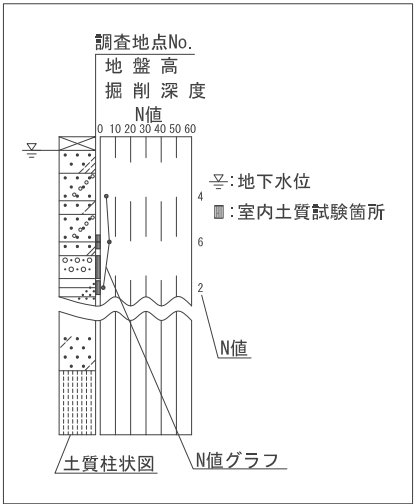
V=1/100
H=1/250

工事名	第010-委1号 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)		
図面名	推定地質断面図		
年月日	令和8年9月16日		
尺度	V=1:100 H=1:250	図面番号	9葉之内2
会社名	[Redacted]		
事務所名	奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局		
作成者	[Redacted]	版情報	確定

B-B' 断面



柱状図凡例



地層, 岩体区分凡例

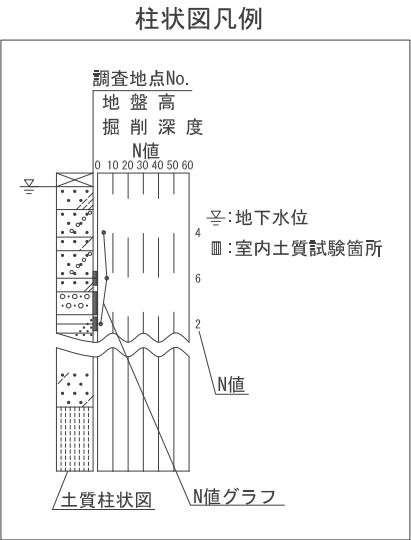
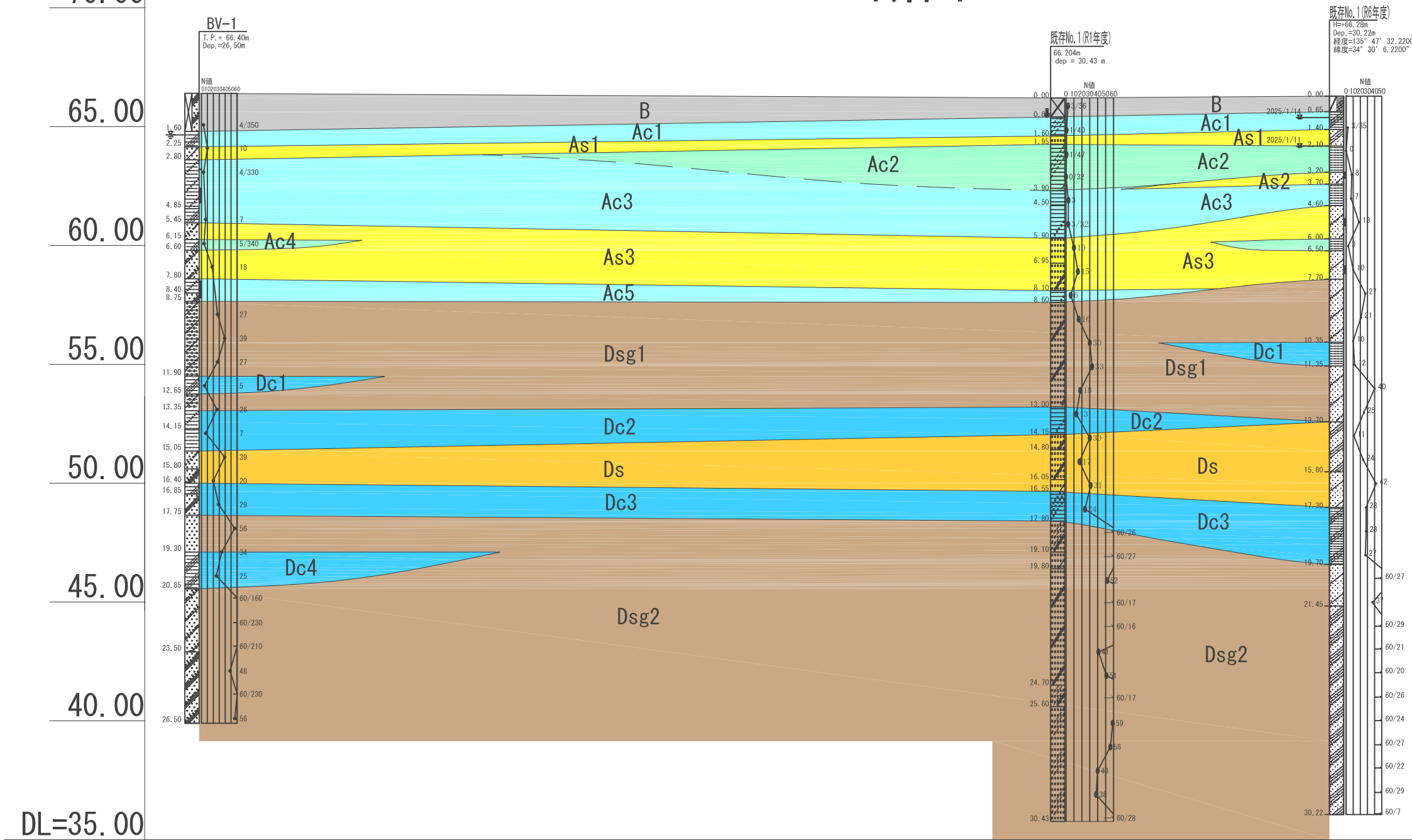
- B 盛土層
- As1~3 沖積第1~3砂質土層
- Ac1~5 沖積第1~5粘性土層
- Dc1~4 洪積第1~4粘性土層
- Ds 洪積砂質土層
- Dsg1~2 洪積第1~2砂質土・礫質土層

推定地質断面図

V=1/100
H=1/250

工事名	第010-委1号 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)		
図面名	推定地質断面図		
年月日	令和8年9月16日		
尺度	V=1:100 H=1:250	図面番号	9葉之内3
会社名	[Redacted]		
事務所名	奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局		
作成者	[Redacted]	版情報	確定

C-C' 断面

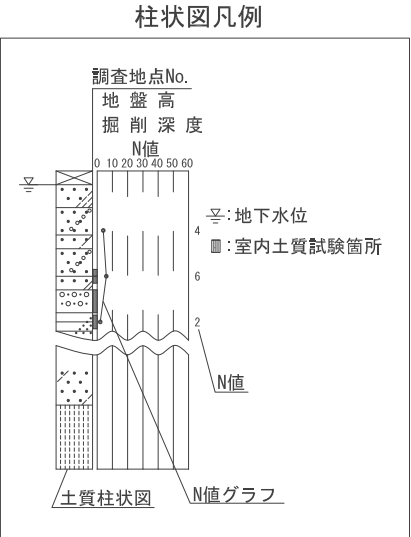
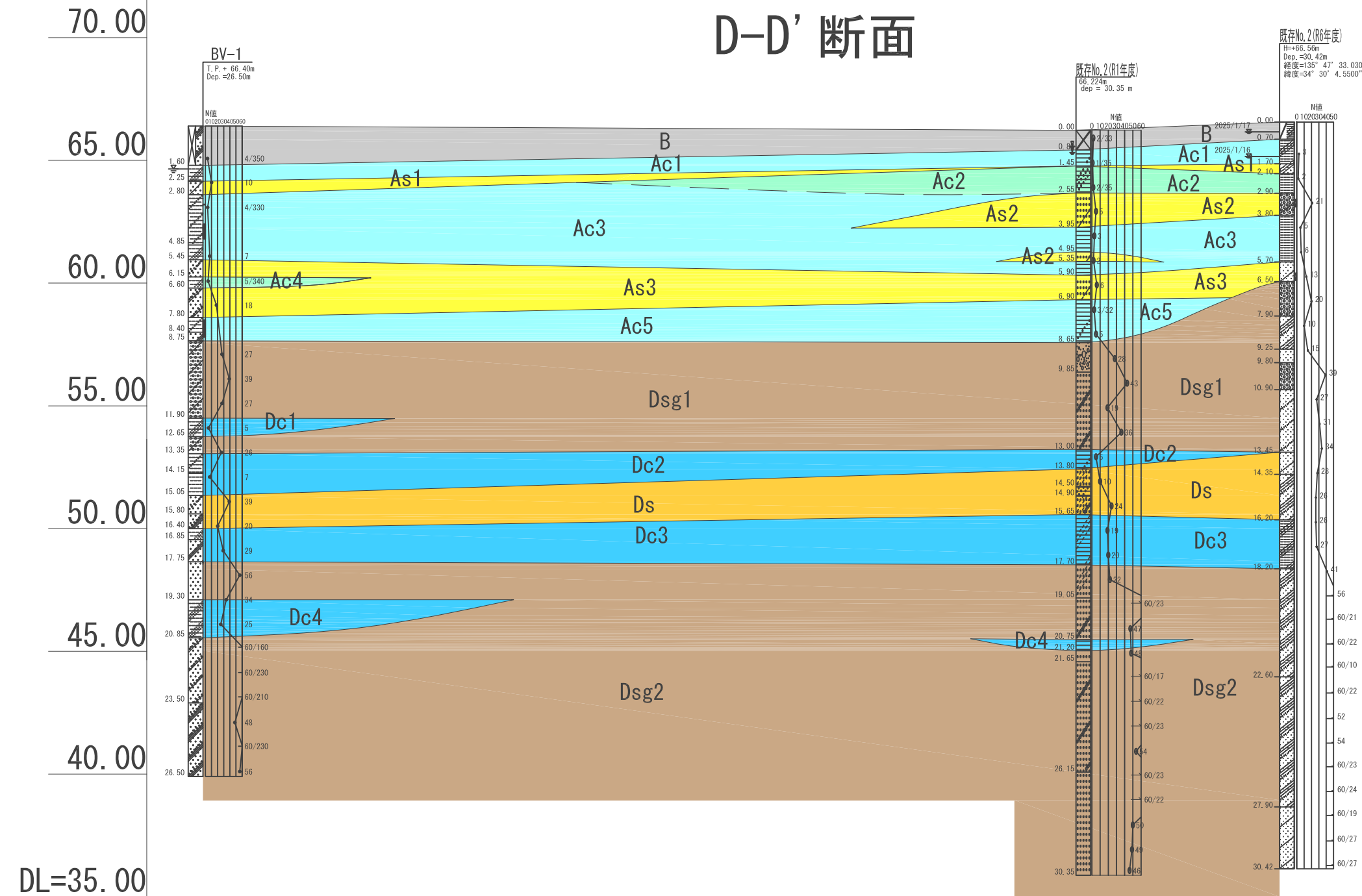


地層, 岩体区分凡例

- B 盛土層
- As1~3 沖積第1~3砂質土層
- Ac1~5 沖積第1~5粘性土層
- Dc1~4 洪積第1~4粘性土層
- Ds 洪積砂質土層
- Dsg1~2 洪積第1~2砂質土・礫質土層

推定地質断面図 V=1/100 H=1/250

工事名	第010-委1号 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)		
図面名	推定地質断面図		
年月日	令和8年9月16日		
尺度	V=1:100 H=1:250	図面番号	9葉之内4
会社名	[Redacted]		
事務所名	奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局		
作成者	[Redacted]	版情報	確定



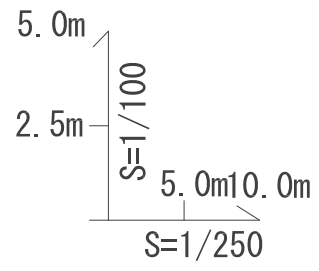
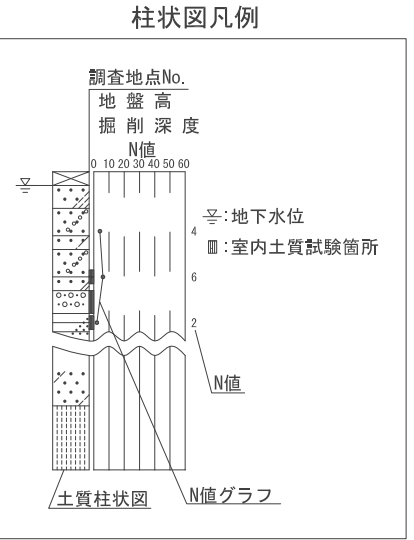
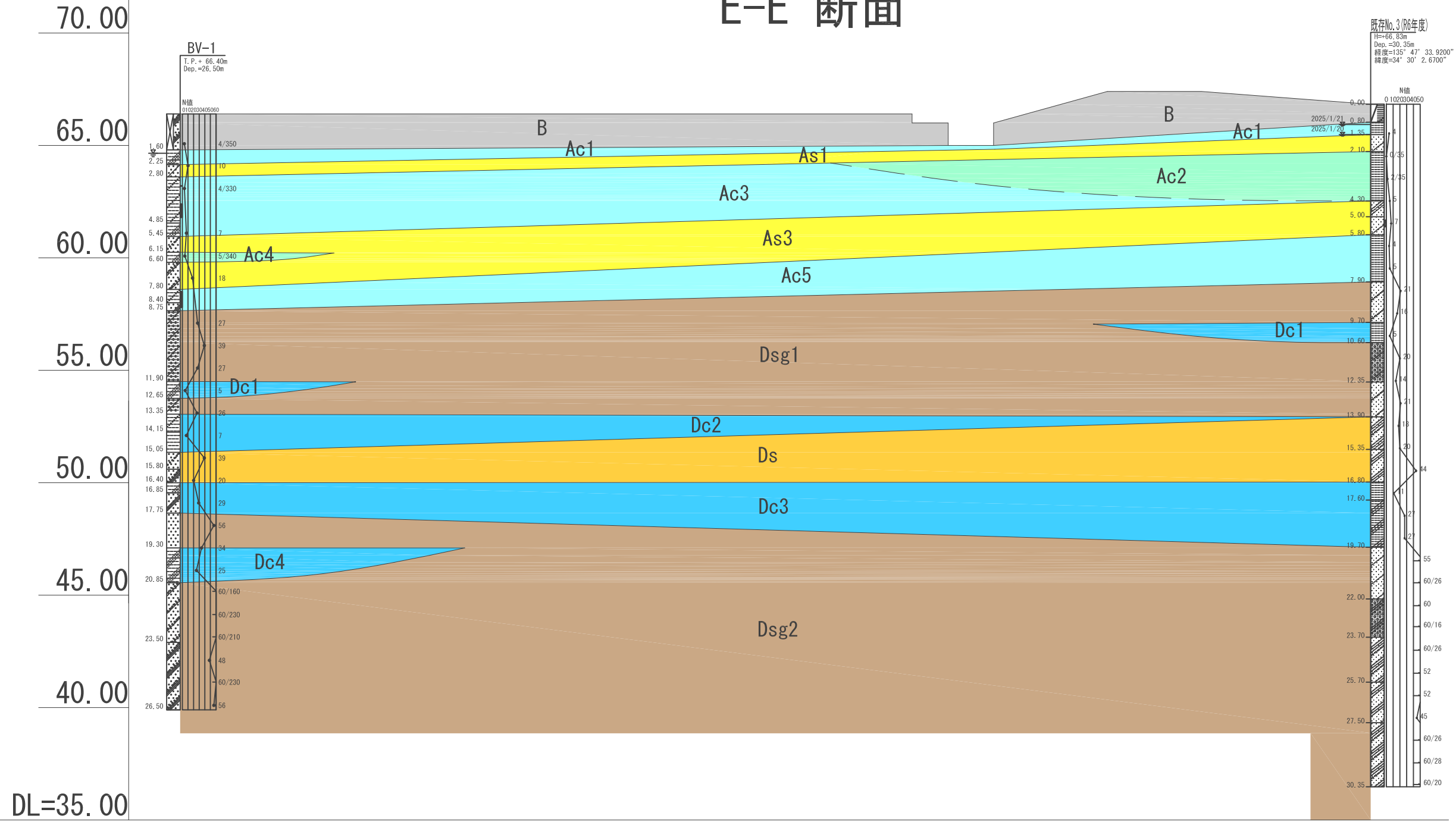
地層, 岩体区分凡例			
B	盛土層		
As1~3	沖積第1~3砂質土層		
Ac1~5	沖積第1~5粘性土層		
Dc1~4	洪積第1~4粘性土層		
Ds	洪積砂質土層		
Dsg1~2	洪積第1~2砂質土・礫質土層		

推定地質断面図

V=1/100
H=1/250

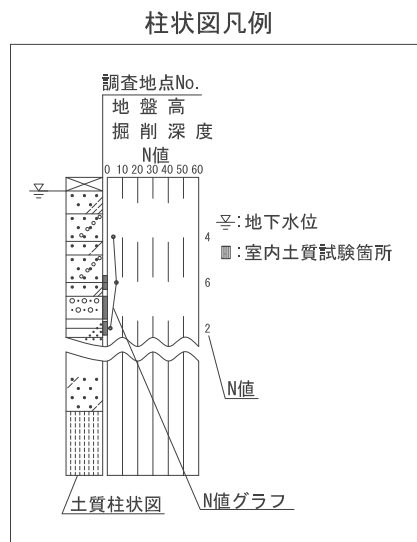
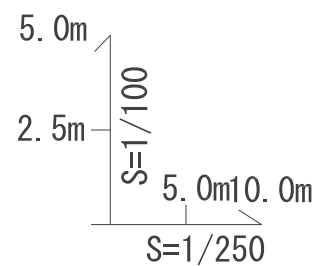
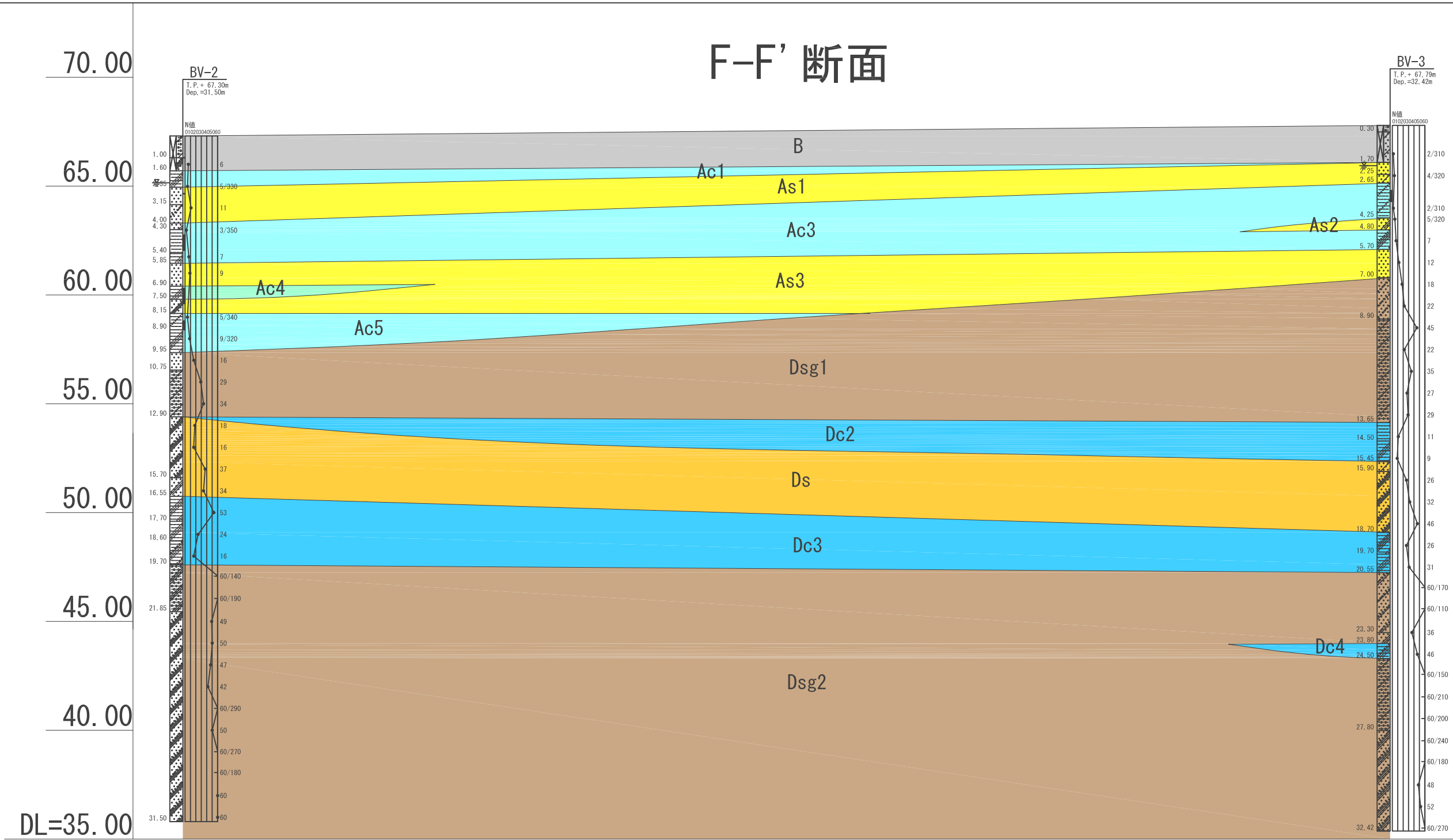
工事名	第010-委1号 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)		
図面名	推定地質断面図		
年月日	令和8年9月16日		
尺度	V=1:100 H=1:250	図面番号	9葉之内5
会社名	[Redacted]		
事務所名	奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局		
作成者	[Redacted]	版情報	確定

E-E' 断面



推定地質断面図 V=1/100 H=1/250

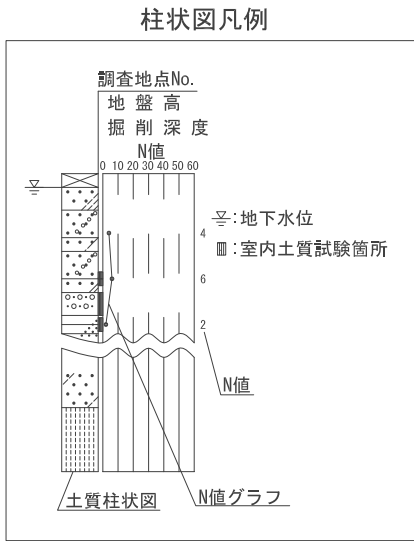
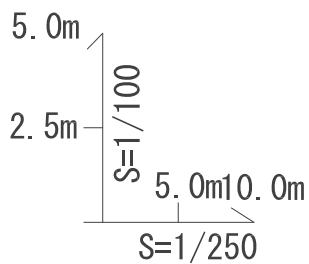
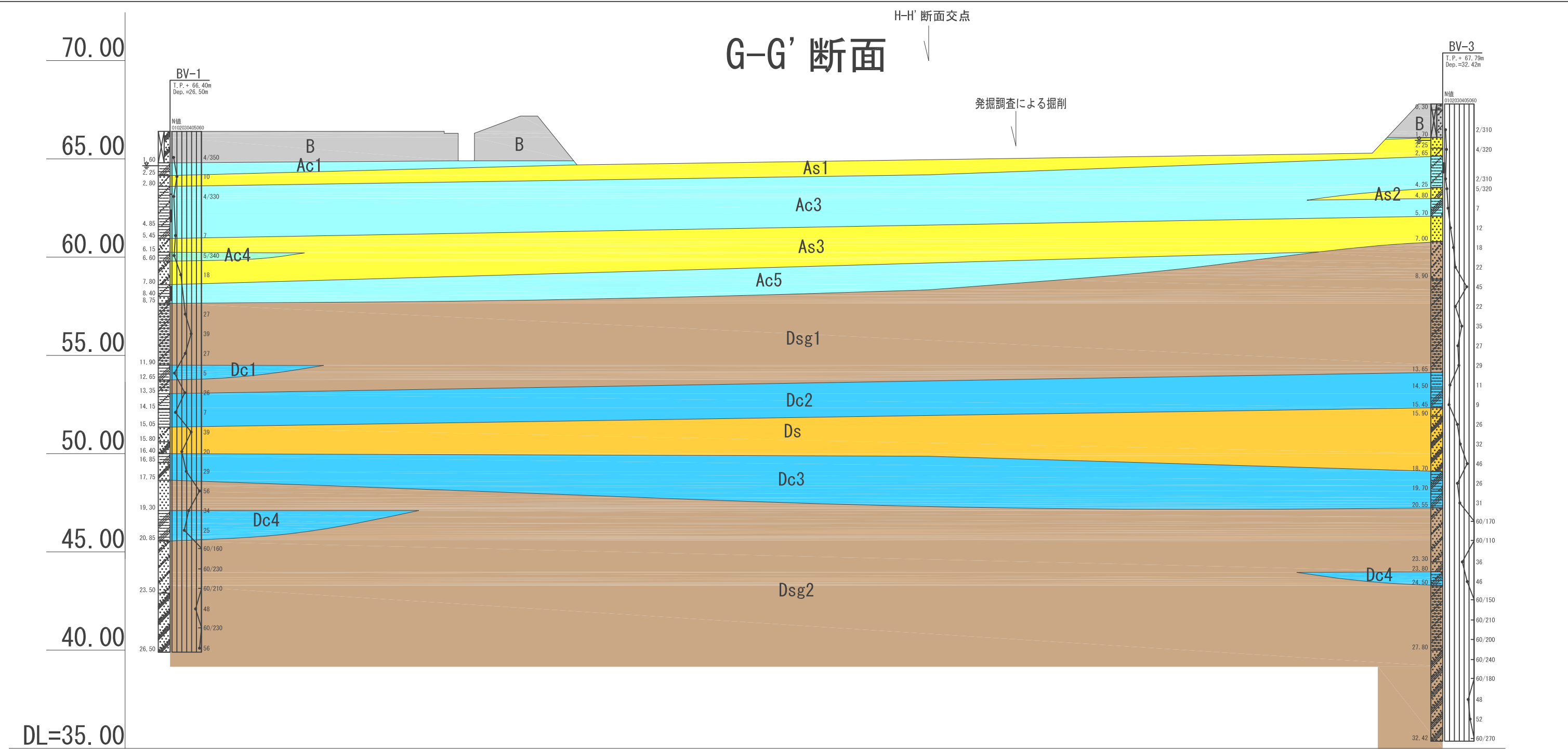
工事名	第010-委1号 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)		
図面名	推定地質断面図		
年月日	令和8年9月16日		
尺度	V=1:100 H=1:250	図面番号	9葉之内6
会社名	[Redacted]		
事務所名	奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局		
作成者	[Redacted]	版情報	確定



推定地質断面図

V=1/100
H=1/250

工事名	第010-委1号 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)		
図面名	推定地質断面図		
年月日	令和8年9月16日		
尺度	V=1:100 H=1:250	図面番号	9葉之内7
会社名	[Redacted]		
事務所名	奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局		
作成者	[Redacted]	版情報	確定



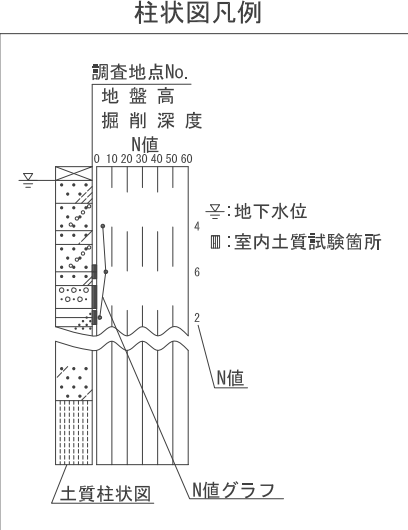
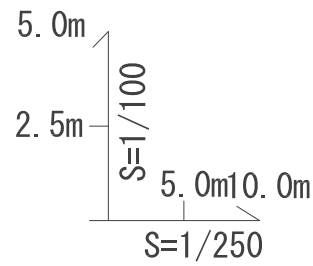
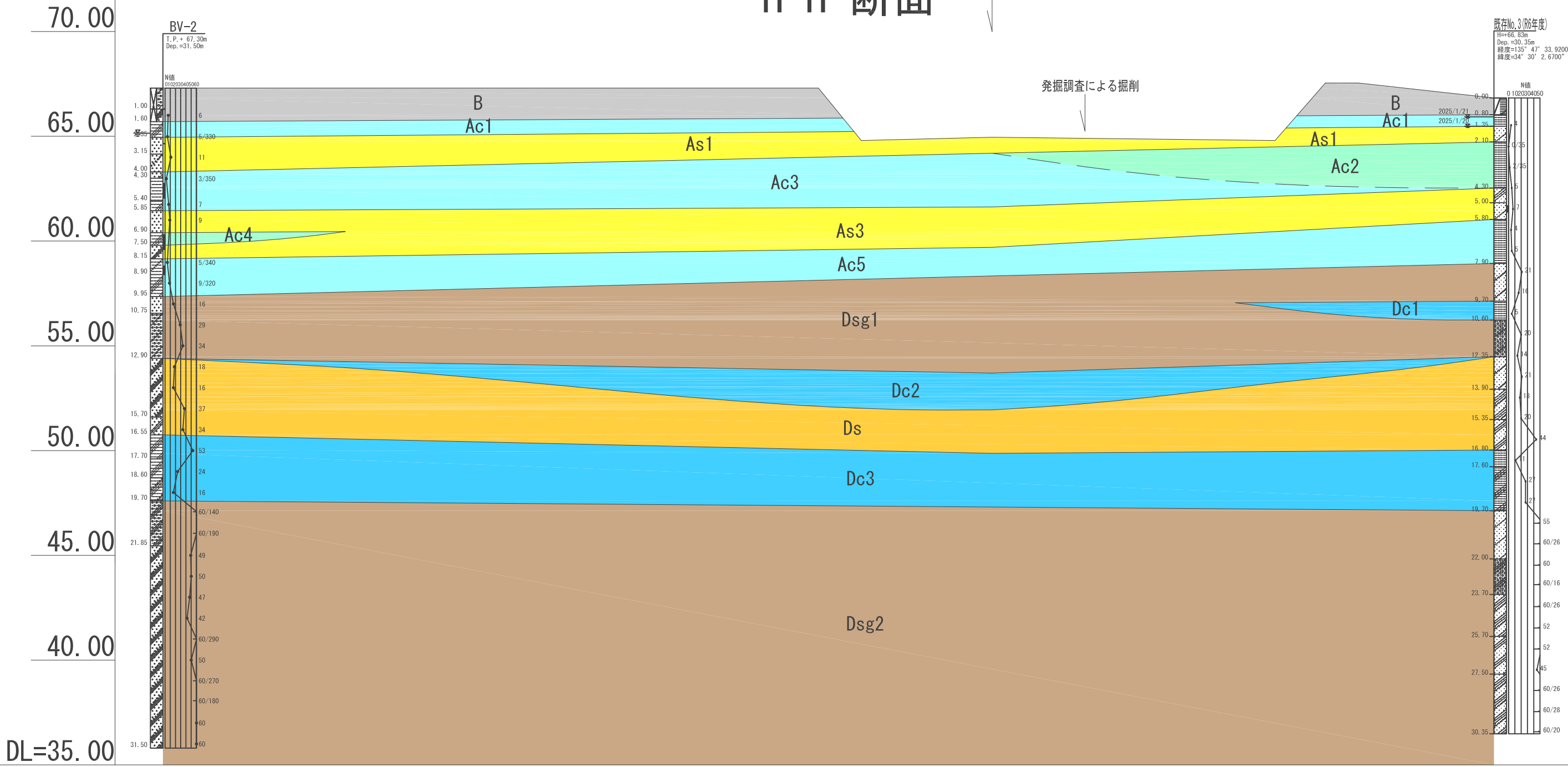
- 地層, 岩体区分凡例
- B 盛土層
 - As1~3 沖積第1~3砂質土層
 - Ac1~5 沖積第1~5粘性土層
 - Dc1~4 洪積第1~4粘性土層
 - Ds 洪積砂質土層
 - Dsg1~2 洪積第1~2砂質土・礫質土層

推定地質断面図

V=1/100
H=1/250

工事名	第010-委1号 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)		
図面名	推定地質断面図		
年月日	令和8年9月16日		
尺度	V=1:100 H=1:250	図面番号	9葉之内8
会社名	[Redacted]		
事務所名	奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局		
作成者	[Redacted]	版情報	確定

H-H' 断面 G-G' 断面交点



推定地質断面図 V=1/100 H=1/250

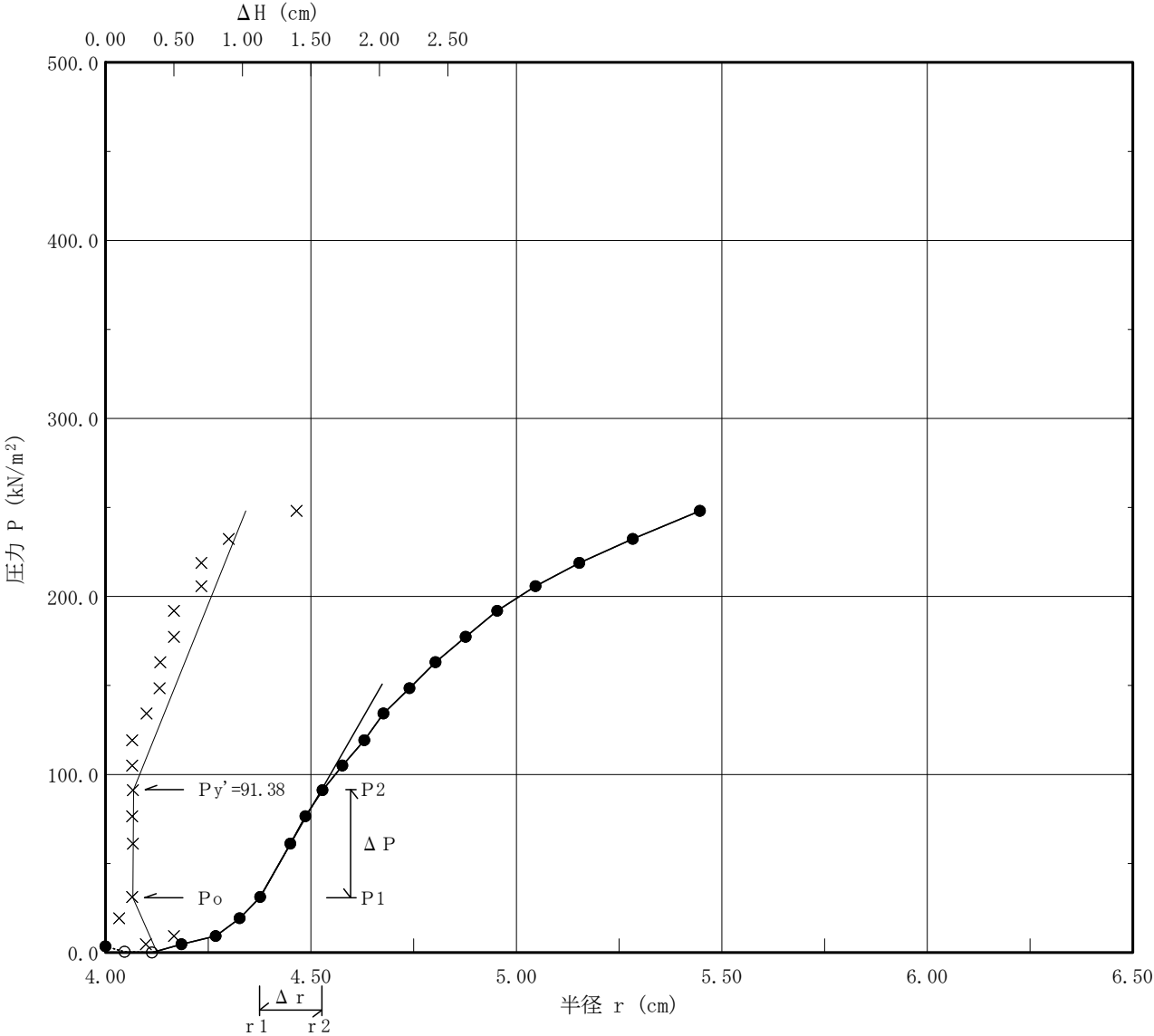
工事名	第010-委1号 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)		
図面名	推定地質断面図		
年月日	令和8年9月16日		
尺度	V=1:100 H=1:250	図面番号	9葉之内9
会社名	[Redacted]		
事務所名	奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局		
作成者	[Redacted]	版情報	確定

地盤の指標値を求めるためのプレッシャーメータ試験

調査件名	第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)			試験装置	L L T
測定番号	BV-1 - 1-1	深 度	GL -3.20 m	試験時の状況	
測定月日	2026年 8月17日	時 間	17:00		
使用ゴム筒	生ゴムハイカー	N 値	4/330		
地 質 名	砂混じり粘土				

単調載荷	初期圧力 P_o (kN/m ²)	30.68	降伏圧力 P_y (kN/m ²)	60.70	極限圧力 P_L (kN/m ²)		
	地盤係数 K_m (kN/m ³)	変形係数 E (kN/m ²)	係数算出の 中間半径 r_m (cm)	係数算出の圧力範囲		係数算出の半径範囲	
	39,670	2,649	4.451	P_1 (kN/m ²)	P_2 (kN/m ²)	r_1 (cm)	r_2 (cm)
繰返し 載 荷	1			30.68	91.38	4.375	4.528
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						

($\nu = 0.5$) [$P_y = P_y' - P_o$ $P_L = P_L' - P_o$ $K_m = \Delta P / \Delta r$ $E = (1 + \nu) * K_m * r_m$ $r_m = (r_1 + r_2) / 2$]



J G S 1531	地盤の指標値を求めるためのプレッシャーメータ試験											
調査件名	第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託 (医大・周辺まちづくり検討事業)							試験年月日	2026. 8. 24			
地点番号 (地盤高)	BV-2 - 2-1 (T. P. +67. 30m)							試験者	■■■■■			
測定深さ	GL -2. 65					m	試験孔径	86 mm				
孔内水位	GL -0. 00					m	地 盤 名	粘土混じり砂				
測定器名	プレッシャーメーター室型					そ の 他	初期スタンドパイプ水位 1. 2cm (プレッシャーメータ三室型はガードセル初期圧：)					
	圧 力		変 位					備 考				
メーター指示圧力 Pm kN/m ²	補正圧力 Pc kN/m ²	測定管載荷圧力 P kN/m ²	ス タ ン ド パ イ プ 読 み Vm (ml) または Hm (cm)					ク リ ー プ 変 化 量 : ΔV または ΔH	V (ml) または H (cm)	r (cm) または Δr (cm)		
0. 00 (設置時初期圧 Pmo)	0. 00	8. 33	15″	30″	1′	2′	3′		0. 0	4. 000	記入項目	
20. 00	-0. 33	20. 33	1. 30	1. 40	1. 60			0. 20	0. 40	4. 027	プレッシャーメーター室型：	
40. 00	40. 00	0. 00	2. 20	2. 70	3. 20			0. 50	2. 00	4. 134	Pm, Pc, P	
60. 00	55. 42	4. 58	3. 90	4. 10	4. 40			0. 30	3. 20	4. 212	Hm, ΔH, H, r	
80. 00	68. 33	11. 67	5. 00	5. 20	5. 50			0. 30	4. 30	4. 283	プレッシャーメータ三室型：	
100. 00	83. 33	16. 67	6. 20	6. 50	6. 90			0. 40	5. 70	4. 371	Pm, Pc, P	
120. 00	93. 97	26. 03	7. 70	7. 90	8. 20			0. 30	7. 00	4. 451	Vm, ΔV, V	
140. 00	100. 90	39. 10	8. 80	8. 90	9. 10			0. 20	7. 90	4. 506	ポアホールジャッキ：	
160. 00	108. 59	51. 41	9. 70	9. 90	10. 10			0. 20	8. 90	4. 566	Pm, P, Hm, Δr	
180. 00	114. 17	65. 83	10. 60	10. 70	10. 90			0. 20	9. 70	4. 613		
200. 00	118. 54	81. 46	11. 30	11. 40	11. 60			0. 20	10. 40	4. 654		
220. 00	122. 17	97. 83	11. 90	12. 10	12. 20			0. 10	11. 00	4. 689		
240. 00	125. 17	114. 83	12. 50	12. 60	12. 80			0. 20	11. 60	4. 724		
260. 00	127. 67	132. 33	13. 10	13. 20	13. 30			0. 10	12. 10	4. 753		
280. 00	130. 67	149. 33	13. 60	13. 70	13. 90			0. 20	12. 70	4. 787		
300. 00	133. 84	166. 16	14. 30	14. 40	14. 60			0. 20	13. 40	4. 827		
320. 00	137. 32	182. 68	14. 90	15. 10	15. 40			0. 30	14. 20	4. 872		
340. 00	140. 36	199. 64	15. 70	15. 90	16. 10			0. 20	14. 90	4. 911		
360. 00	143. 81	216. 19	16. 50	16. 70	17. 00			0. 30	15. 80	4. 960		
380. 00	147. 74	232. 26	17. 50	17. 70	18. 10			0. 40	16. 90	5. 020		
400. 00	151. 67	248. 33	18. 50	18. 80	19. 20			0. 40	18. 00	5. 079		
420. 00	155. 54	264. 46	19. 70	20. 00	20. 40			0. 40	19. 20	5. 143		
440. 00	160. 05	279. 95	20. 90	21. 20	21. 80			0. 60	20. 60	5. 217		
460. 00	163. 38	296. 62	22. 40	22. 80	23. 50			0. 70	22. 30	5. 305		
480. 00	165. 95	314. 05	24. 10	24. 60	25. 30			0. 70	24. 10	5. 397		
特記事項			プレッシャーメーター室型 (LLT) : Hmを計測、ΔH=(Hm)1′-(Hm)30″ H=(Hm)1′-(Hm)0, rはタンクのH-r曲線から求める プレッシャーメータ三室型 : Vmを計測、 ΔV=(Vm)1′-(Vm)30″ V=(Vm)1′-(Vm)0 ポアホールジャッキ : Hmを計測、Δrは半径変化量で Δr={ (Hm)3′-(Hm)0 }×較正係数								※プレッシャーメーター室型 (エラストメーター)では、試験孔の半径を直接計測しております。	
プレッシャーメーター室型 : P=Pm-Pc, Pc=P0-Ps ここに, Ps, P0 は静水圧差およびゴム膨張圧補正値 プレッシャーメータ三室型 : P=Pm-Pc, Pc=Pmo+Pg-(Z+h)/10 ここに, Pmoは初期圧力、Zおよびhは深さおよび圧力計の地上高 (m) ポアホールジャッキ : P=Pm×荷重較正係数												
SHEET 1 OF 2												

J G S 1531

地盤の指標値を求めるためのプレッシャーメータ試験

調査件名

第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託
(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日

2026. 8. 24

地点番号 (地盤高)

BV-2 - 2-1 (T.P. +67. 30m)

試 験 者

測定深さ

GL -2. 65

m

試験孔径

86

mm

孔内水位

GL -0. 00

m

地 盤 名

粘土混じり砂

測定器名

プレッシャーメーター室型

そ の 他

初期スタンドパイプ水位 1. 2cm

(プレッシャーメータ三室型はガードセル初期圧：)

メーター指示圧力 P _m kN/m ²	圧 力		変 位							備 考	
	補正圧力 P _c kN/m ²	測定管載荷圧力 P kN/m ²	ス タ ン ド パ イ プ 読 み V _m (ml) または H _m (cm)				ク リ ー プ 変 化 量： ΔVまたは ΔH	V(ml) または H(cm)	r(cm) または Δr(cm)		
			15″	30″	1′	2′					3′
500. 00	168. 72	331. 28	26. 00	26. 50	27. 40			0. 90	26. 20	5. 501	記入項目 プレッシャーメーター室型： P_m, P_c, P H_m, ΔH, H, r プレッシャーメータ三室型： P_m, P_c, P V_m, ΔV, V ボアホールジャッキ： P_m, P, H_m, Δr
520. 00	172. 14	347. 86	28. 20	28. 80	29. 90			1. 10	28. 70	5. 624	

特記事項

プレッシャーメーター室型：
P=P_m-P_c, P_c=P_g -P_s
ここに、P_s, P_g は静水圧差およびゴム膨張圧補正值

プレッシャーメータ三室型：
P=P_m-P_c, P_c=P_{mo}+P_g -(Z+h)/10
ここに、P_{mo}は初期圧力、Zおよびhは深さおよび圧力計の地上高(m)

ボアホールジャッキ：
P=P_m × 荷重較正係数

プレッシャーメーター室型(LLT)：
H_mを計測、ΔH=(H_m)_{1′} -(H_m)_{30″}
H=(H_m)_{1′} -(H_m)₀, rはタンクのH-r曲線から求める

プレッシャーメータ三室型：
V_mを計測、ΔV=(V_m)_{1′} -(V_m)_{30″}
V=(V_m)_{1′} -(V_m)₀

ボアホールジャッキ：
H_mを計測、Δrは半径変化量でΔr={ (H_m)_{3′} -(H_m)₀ } × 較正係数

※プレッシャーメーター室型(エラストメーター)では、試験孔の半径を直接計測しております。

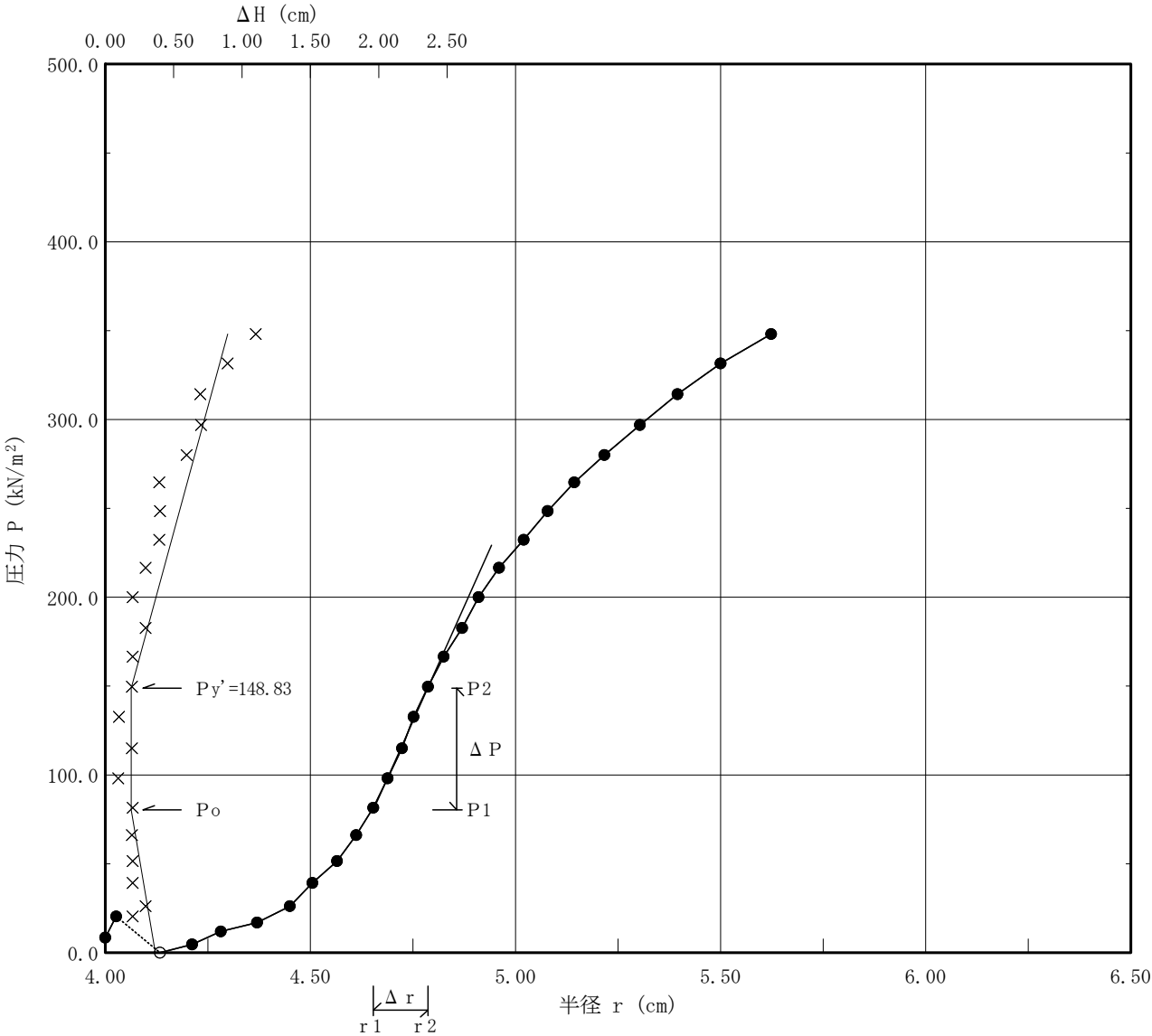
SHEET 2 OF 2

地盤の指標値を求めるためのプレッシャーメータ試験

調査件名	第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)			試験装置	L L T
測定番号	BV-2 - 2-1	深 度	GL -2.65 m	試験時の状況	
測定月日	2026年 8月24日	時 間	13:00		
使用ゴム筒	生ゴムハイカー	N 値	5/330		
地 質 名	粘土混じり砂				

単調載荷	初期圧力 P _o (kN/m ²)	80.29	降伏圧力 P _y (kN/m ²)	68.54	極限圧力 P _L (kN/m ²)		
	地盤係数 K _m (kN/m ³)	変形係数 E (kN/m ²)	係数算出の 中間半径 r _m (cm)	係数算出の圧力範囲		係数算出の半径範囲	
	51,530	3,162	4.720	P1 (kN/m ²)	P2 (kN/m ²)	r1 (cm)	r2 (cm)
繰返し 載 荷	1			80.29	148.83	4.654	4.787
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						

($\nu = 0.3$) [$P_y = P_y' - P_o$ $P_L = P_L' - P_o$ $K_m = \Delta P / \Delta r$ $E = (1 + \nu) * K_m * r_m$ $r_m = (r_1 + r_2) / 2$]

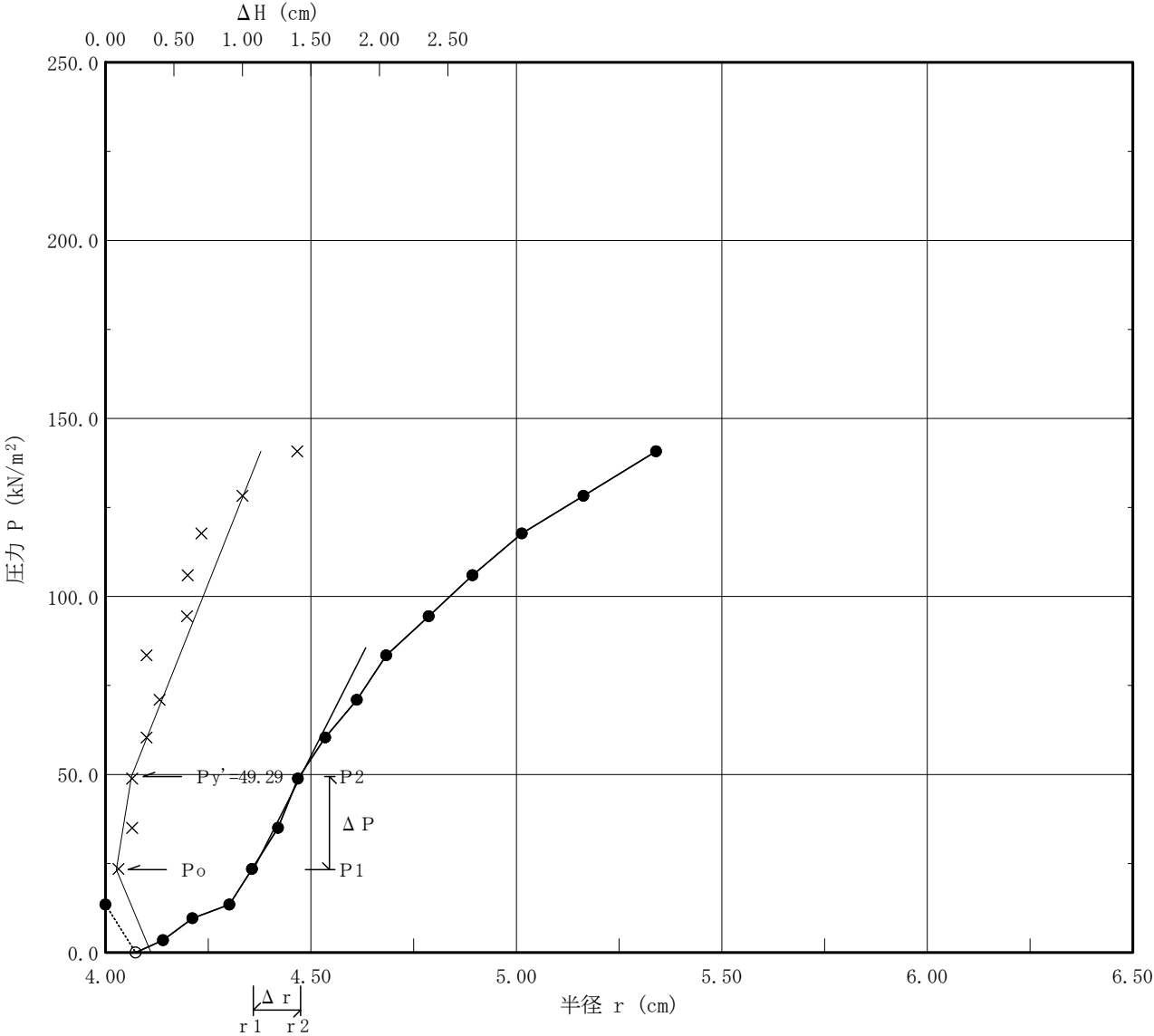


地盤の指標値を求めるためのプレッシャーメータ試験

調査件名	第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)			試験装置	L L T
測定番号	BV-3 - 3-1	深 度	GL -3.00 m	試験時の状況	
測定月日	2026年 8月28日	時 間	15:00		
使用ゴム筒	生ゴムハイカー	N 値	2/310		
地 質 名	砂混じり粘土				

単調載荷	初期圧力 P _o (kN/m ²)	23.16	降伏圧力 P _y (kN/m ²)	26.13	極限圧力 P _L (kN/m ²)	
	地盤係数 K _m (kN/m ³)	変形係数 E (kN/m ²)	係数算出の 中間半径 r _m (cm)	係数算出の圧力範囲		係数算出の半径範囲
	22,720	1,506	4.419	P1 (kN/m ²)	P2 (kN/m ²)	r1 (cm) r2 (cm)
繰返し 載 荷	1			23.16	49.29	4.361 4.476
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					

($\nu = 0.5$) [$P_y = P_y' - P_o$ $P_L = P_L' - P_o$ $K_m = \Delta P / \Delta r$ $E = (1 + \nu) * K_m * r_m$ $r_m = (r_1 + r_2) / 2$]



土質試験結果一覧表（基礎地盤）

調査件名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

整理年月日 2026年 9月 9日

整理担当者

試料番号 (深 さ)		BV-1:1TW-1 (4.00～4.60m)	BV-1:1TW-2 (7.90～8.60m)			
一般	湿潤密度 ρ_t Mg/m ³	1.760	1.911			
	乾燥密度 ρ_d Mg/m ³	1.239	1.452			
	土粒子の密度 ρ_s Mg/m ³	2.593	2.722			
	自然含水比 w_n %	42.1	32.1			
	間隙比 e	1.093	0.888			
	飽和度 S_r %	99.8	98.6			
粒度	石分 (75mm以上) %					
	礫分 ¹⁾ (2～75mm) %	0.0	1.2			
	砂分 ¹⁾ (0.075～2mm) %	11.1	11.8			
	シルト分 ¹⁾ (0.005～0.075mm) %	34.7	45.9			
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %	54.2	41.1			
	最大粒径 mm	0.850	9.5			
	均等係数 U_c	—	—			
	50%粒径 D_{50} mm	0.0037	0.0089			
コンシステンシー特性	液性限界 w_L %	56.9	41.3			
	塑性限界 w_p %	26.3	19.1			
	塑性指数 I_p	30.6	22.2			
	コンシステンシー指数 I_c	0.5	0.5			
分類	地盤材料の分類名	砂まじり粘土 (高液性限界)	砂まじり粘土 (低液性限界)			
	分類記号	(CH-S)	(CL-S)			
圧密	試験方法					
	圧縮指数 C_c					
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²					
一軸圧縮	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²					
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²					
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²					
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²					
せん断	試験条件	三軸UU	三軸UU			
	全応力 c kN/m ²	40	58			
	ϕ °	0.0	0.0			
	有効応力 c' kN/m ²					
	ϕ' °					

特記事項

コンシステンシー指数 I_{cl} は、土の含水比試験結果から算出している。

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

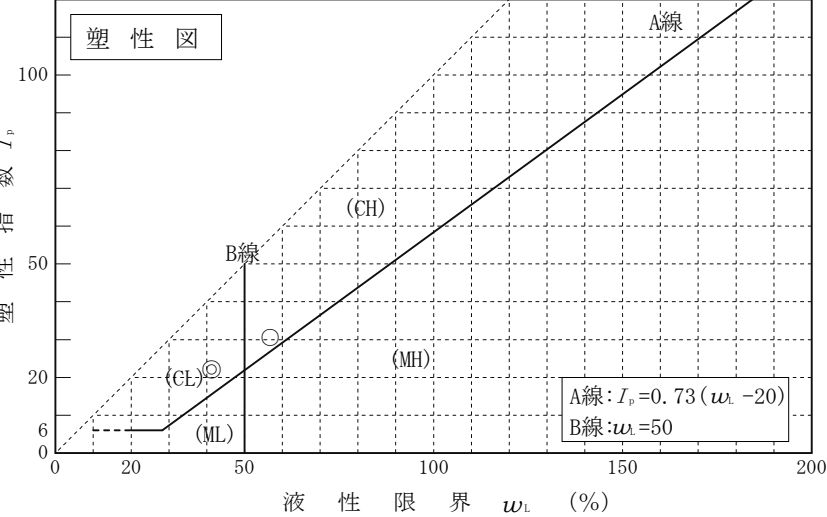
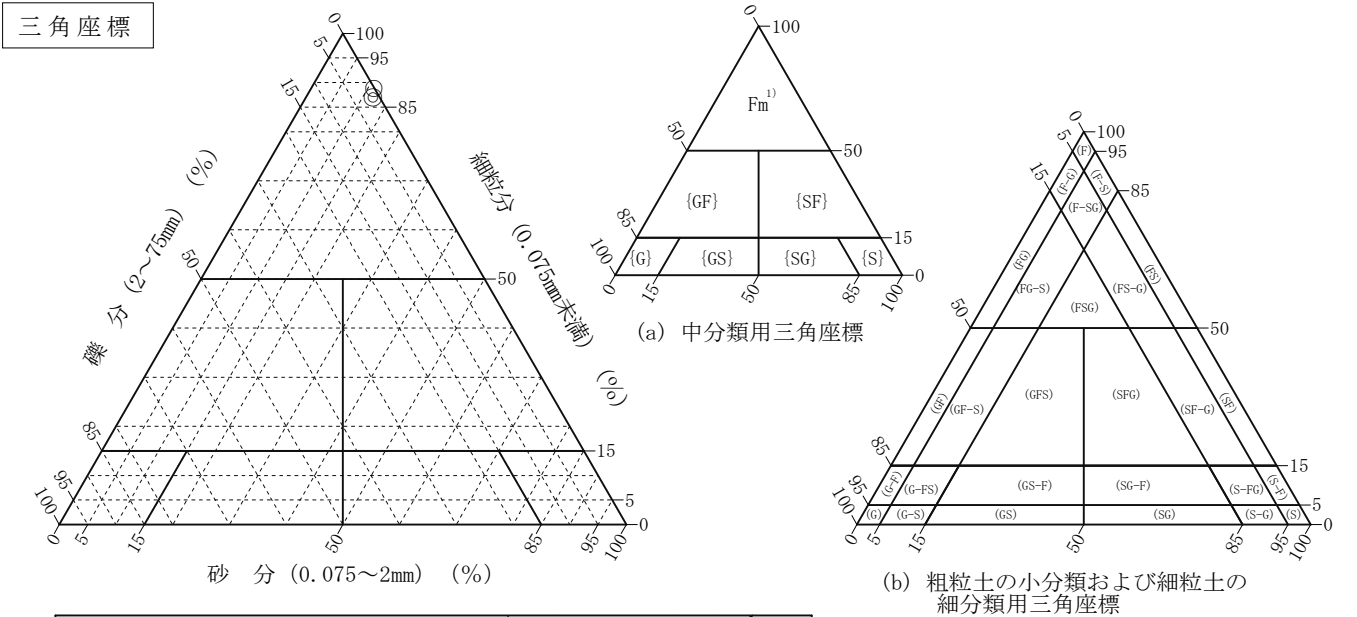
[1kN/m²≒0.0102kgf/cm²]

調査件名第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日2026年 9月 4日

試験者

試料番号 (深 さ)	BV-1:1TW-1 (4.00～4.60m)	BV-1:1TW-2 (7.90～8.60m)				
石 分(75mm以上)	%					
礫 分(2～75mm)	%	0.0	1.2			
砂 分(0.075～2mm)	%	11.1	11.8			
細 粒 分(0.075mm未満)	%	88.9	87.0			
シルト分(0.005～0.075mm)	%	34.7	45.9			
粘 土 分(0.005mm未満)	%	54.2	41.1			
最 大 粒 径	mm	0.850	9.5			
均 等 係 数 U_c		-	-			
液 性 限 界 w_L	%	56.9	41.3			
塑 性 限 界 w_p	%	26.3	19.1			
塑 性 指 数 I_p		30.6	22.2			
地盤材料の分類名	砂まじり粘土 (高液性限界)	砂まじり粘土 (低液性限界)				
分 類 記 号	(CH-S)	(CL-S)				
凡 例 記 号	○	◎				



特記事項 1) 主に観察と塑性図で判別分類

調査件名

第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日

2026年 8月 26日

試験者

試料番号（深さ）		BV-1:1TW-1（4.00～4.60m）			BV-1:1TW-2（7.90～8.60m）		
ピクノメーター No.		310	311	312	313	314	315
(試料+蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_{\text{d}}(T_1)$ g		147.658	142.035	135.171	144.915	138.127	150.032
$m_{\text{d}}(T_1)$ をはかったときの内容物の温度 T_1 °C		24.8	24.8	24.8	24.8	24.8	24.8
T_1 °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T_1)$ Mg/m ³		0.99709	0.99709	0.99709	0.99709	0.99709	0.99709
温度 T_1 °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_{\text{d}}(T_1)^{1)}$ g		140.720	135.383	129.499	136.888	129.811	142.864
試料の 炉乾燥質量	容器 No.	310	311	312	313	314	315
	(炉乾燥試料+容器)質量g	87.919	81.484	80.993	92.437	85.116	94.714
	容器質量 g	76.617	70.689	71.788	79.780	71.992	83.394
m_s g		11.302	10.795	9.205	12.657	13.124	11.320
土粒子の密度 ρ_s Mg/m ³		2.582	2.598	2.598	2.726	2.722	2.718
平均値 ρ_s Mg/m ³		2.593			2.722		
試料番号（深さ）							
ピクノメーター No.							
(試料+蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_{\text{d}}(T_1)$ g							
$m_{\text{d}}(T_1)$ をはかったときの内容物の温度 T_1 °C							
T_1 °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T_1)$ Mg/m ³							
温度 T_1 °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_{\text{d}}(T_1)^{1)}$ g							
試料の 炉乾燥質量	容器 No.						
	(炉乾燥試料+容器)質量g						
	容器質量 g						
m_s g							
土粒子の密度 ρ_s Mg/m ³							
平均値 ρ_s Mg/m ³							
試料番号（深さ）							
ピクノメーター No.							
(試料+蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_{\text{d}}(T_1)$ g							
$m_{\text{d}}(T_1)$ をはかったときの内容物の温度 T_1 °C							
T_1 °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T_1)$ Mg/m ³							
温度 T_1 °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_{\text{d}}(T_1)^{1)}$ g							
試料の 炉乾燥質量	容器 No.						
	(炉乾燥試料+容器)質量g						
	容器質量 g						
m_s g							
土粒子の密度 ρ_s Mg/m ³							
平均値 ρ_s Mg/m ³							

特記事項

1) ピクノメーターの検定結果から求める。

$$\rho_s = \frac{m_s}{m_s + [m_{\text{d}}(T_1) - m_{\text{d}}(T_1)]} \rho_w(T_1)$$

調査件名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日 2026年 8月 25日

試 験 者 XXXXXXXXXX

試料番号 (深さ)	BV-1:1TW-1 (4.00～4.60m)			BV-1:1TW-2 (7.90～8.60m)		
容 器 No.	1	2	3	4	5	6
m_a g	71.02	76.95	96.51	99.57	92.79	96.53
m_b g	59.37	63.34	77.63	83.56	77.94	80.57
m_c g	30.92	31.27	30.97	31.07	30.65	30.49
w %	40.9	42.4	40.5	30.5	31.4	31.9
平均値 w %	41.3			31.3		
特 記 事 項						

試料番号 (深さ)						
容 器 No.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平均値 w %						
特 記 事 項						

試料番号 (深さ)						
容 器 No.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平均値 w %						
特 記 事 項						

試料番号 (深さ)						
容 器 No.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平均値 w %						
特 記 事 項						

試料番号 (深さ)						
容 器 No.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平均値 w %						
特 記 事 項						

$$w = \frac{m_a - m_b}{m_b - m_c} \times 100$$

m_a : (試料+容器)質量

m_b : (炉乾燥試料+容器)質量

m_c : 容器質量

調査件名

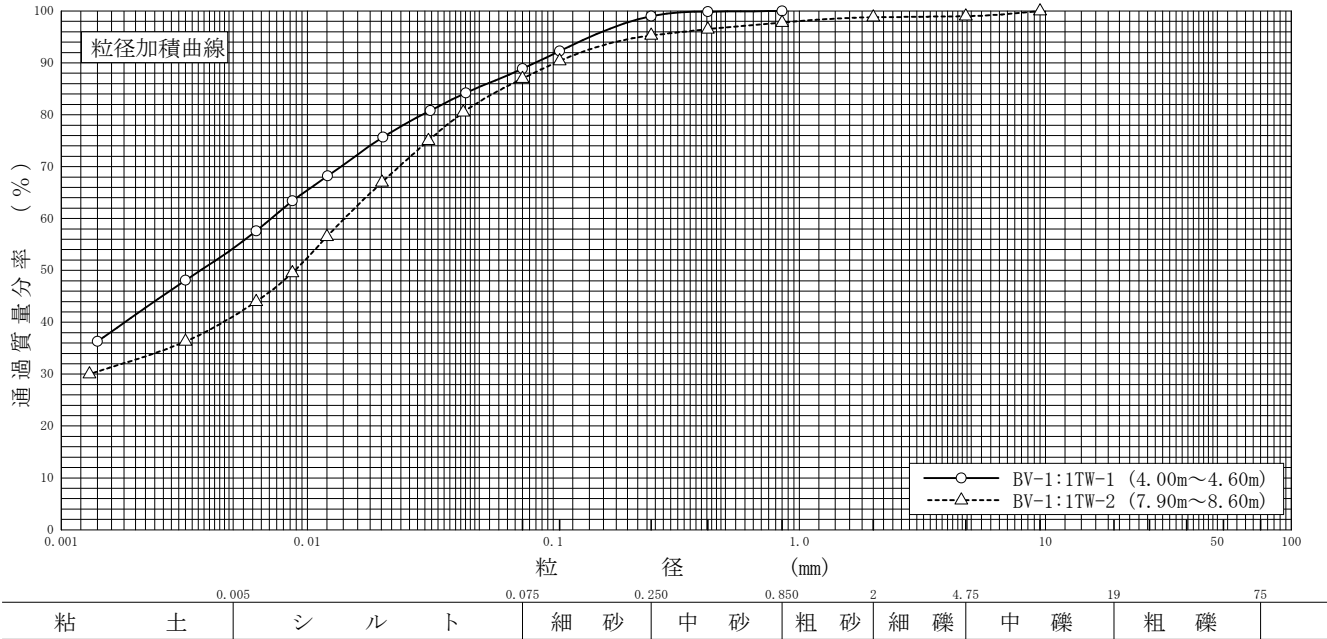
第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日

2026年 8月 26日

試験者

試料番号 (深 さ)	BV-1:1TW-1 (4.00～4.60m)		BV-1:1TW-2 (7.90～8.60m)		試 料 番 号 (深 さ)	BV-1:1TW-1 (4.00～4.60m)	BV-1:1TW-2 (7.90～8.60m)
	粒 径 mm	通過質量分率%	粒 径 mm	通過質量分率%			
ふるい 分 析	75		75		粗 礫 分 率 %	—	—
					中 礫 分 率 %	—	1.0
	53		53		細 礫 分 率 %	—	0.2
	37.5		37.5		粗 砂 分 率 %	—	1.0
	26.5		26.5		中 砂 分 率 %	1.0	2.5
	19		19		細 砂 分 率 %	10.1	8.3
	9.5		9.5	100.0	シ ル ト 分 率 %	34.7	45.9
	4.75		4.75	99.0	粘 土 分 率 %	54.2	41.1
	2		2	98.8	2mmふるい通過質量分率 %	100.0	98.8
	0.850	100.0	0.850	97.8	425μmふるい通過質量分率 %	99.9	96.5
	0.425	99.9	0.425	96.5	75μmふるい通過質量分率 %	88.9	87.0
	0.250	99.0	0.250	95.3	最 大 粒 径 mm	0.850	9.5
	0.106	92.3	0.106	90.4	60 % 粒 径 D_{60} mm	0.0071	0.014
沈 降 分 析	0.075	88.9	0.075	87.0	50 % 粒 径 D_{50} mm	0.0037	0.0089
					30 % 粒 径 D_{30} mm	—	0.0013
	0.0441	84.2	0.0430	80.5	10 % 粒 径 D_{10} mm	—	—
	0.0316	80.8	0.0310	75.0	均 等 係 数 U_c	—	—
	0.0203	75.7	0.0201	67.0	曲 率 係 数 U_c'	—	—
	0.0121	68.2	0.0120	56.5	土 粒 子 の 密 度 ρ_s Mg/m ³	2.593	2.722
	0.0087	63.4	0.0087	49.5	使用した分散剤	ヘキサメタ磷酸ナトリウム	ヘキサメタ磷酸ナトリウム
	0.0062	57.6	0.0062	44.0	溶液濃度, 溶液添加量	20%, 10ml	20%, 10ml
	0.0032	48.1	0.0032	36.3	20 % 粒 径 D_{20} mm	—	—
	0.0014	36.3	0.0013	30.0			



特記事項

調査件名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日 2026年 9月 2日

試験者

試料番号（深さ） BV-1:1TW-1（4.00～4.60m）

液性限界試験		塑性限界試験	液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	56.9
37	55.2	26.2	塑性限界 w_p %
32	55.9	26.5	26.3
28	56.3	26.3	塑性指数 I_p
21	57.6		30.6
18	58.2		
15	59.0		

試料番号（深さ） BV-1:1TW-2（7.90～8.60m）

液性限界試験		塑性限界試験	液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	41.3
37	40.2	18.8	塑性限界 w_p %
33	40.6	19.3	19.1
30	40.8	19.2	塑性指数 I_p
24	41.4		22.2
19	42.0		
14	42.9		

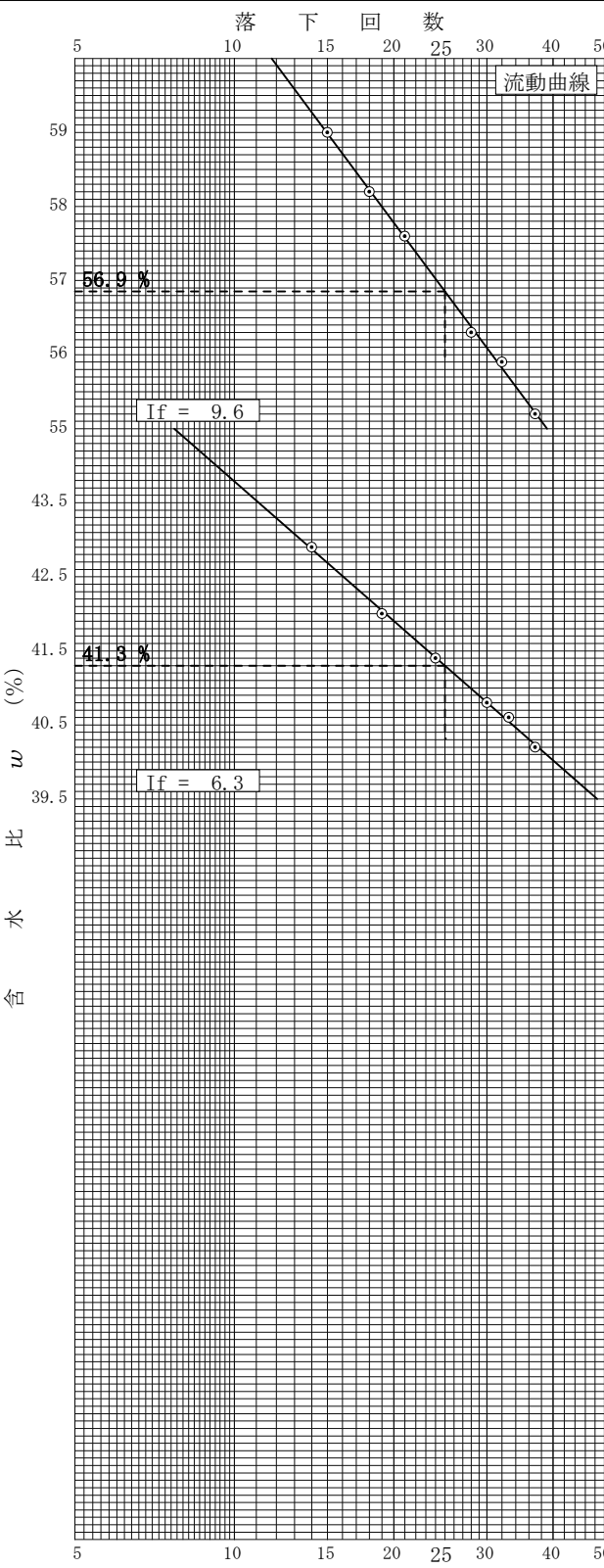
試料番号（深さ）

液性限界試験		塑性限界試験	液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	
			塑性限界 w_p %
			塑性指数 I_p

試料番号（深さ）

液性限界試験		塑性限界試験	液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	
			塑性限界 w_p %
			塑性指数 I_p

特記事項



調査件名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日 2026年 8月 24日

試料番号（深さ） BV-1:1TW-1 (4.00～4.60m)

試験者

供 試 体 No.			1	2	3		
供試体の質量 m g			136.15	134.98	135.13		
供 試 体	直 径	上 部 mm	35.0	35.0	35.0		
			35.0	35.0	35.0		
		中 部 mm	35.0	35.0	35.0		
			34.9	35.0	35.0		
		下 部 mm	35.0	35.0	34.9		
			35.0	35.0	35.0		
		平 均 値 D mm	35.0	35.0	35.0		
	高 積 さ	mm	80.0	80.0	80.0		
			80.0	80.0	80.0		
			80.0	80.0	80.0		
		平 均 値 H mm	80.0	80.0	80.0		
	体 積 $V = (\pi D^2 / 4)H$ mm ³		76.97×10 ³	76.97×10 ³	76.97×10 ³		
含 水 比	容 器 No.		1856	1657	3596		
	m_a g		65.40	63.59	69.50		
	m_b g		54.19	52.78	58.47		
	m_c g		27.14	27.07	32.78		
	w %		41.4	42.0	42.9		
	容 器 No.		1675	1632	1624		
	m_a g		65.07	67.37	68.08		
	m_b g		53.97	55.34	55.82		
	m_c g		26.86	27.07	27.12		
	w %		40.9	42.6	42.7		
	平 均 値 w %		41.2	42.3	42.8		
湿潤密度 $\rho_t = (m / V) \times 10^3$ Mg/m ³			1.769	1.754	1.756		
乾燥密度 $\rho_d = \rho_t / (1 + w / 100)$ Mg/m ³			1.253	1.233	1.230		
間 隙 比 $e = (\rho_s / \rho_d) - 1$			1.069	1.103	1.108		
飽 和 度 $S_r = w \rho_s / (e \rho_w)$ %			99.9	99.4	100.2		
土粒子の密度 ρ_s Mg/m ³			2.593	平 均 値 w %	42.1	平均値 ρ_t Mg/m ³	1.760
平 均 値 ρ_d Mg/m ³			1.239	平 均 値 e	1.093	平均値 S_r %	99.8

特記事項

調査件名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日 2026年 8月 24日

試料番号（深さ） BV-1:1TW-2 (7.90～8.60m)

試験者

供 試 体 No.			1	2	3			
供試体の質量 m g			385.95	386.59	353.30			
供 試 体	直 径	上 部 mm	50.0	50.0	50.0			
			49.9	50.0	49.9			
		中 部 mm	50.0	49.9	50.0			
			49.9	50.0	50.0			
		下 部 mm	49.9	50.0	49.9			
			50.0	49.9	50.0			
		平 均 値 D mm	50.0	50.0	50.0			
	高 積 さ	mm	100.0	100.0	100.0			
			100.0	100.0	100.0			
			100.0	100.0	100.0			
		平 均 値 H mm	100.0	100.0	100.0			
	体 積 $V = (\pi D^2 / 4)H$ mm ³			196.35×10 ³	196.35×10 ³	196.35×10 ³		
	含 水 比	容 器 No.		3595	3615	3566		
		m_a g		78.00	78.84	81.02		
m_b g		68.02	68.37	66.96				
m_c g		31.95	31.82	31.50				
w %		27.7	28.6	39.7				
容 器 No.		1864	1795	3624				
m_a g		75.02	80.72	72.64				
m_b g		64.77	68.86	60.92				
m_c g		27.35	28.01	31.60				
w %		27.4	29.0	40.0				
平 均 値 w %			27.6	28.8	39.9			
湿潤密度 $\rho_t = (m / V) \times 10^3$ Mg/m ³			1.966	1.969	1.799			
乾燥密度 $\rho_d = \rho_t / (1 + w / 100)$ Mg/m ³			1.541	1.529	1.286			
間 隙 比 $e = (\rho_s / \rho_d) - 1$			0.766	0.780	1.117			
飽 和 度 $S_r = w \rho_s / (e \rho_w)$ %			98.1	100.5	97.2			
土粒子の密度 ρ_s Mg/m ³			2.722	平 均 値 w %	32.1	平均値 ρ_t Mg/m ³	1.911	
平 均 値 ρ_d Mg/m ³			1.452	平 均 値 e	0.888	平均値 S_r %	98.6	

特記事項

調査件名

第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日

2026年 8月 31日

試料番号(深さ)

BV-1:1TW-1 (4.00~4.60m)

試験者

供試体を用いる試験の基準番号と名称		JGS 0521 土の非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験			
試料の状態 ¹⁾		乱さない	土粒子の密度 $\rho_s^{(3)}$ Mg/m ³		2.593
供試体の作製 ²⁾		トリミング法	液性限界 w_L % ⁴⁾		56.9
土質名称		(CH-S)	塑性限界 w_P % ⁴⁾		26.3
供試体 No.		1	3	2	
初期状態	直径 mm	35.0	35.0	35.0	
		35.0	35.0	35.0	
		35.0	35.0	35.0	
	平均直径 D_i mm	35.0	35.0	35.0	
	高さ mm	80.0	80.0	80.0	
		80.0	80.0	80.0	
		80.0	80.0	80.0	
	平均高さ H_i mm	80.0	80.0	80.0	
	体積 V_i mm ³	76.97×10^3	76.97×10^3	76.97×10^3	
	含水比 w_i %	41.2	42.8	42.3	
	質量 m_i g	136.15	135.13	134.98	
態	湿潤密度 $\rho_{ti}^{(3)}$ Mg/m ³	1.769	1.756	1.754	
	乾燥密度 $\rho_{di}^{(3)}$ Mg/m ³	1.253	1.230	1.233	
	間隙比 $e_i^{(3)}$	1.069	1.108	1.103	
	飽和度 $S_{ri}^{(3)}$ %	99.9	100.2	99.4	
設置・飽和過程	軸変位量の測定方法				
	設置時の軸変位量 mm				
	飽和過程の軸変位量 mm				
	軸変位量 $\Delta H_i^{(5)}$ mm				
	体積変化量の測定方法				
	設置時の体積変化量 mm ³				
	飽和過程の体積変化量 mm ³				
	体積変化量 $\Delta V_i^{(5)}$ mm ³				
	高さ H_0 mm	80.0	80.0	80.0	
	直径 D_0 mm	35.0	35.0	35.0	
圧密前(試験前)	体積 V_0 mm ³	76.97×10^3	76.97×10^3	76.97×10^3	
	乾燥密度 $\rho_{d0}^{(3)}$ Mg/m ³	1.253	1.230	1.233	
	間隙比 $e_0^{(3)}$	1.069	1.108	1.103	
	相対密度 $D_{r0}^{(3)}$ %				
炉乾燥後	容器 No.				
	(炉乾燥供試体+容器)質量 g				
	容器質量 g				
	炉乾燥質量 m_s g	96.42	94.63	94.86	

特記事項

1) 試料の採取方法, 試料の状態(塊状, 凍結, ときほぐされた)等を記載する。

2) トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。

3) 必要に応じて記載する。

4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。

5) 設置時の変化と飽和過程およびB値測定過程での変化を合わせる。

調査件名

第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日

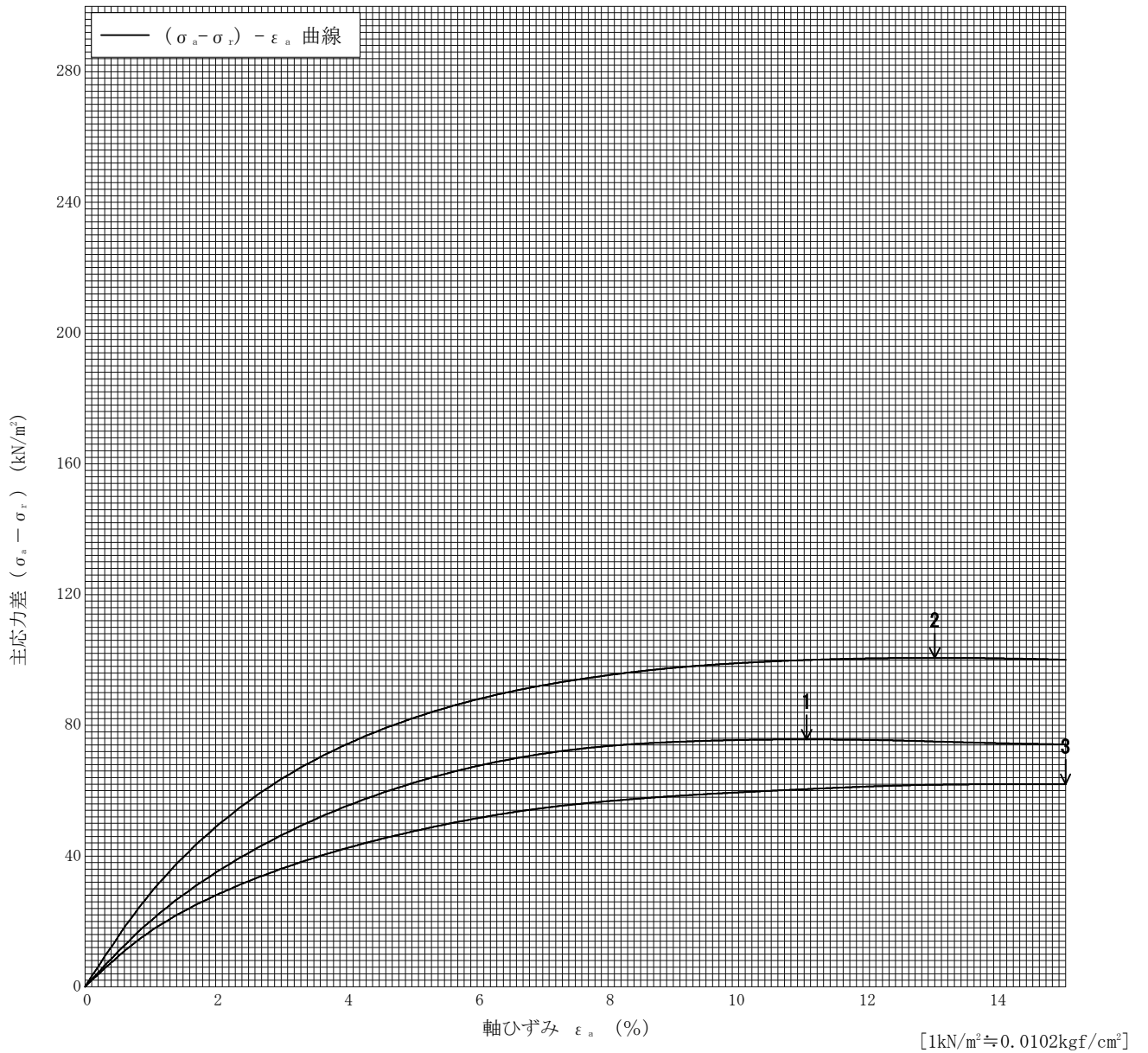
2026年 8月 31日

試料番号 (深さ)

BV-1:1TW-1 (4.00~4.60m)

試験者

土 質 名 称	(CH-S)	供 試 体 No.		1	3	2	
液性限界 w_L %	56.9	セル圧・圧密応力 σ_a kN/m ²		25	50	100	
塑性限界 w_p %	26.3	背 圧 u_b kN/m ²		0	0	0	
ひずみ速度 %/min	1.0	圧縮強さ $(\sigma_a - \sigma_r)_{max}$ kN/m ²		76	62	101	
特記事項 1) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界，塑性限界，砂質土の場合は最小乾燥密度，最大乾燥密度等を記載する。	主 応 力 差 最 大 時	軸ひずみ ε_{af} %		11.04	15.00	13.00	
		CU	間隙水圧 u_f kN/m ²				
			有効軸方向応力 σ'_{af} kN/m ²				
			有効側方向応力 σ'_{rf} kN/m ²				
		CD	体積ひずみ $\varepsilon_{v f}$ %				
			間 隙 比 e_f				
		供試体の破壊状況					



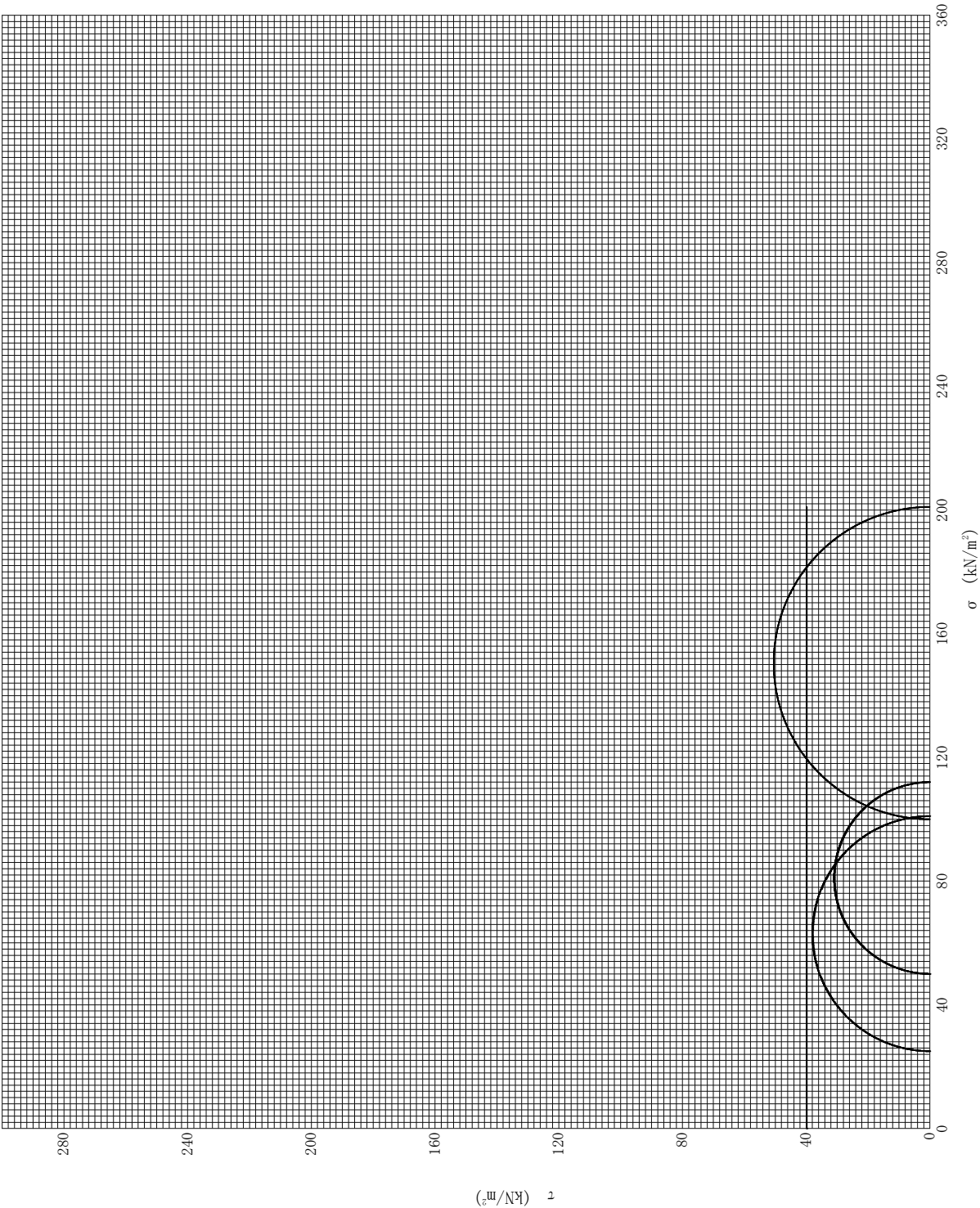
調査件名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日 2026年 8月 31日

試料番号 (深さ) BV-1:1TW-1 (4.00~4.60m)

試験者

強度定数 応力範囲	全 応 力			有 効 応 力	
	c_u kN/m ²	ϕ_u °	$\tan \phi_u$	c' kN/m ²	ϕ' °
正 規 圧 密 領 域					
過 圧 密 領 域					
	40	0.0	0.00		



特記事項

調査件名第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日2026年 8月 31日

試料番号(深さ)BV-1:1TW-2 (7.90~8.60m)

試験者

供試体を用いる試験の基準番号と名称		JGS 0521 土の非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験			
試料の状態 ¹⁾	乱さない	土粒子の密度 $\rho_s^{3)}$ Mg/m ³		2.722	
供試体の作製 ²⁾	トリミング法	液性限界 w_L % ⁴⁾		41.3	
土質名称	(CL-S)	塑性限界 w_P % ⁴⁾		19.1	
供試体 No.		1	2	3	
初期状態	直径 mm	50.0	50.0	50.0	
		50.0	50.0	50.0	
		50.0	50.0	50.0	
	平均直径 D_i mm	50.0	50.0	50.0	
	高さ mm	100.0	100.0	100.0	
		100.0	100.0	100.0	
		100.0	100.0	100.0	
	平均高さ H_i mm	100.0	100.0	100.0	
	体積 V_i mm ³	196.35×10 ³	196.35×10 ³	196.35×10 ³	
	含水比 w_i %	27.6	28.8	39.9	
	質量 m_i g	385.95	386.59	353.30	
	湿潤密度 $\rho_{ti}^{3)}$ Mg/m ³	1.966	1.969	1.799	
設置・飽和過程	乾燥密度 $\rho_{di}^{3)}$ Mg/m ³	1.541	1.529	1.286	
	間隙比 $e_i^{3)}$	0.766	0.780	1.117	
	飽和度 $S_{ri}^{3)}$ %	98.1	100.5	97.2	
	相対密度 $D_{ri}^{3)}$ %				
	軸変位量の測定方法				
	設置時の軸変位量 mm				
	飽和過程の軸変位量 mm				
	軸変位量 $\Delta H_i^{5)}$ mm				
	体積変化量の測定方法				
	設置時の体積変化量 mm ³				
	飽和過程の体積変化量 mm ³				
	体積変化量 $\Delta V_i^{5)}$ mm ³				
圧密前(試験前)	高さ H_0 mm	100.0	100.0	100.0	
	直径 D_0 mm	50.0	50.0	50.0	
	体積 V_0 mm ³	196.35×10 ³	196.35×10 ³	196.35×10 ³	
	乾燥密度 $\rho_{d0}^{3)}$ Mg/m ³	1.541	1.529	1.286	
	間隙比 $e_0^{3)}$	0.766	0.780	1.117	
	相対密度 $D_{r0}^{3)}$ %				
炉乾燥後	容器 No.				
	(炉乾燥供試体+容器)質量 g				
	容器質量 g				
	炉乾燥質量 m_s g	302.47	300.15	252.54	

特記事項

1) 試料の採取方法、試料の状態(塊状、凍結、ときほぐされた)等を記載する。
2) トリミング法、負圧法の種別、凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
3) 必要に応じて記載する。
4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界、塑性限界、砂質土の場合は最小乾燥密度、最大乾燥密度等を記載する。
5) 設置時の変化と飽和過程およびB値測定過程での変化を合わせる。

調査件名

第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日

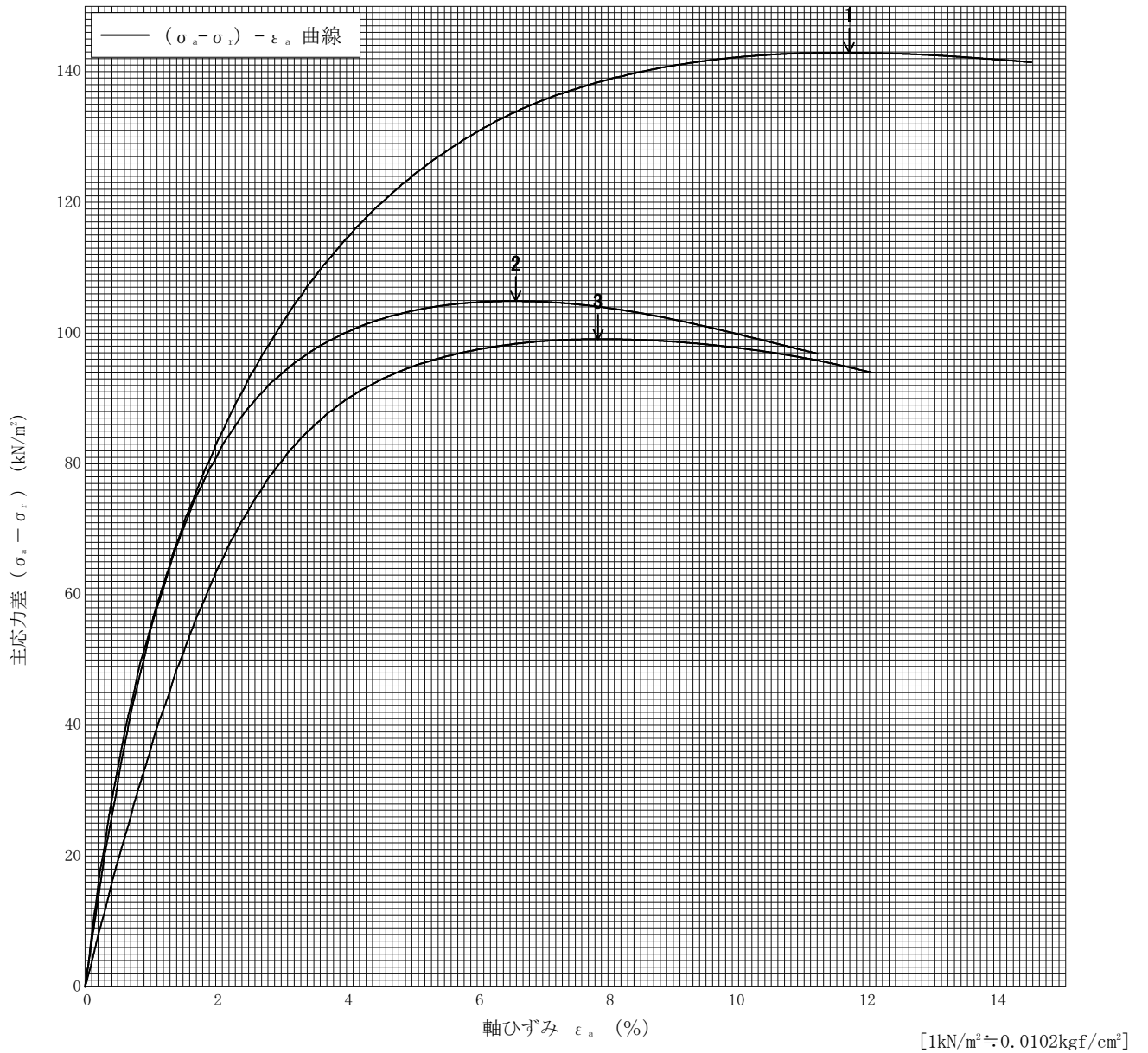
2026年 8月 31日

試料番号 (深さ)

BV-1:1TW-2 (7.90~8.60m)

試験者

土 質 名 称	(CL-S)	供 試 体 No.	1	2	3		
液性限界 w_L %	41.3	セル圧・圧密応力 kN/m^2	35	70	140		
塑性限界 w_p %	19.1	背 圧 u_b kN/m^2	0	0	0		
ひずみ速度 %/min	1.0	圧縮強さ $(\sigma_a - \sigma_r)_{max}$ kN/m^2	143	105	99		
特記事項 1) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界，塑性限界，砂質土の場合は最小乾燥密度，最大乾燥密度等を記載する。	主 応 力 差 最 大 時	軸ひずみ ε_{af} %	11.69	6.59	7.85		
		CU	間隙水圧 u_f kN/m^2				
			有効軸方向応力 σ'_{af} kN/m^2				
			有効側方向応力 σ'_{rf} kN/m^2				
		CD	体積ひずみ ε_{vf} %				
			間 隙 比 e_f				
		供試体の破壊状況					



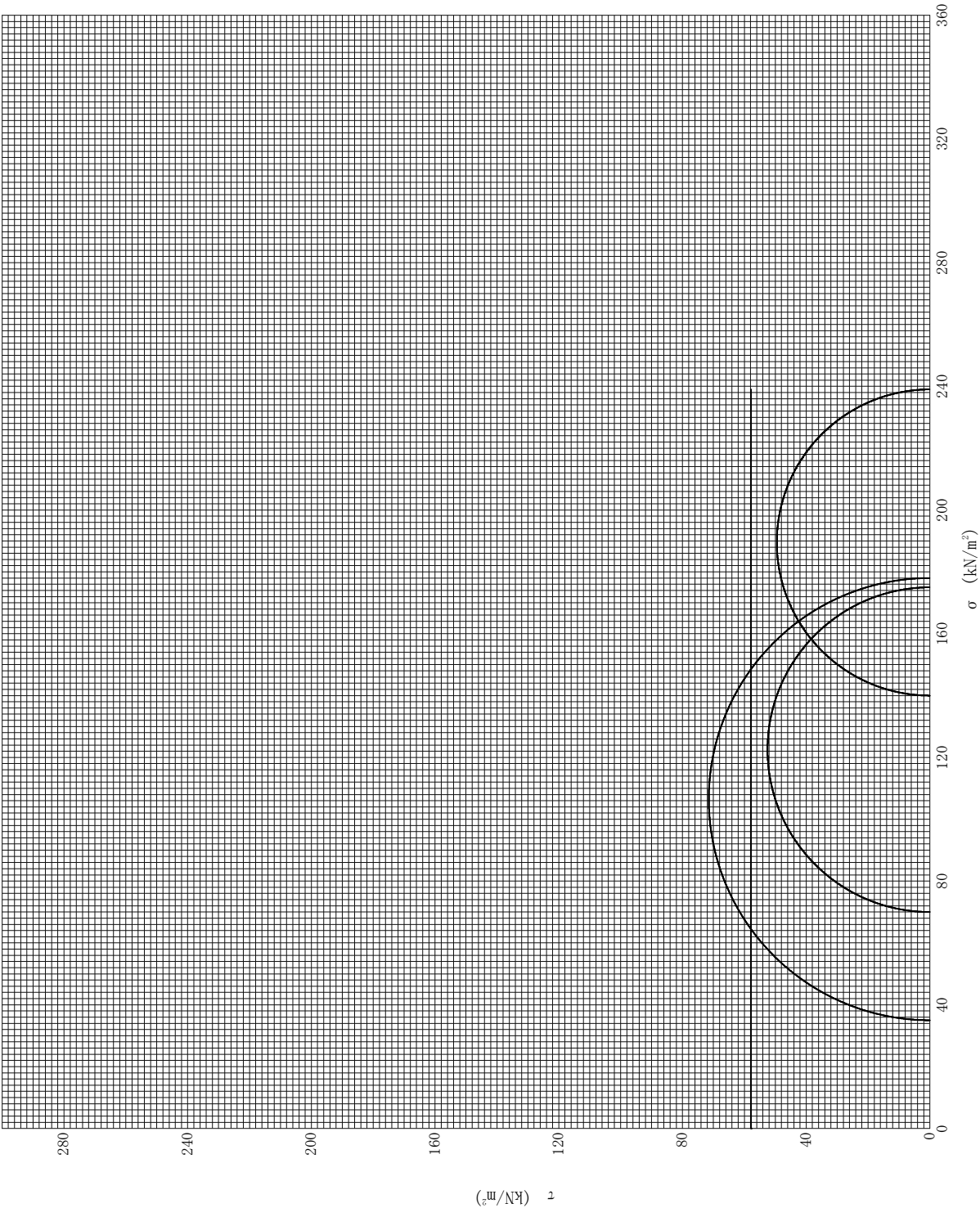
調査件名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日 2026年 8月 31日

試料番号 (深さ) BV-1:1TW-2 (7.90~8.60m)

試験者

強度定数 応力範囲	全 応 力			有 効 応 力	
	c_u kN/m ²	ϕ_u °	$\tan \phi_u$	c' kN/m ²	ϕ' °
正 規 圧 密 領 域					
過 圧 密 領 域					
	58	0.0	0.00		



特記事項

土質試験結果一覧表（基礎地盤）

調査件名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

整理年月日 2026年 9月 9日

整理担当者

試料番号 (深 さ)		BV-2:2TW-1 (4.55～5.25m)	BV-2:2TW-2 (7.00～7.70m)	BV-2:2TW-3 (8.50～8.90m)			
一般	湿潤密度 ρ_t Mg/m ³	1.751	1.901	2.024			
	乾燥密度 ρ_d Mg/m ³	1.223	1.462	1.617			
	土粒子の密度 ρ_s Mg/m ³	2.578	2.659	2.722			
	自然含水比 w_n %	43.2	30.6	25.2			
	間隙比 e	1.109	0.835	0.683			
	飽和度 S_r %	100.3	97.5	100.2			
粒度	石分 (75mm以上) %						
	礫分 ¹⁾ (2～75mm) %	0.0	2.8	0.0			
	砂分 ¹⁾ (0.075～2mm) %	8.0	37.0	31.6			
	シルト分 ¹⁾ (0.005～0.075mm) %	38.1	26.6	45.8			
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %	53.9	33.6	22.6			
	最大粒径 mm	0.850	4.75	2			
	均等係数 U_c	—	—	—			
	50%粒径 D_{50} mm	0.0033	0.024	0.038			
コンシステンシー特性	液性限界 w_L %	52.4	45.3	29.6			
	塑性限界 w_p %	25.9	22.4	19.1			
	塑性指数 I_p	26.5	22.9	10.5			
	コンシステンシー指数 I_c	0.4	0.6	0.4			
分類	地盤材料の分類名	砂まじり粘土 (高液性限界)	砂質粘土 (低液性限界)	砂質粘土 (低液性限界)			
	分類記号	(CH-S)	(CLS)	(CLS)			
圧密	試験方法						
	圧縮指数 C_c						
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²						
一軸圧縮	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²						
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²						
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²						
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²						
せん断	試験条件		三軸UU	三軸UU	三軸UU		
	全応力	c kN/m ²	31	31	105		
		ϕ °	0.0	0.0	0.0		
	有効応力	c' kN/m ²					
		ϕ' °					

特記事項

コンシステンシー指数 I_{cl} は、土の含水比試験結果から算出している。

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

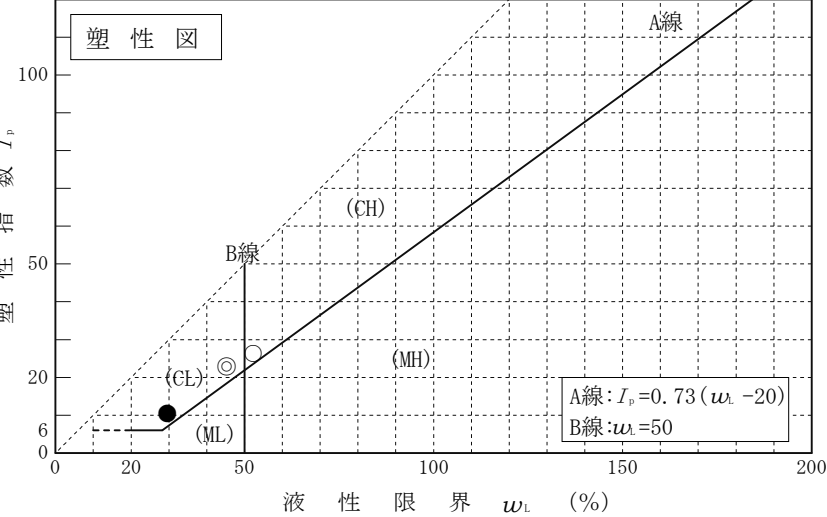
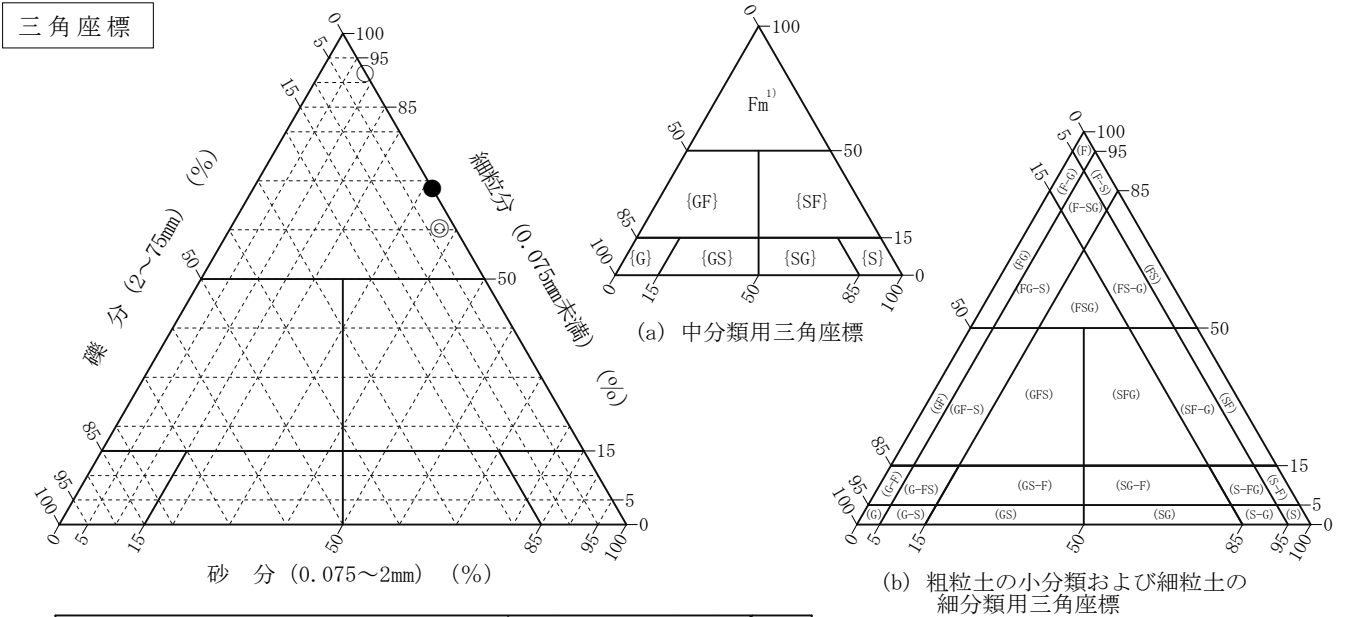
[1kN/m²≒0.0102kgf/cm²]

調査件名第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日2026年 9月 4日

試験者

試料番号 (深 さ)	BV-2:2TW-1 (4.55～5.25m)	BV-2:2TW-2 (7.00～7.70m)	BV-2:2TW-3 (8.50～8.90m)			
石 分(75mm以上)	%					
礫 分(2～75mm)	%	0.0	2.8	0.0		
砂 分(0.075～2mm)	%	8.0	37.0	31.6		
細 粒 分(0.075mm未満)	%	92.0	60.2	68.4		
シルト分(0.005～0.075mm)	%	38.1	26.6	45.8		
粘 土 分(0.005mm未満)	%	53.9	33.6	22.6		
最 大 粒 径	mm	0.850	4.75	2		
均 等 係 数 U_c		-	-	-		
液 性 限 界 w_L	%	52.4	45.3	29.6		
塑 性 限 界 w_p	%	25.9	22.4	19.1		
塑 性 指 数 I_p		26.5	22.9	10.5		
地盤材料の分類名	砂まじり粘土 (高液性限界)	砂質粘土 (低液性限界)	砂質粘土 (低液性限界)			
分 類 記 号	(CH-S)	(CLS)	(CLS)			
凡 例 記 号	○	◎	●			



特記事項 1) 主に観察と塑性図で判別分類

調査件名

第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日

2026年 9月 1日

試験者

試料番号 (深さ)		BV-2:2TW-1 (4.55~5.25m)			BV-2:2TW-2 (7.00~7.70m)		
ピクノメーター No.		507	508	509	510	511	512
(試料+蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_{\text{d}}(T_1)$ g		150.191	149.371	148.574	141.985	153.513	154.539
$m_{\text{d}}(T_1)$ をはかったときの内容物の温度 T_1 °C		23.4	23.4	23.4	23.4	23.4	23.4
T_1 °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T_1)$ Mg/m ³		0.99744	0.99744	0.99744	0.99744	0.99744	0.99744
温度 T_1 °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_{\text{d}}(T_1)^{\text{1)}$ g		142.628	142.773	139.984	132.191	145.329	146.144
試料の 炉乾燥質量	容器 No.	507	508	509	510	511	512
	(炉乾燥試料+容器)質量g	98.956	96.672	99.298	89.379	97.717	100.394
	容器質量 g	86.632	85.899	85.284	73.702	84.614	86.970
	m_s g	12.324	10.773	14.014	15.677	13.103	13.424
土粒子の密度 ρ_s Mg/m ³		2.582	2.574	2.577	2.658	2.657	2.662
平均値 ρ_s Mg/m ³		2.578			2.659		
試料番号 (深さ)		BV-2:2TW-3 (8.50~8.90m)					
ピクノメーター No.		513	514	515			
(試料+蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_{\text{d}}(T_1)$ g		147.892	149.406	149.785			
$m_{\text{d}}(T_1)$ をはかったときの内容物の温度 T_1 °C		23.4	23.4	23.4			
T_1 °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T_1)$ Mg/m ³		0.99744	0.99744	0.99744			
温度 T_1 °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_{\text{d}}(T_1)^{\text{1)}$ g		140.417	141.591	141.794			
試料の 炉乾燥質量	容器 No.	513	514	515			
	(炉乾燥試料+容器)質量g	98.156	98.781	93.964			
	容器質量 g	86.350	86.444	81.364			
	m_s g	11.806	12.337	12.600			
土粒子の密度 ρ_s Mg/m ³		2.719	2.721	2.727			
平均値 ρ_s Mg/m ³		2.722					
試料番号 (深さ)							
ピクノメーター No.							
(試料+蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_{\text{d}}(T_1)$ g							
$m_{\text{d}}(T_1)$ をはかったときの内容物の温度 T_1 °C							
T_1 °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T_1)$ Mg/m ³							
温度 T_1 °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_{\text{d}}(T_1)^{\text{1)}$ g							
試料の 炉乾燥質量	容器 No.						
	(炉乾燥試料+容器)質量g						
	容器質量 g						
	m_s g						
土粒子の密度 ρ_s Mg/m ³							
平均値 ρ_s Mg/m ³							

特記事項

1) ピクノメーターの検定結果から求める。

$$\rho_s = \frac{m_s}{m_s + [m_{\text{d}}(T_1) - m_{\text{i}}(T_1)]} \rho_w(T_1)$$

調査件名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業) 試験年月日 2026年 8月 31日

試 験 者 XXXXXXXXXX

試料番号 (深さ)	BV-2:2TW-1 (4. 55～5. 25m)			BV-2:2TW-2 (7. 00～7. 70m)		
容 器 No.	4	5	6	7	8	9
m_a g	79. 05	77. 92	81. 25	75. 14	81. 74	95. 07
m_b g	64. 90	63. 86	66. 08	64. 75	69. 87	79. 60
m_c g	31. 07	30. 65	30. 49	30. 89	30. 94	30. 66
w %	41. 8	42. 3	42. 6	30. 7	30. 5	31. 6
平 均 値 w %	42. 2			30. 9		
特 記 事 項						

試料番号 (深さ)	BV-2:2TW-3 (8. 50～8. 90m)					
容 器 No.	10	11	12			
m_a g	100. 39	114. 45	120. 72			
m_b g	86. 24	97. 39	102. 40			
m_c g	30. 99	30. 82	30. 78			
w %	25. 6	25. 6	25. 6			
平 均 値 w %	25. 6					
特 記 事 項						

試料番号 (深さ)						
容 器 No.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平 均 値 w %						
特 記 事 項						

試料番号 (深さ)						
容 器 No.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平 均 値 w %						
特 記 事 項						

試料番号 (深さ)						
容 器 No.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平 均 値 w %						
特 記 事 項						

$$w = \frac{m_a - m_b}{m_b - m_c} \times 100$$

m_a : (試料+容器)質量

m_b : (炉乾燥試料+容器)質量

m_c : 容器質量

調査件名

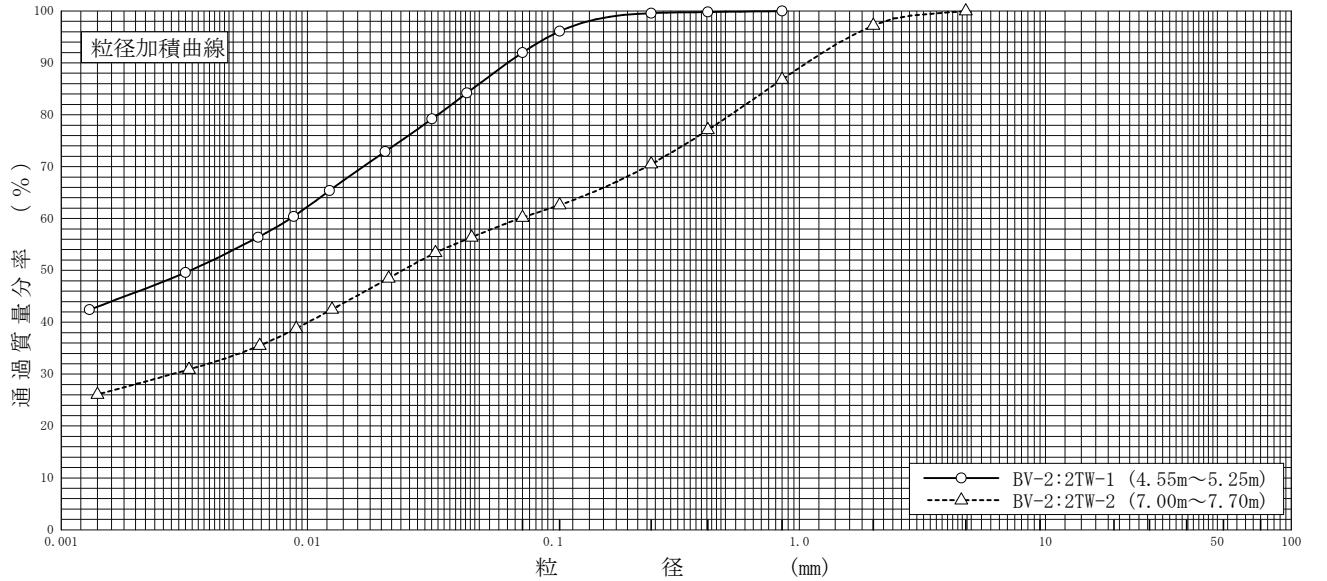
第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日

2026年 9月 1日

試験者

試料番号 (深 さ)	BV-2:2TW-1 (4.55～5.25m)		BV-2:2TW-2 (7.00～7.70m)		試 料 番 号 (深 さ)	BV-2:2TW-1 (4.55～5.25m)	BV-2:2TW-2 (7.00～7.70m)
	粒 径 mm	通過質量分率%	粒 径 mm	通過質量分率%			
ふるい 分 析	75		75		粗 礫 分 率 %	—	—
	53		53		中 礫 分 率 %	—	—
	37.5		37.5		細 礫 分 率 %	—	2.8
	26.5		26.5		粗 砂 分 率 %	—	10.4
	19		19		中 砂 分 率 %	0.4	16.3
	9.5		9.5		細 砂 分 率 %	7.6	10.3
	4.75		4.75	100.0	シ ル ト 分 率 %	38.1	26.6
	2		2	97.2	粘 土 分 率 %	53.9	33.6
	0.850	100.0	0.850	86.8	2mmふるい通過質量分率 %	100.0	97.2
	0.425	99.8	0.425	77.1	425μmふるい通過質量分率 %	99.8	77.1
	0.250	99.6	0.250	70.5	75μmふるい通過質量分率 %	92.0	60.2
	0.106	96.1	0.106	62.6	最 大 粒 径 mm	0.850	4.75
	0.075	92.0	0.075	60.2	60 % 粒 径 D_{60} mm	0.0085	0.073
沈 降 分 析					50 % 粒 径 D_{50} mm	0.0033	0.024
	0.0445	84.2	0.0465	56.4	30 % 粒 径 D_{30} mm	—	0.0028
	0.0321	79.2	0.0332	53.4	10 % 粒 径 D_{10} mm	—	—
	0.0207	72.9	0.0214	48.5	均 等 係 数 U_c	—	—
	0.0123	65.4	0.0126	42.5	曲 率 係 数 U_c'	—	—
	0.0088	60.4	0.0090	38.8	土 粒 子 の 密 度 ρ_s Mg/m ³	2.578	2.659
	0.0063	56.4	0.0064	35.5	使用した分散剤	ヘキサメタリン酸ナトリウム	ヘキサメタリン酸ナトリウム
	0.0032	49.6	0.0033	30.9	溶液濃度, 溶液添加量	20%, 10ml	20%, 10ml
	0.0013	42.4	0.0014	26.1	20 % 粒 径 D_{20} mm	—	—



粘 土	シ ル ト	細 砂	中 砂	粗 砂	細 礫	中 礫	粗 礫
-----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

特記事項

調査件名

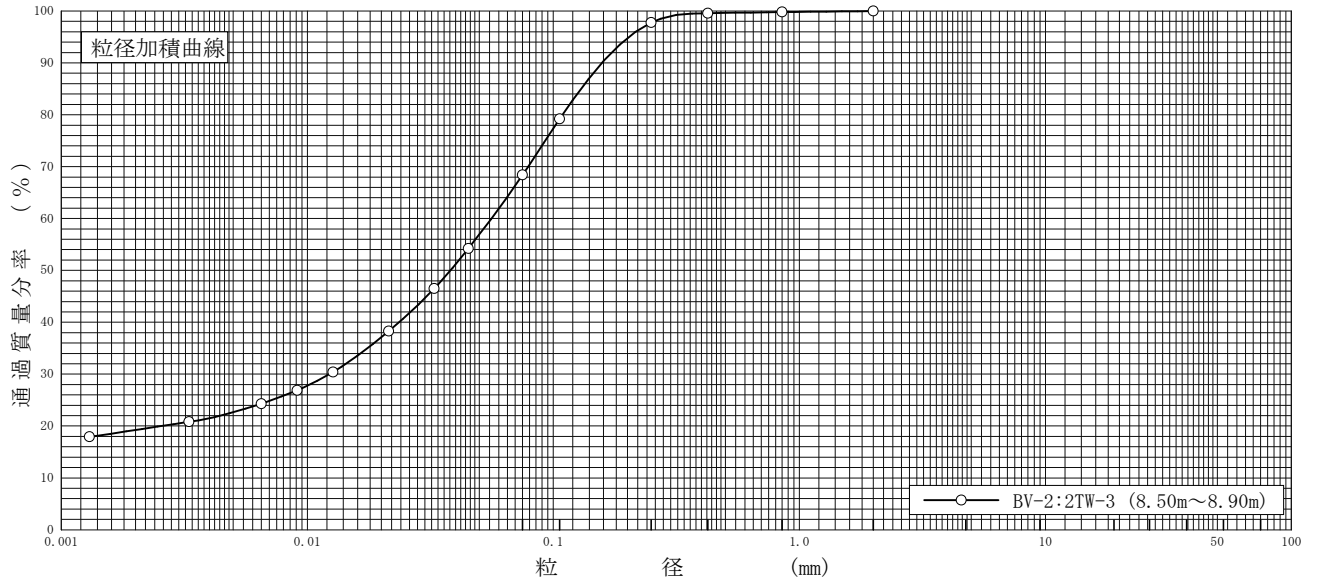
第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日

2026年 9月 1日

試験者

試料番号 (深 さ)	BV-2:2TW-3 (8.50~8.90m)				試 料 番 号 (深 さ)	BV-2:2TW-3 (8.50~8.90m)	
ふるい 分 析	粒 径 mm	通過質量分率%	粒 径 mm	通過質量分率%	粗 礫 分 %	-	
	75		75		中 礫 分 %	-	
	53		53		細 礫 分 %	-	
	37.5		37.5		粗 砂 分 %	0.2	
	26.5		26.5		中 砂 分 %	2.0	
	19		19		細 砂 分 %	29.4	
	9.5		9.5		シ ル ト 分 %	45.8	
	4.75		4.75		粘 土 分 %	22.6	
	2	100.0	2		2mmふるい通過質量分率 %	100.0	
	0.850	99.8	0.850		425μmふるい通過質量分率 %	99.6	
	0.425	99.6	0.425		75μmふるい通過質量分率 %	68.4	
	0.250	97.8	0.250		最 大 粒 径 mm	2	
	0.106	79.2	0.106		60 % 粒 径 D_{60} mm	0.056	
	0.075	68.4	0.075		50 % 粒 径 D_{50} mm	0.038	
沈 降 分 析	0.0451	54.2			30 % 粒 径 D_{30} mm	0.012	
	0.0328	46.5			10 % 粒 径 D_{10} mm	-	
	0.0214	38.3			均 等 係 数 U_c	-	
	0.0127	30.4			曲 率 係 数 U_c'	-	
	0.0091	26.9			土 粒 子 の 密 度 ρ_s Mg/m ³	2.722	
	0.0065	24.3			使用した分散剤	ヘキサメタリン酸ナトリウム	
	0.0033	20.8			溶液濃度, 溶液添加量	20%, 10ml	
	0.0013	17.9			20 % 粒 径 D_{20} mm	0.0026	



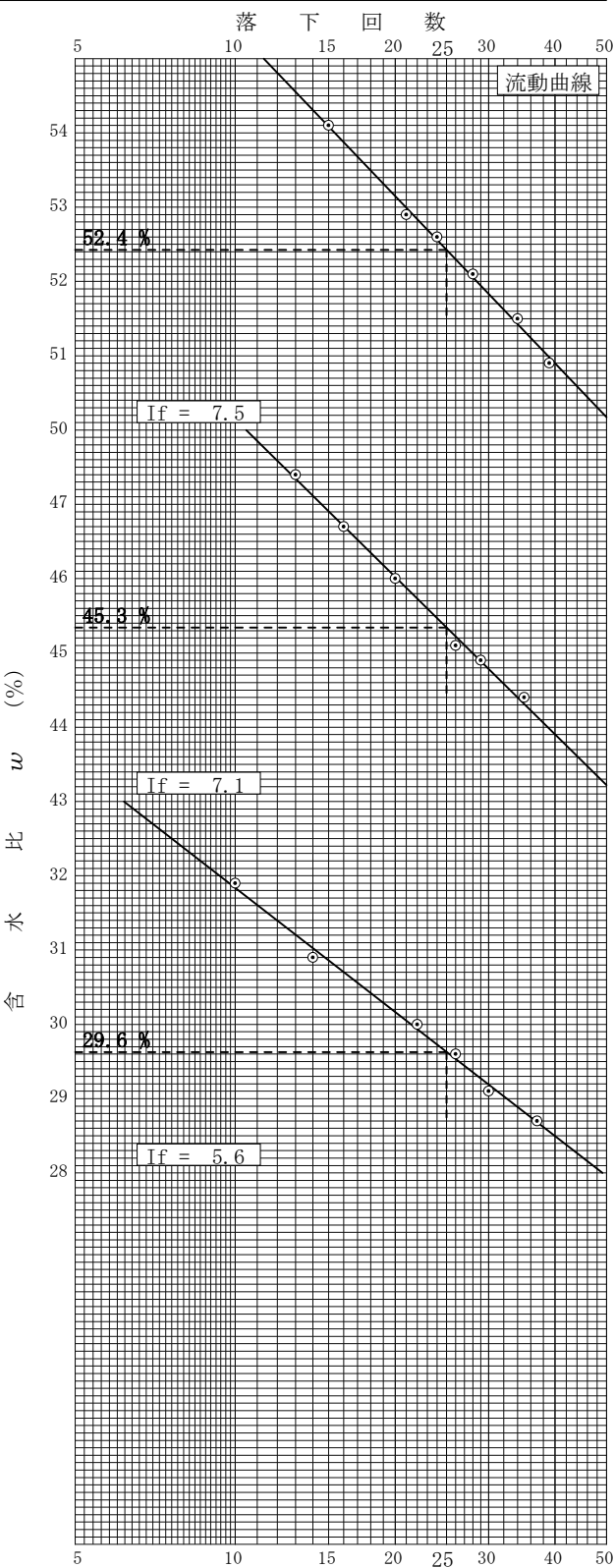
特記事項

調査件名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日 2026年 9月 2日

試験者

試料番号（深さ） BV-2:2TW-1 (4.55～5.25m)			
液性限界試験		塑性限界試験	液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	52.4
39	50.9	25.8	塑性限界 w_p %
34	51.5	26.2	25.9
28	52.1	25.8	塑性指数 I_p
24	52.6		26.5
21	52.9		
15	54.1		
試料番号（深さ） BV-2:2TW-2 (7.00～7.70m)			
液性限界試験		塑性限界試験	液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	45.3
35	44.4	22.1	塑性限界 w_p %
29	44.9	22.3	22.4
26	45.1	22.9	塑性指数 I_p
20	46.0		22.9
16	46.7		
13	47.4		
試料番号（深さ） BV-2:2TW-3 (8.50～8.90m)			
液性限界試験		塑性限界試験	液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	29.6
37	28.7	19.4	塑性限界 w_p %
30	29.1	18.8	19.1
26	29.6	19.1	塑性指数 I_p
22	30.0		10.5
14	30.9		
10	31.9		
試料番号（深さ）			
液性限界試験		塑性限界試験	液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	
			塑性限界 w_p %
			塑性指数 I_p
特記事項			



調査件名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日 2026年 8月 28日

試料番号（深さ） BV-2:2TW-1 (4.55～5.25m)

試験者

供 試 体 No.			1	2	3		
供試体の質量 m g			343.69	346.32	339.54		
供 試 体	直 径	上 部 mm	49.9	50.0	49.9		
			50.0	50.0	49.8		
		中 部 mm	49.9	50.0	49.9		
			50.0	50.0	50.0		
		下 部 mm	50.0	50.0	49.9		
			50.0	50.0	49.8		
		平 均 値 D mm	50.0	50.0	49.9		
	高 積 さ	mm	100.0	99.9	100.0		
			100.0	99.9	100.0		
			100.0	99.8	100.0		
		平 均 値 H mm	100.0	99.9	100.0		
体 積 $V = (\pi D^2 / 4) H$ mm ³			196.35×10 ³	196.15×10 ³	195.56×10 ³		
含 水 比	容 器 No.		3645	1840	1687		
	m_a g		66.94	65.66	75.78		
	m_b g		56.38	54.50	61.06		
	m_c g		31.90	27.42	27.77		
	w %		43.1	41.2	44.2		
	容 器 No.		1634	1842	172		
	m_a g		70.44	67.37	73.33		
	m_b g		57.42	55.61	59.74		
	m_c g		27.63	27.51	29.37		
	w %		43.7	41.9	44.7		
平 均 値 w %			43.4	41.6	44.5		
湿潤密度 $\rho_t = (m / V) \times 10^3$ Mg/m ³			1.750	1.766	1.736		
乾燥密度 $\rho_d = \rho_t / (1 + w / 100)$ Mg/m ³			1.220	1.247	1.201		
間 隙 比 $e = (\rho_s / \rho_d) - 1$			1.113	1.067	1.147		
飽 和 度 $S_r = w \rho_s / (e \rho_w)$ %			100.5	100.5	100.0		
土粒子の密度 ρ_s Mg/m ³			2.578	平 均 値 w %	43.2	平均値 ρ_t Mg/m ³	1.751
平 均 値 ρ_d Mg/m ³			1.223	平 均 値 e	1.109	平均値 S_r %	100.3

特記事項

調査件名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日 2026年 8月 28日

試料番号（深さ） BV-2:2TW-2 (7.00～7.70m)

試験者

供 試 体 No.			1	2	3		
供試体の質量 m g			385.80	381.45	348.65		
供 試 体	直 径	上 部 mm	49.8	50.0	49.8		
			49.8	49.9	49.8		
		中 部 mm	50.0	50.0	50.1		
			49.8	50.0	49.8		
		下 部 mm	50.1	50.0	50.0		
			49.8	49.9	49.8		
		平 均 値 D mm	49.9	50.0	49.9		
	高 積 さ	mm	99.9	100.0	100.0		
			99.9	100.0	100.0		
			99.7	100.0	100.0		
		平 均 値 H mm	99.8	100.0	100.0		
体 積 $V = (\pi D^2 / 4)H$ mm ³			195.17×10 ³	196.35×10 ³	195.56×10 ³		
含 水 比	容 器 No.		1590	1525	3610		
	m_a g		82.00	80.45	81.18		
	m_b g		71.55	69.19	67.00		
	m_c g		28.13	27.73	31.71		
	w %		24.1	27.2	40.2		
	容 器 No.		1522	3638	1870		
	m_a g		70.00	84.05	71.95		
	m_b g		61.42	72.75	59.54		
	m_c g		27.00	32.26	27.83		
	w %		24.9	27.9	39.1		
平 均 値 w %			24.5	27.6	39.7		
湿潤密度 $\rho_t = (m / V) \times 10^3$ Mg/m ³			1.977	1.943	1.783		
乾燥密度 $\rho_d = \rho_t / (1 + w / 100)$ Mg/m ³			1.588	1.523	1.276		
間 隙 比 $e = (\rho_s / \rho_d) - 1$			0.674	0.746	1.084		
飽 和 度 $S_r = w \rho_s / (e \rho_w)$ %			96.7	98.4	97.4		
土粒子の密度 ρ_s Mg/m ³			2.659	平 均 値 w %	30.6	平均値 ρ_t Mg/m ³	1.901
平 均 値 ρ_d Mg/m ³			1.462	平 均 値 e	0.835	平均値 S_r %	97.5

特記事項

調査件名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日 2026年 8月 28日

試料番号（深さ） BV-2:2TW-3 (8.50～8.90m)

試験者

供 試 体 No.			1	2	3		
供試体の質量 m g			398.25	400.42	395.22		
供 試 体	直 径	上 部 mm	50.0	50.0	50.0		
			50.0	50.0	50.0		
		中 部 mm	50.0	50.2	50.0		
			50.0	50.0	50.0		
		下 部 mm	50.0	50.3	50.0		
			50.0	50.1	50.0		
		平 均 値 D mm	50.0	50.1	50.0		
	高 積 さ	mm	100.0	100.0	100.0		
			100.0	100.0	100.0		
			100.0	100.0	100.0		
		平 均 値 H mm	100.0	100.0	100.0		
体 積 $V = (\pi D^2 / 4)H$ mm ³			196.35×10 ³	197.14×10 ³	196.35×10 ³		
含 水 比	容 器 No.		1741	3589	1716		
	m_a g		77.61	72.29	76.31		
	m_b g		67.67	64.24	66.38		
	m_c g		27.89	31.58	27.68		
	w %		25.0	24.6	25.7		
	容 器 No.		1624	1694	3586		
	m_a g		71.41	75.31	84.95		
	m_b g		62.54	65.95	73.94		
	m_c g		27.12	27.97	31.75		
	w %		25.0	24.6	26.1		
平 均 値 w %			25.0	24.6	25.9		
湿潤密度 $\rho_t = (m / V) \times 10^3$ Mg/m ³			2.028	2.031	2.013		
乾燥密度 $\rho_d = \rho_t / (1 + w / 100)$ Mg/m ³			1.622	1.630	1.599		
間 隙 比 $e = (\rho_s / \rho_d) - 1$			0.678	0.670	0.702		
飽 和 度 $S_r = w \rho_s / (e \rho_w)$ %			100.4	99.9	100.4		
土粒子の密度 ρ_s Mg/m ³			2.722	平 均 値 w %	25.2	平均値 ρ_t Mg/m ³	2.024
平 均 値 ρ_d Mg/m ³			1.617	平 均 値 e	0.683	平均値 S_r %	100.2

特記事項

JGS	0520	土の三軸試験の供試体作製・設置	
-----	------	-----------------	--

調査件名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業) 試験年月日 2026年 8月 31日

試料番号(深さ) BV-2:2TW-1 (4.55~5.25m) 試験者

供試体を用いる試験の基準番号と名称		JGS 0521 土の非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験			
試料の状態 ¹⁾	乱さない	土粒子の密度 $\rho_s^{(3)}$ Mg/m ³		2.578	
供試体の作製 ²⁾	トリミング法	液性限界 w_L % ⁴⁾		52.4	
土質名称	(CH-S)	塑性限界 w_p % ⁴⁾		25.9	
供試体 No.		1	2	3	
初期状態	直径 mm	50.0	50.0	49.9	
		50.0	50.0	50.0	
		50.0	50.0	49.9	
	平均直径 D_i mm	50.0	50.0	49.9	
	高さ mm	100.0	99.9	100.0	
		100.0	99.9	100.0	
		100.0	99.8	100.0	
	平均高さ H_i mm	100.0	99.9	100.0	
	体積 V_i mm ³	196.35×10 ³	196.15×10 ³	195.56×10 ³	
	含水比 w_i %	43.4	41.6	44.5	
	質量 m_i g	343.69	346.32	339.54	
	湿潤密度 $\rho_{ti}^{(3)}$ Mg/m ³	1.750	1.766	1.736	
	乾燥密度 $\rho_{di}^{(3)}$ Mg/m ³	1.220	1.247	1.201	
	間隙比 $e_i^{(3)}$	1.113	1.067	1.147	
設置・飽和過程	飽和度 $S_{ri}^{(3)}$ %	100.5	100.5	100.0	
	相対密度 $D_{ri}^{(3)}$ %				
	軸変位量の測定方法				
	設置時の軸変位量 mm				
	飽和過程の軸変位量 mm				
	軸変位量 $\Delta H_i^{(5)}$ mm				
	体積変化量の測定方法				
	設置時の体積変化量 mm ³				
	飽和過程の体積変化量 mm ³				
	体積変化量 $\Delta V_i^{(5)}$ mm ³				
圧密前(試験前)	高さ H_0 mm	100.0	99.9	100.0	
	直径 D_0 mm	50.0	50.0	49.9	
	体積 V_0 mm ³	196.35×10 ³	196.15×10 ³	195.56×10 ³	
	乾燥密度 $\rho_{d0}^{(3)}$ Mg/m ³	1.220	1.247	1.201	
	間隙比 $e_0^{(3)}$	1.113	1.067	1.147	
	相対密度 $D_{r0}^{(3)}$ %				
炉乾燥後	容器 No.				
	(炉乾燥供試体+容器)質量 g				
	容器質量 g				
	炉乾燥質量 m_s g	239.67	244.58	234.98	

特記事項

1) 試料の採取方法, 試料の状態(塊状, 凍結, ときほぐされた)等を記載する。
2) トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
3) 必要に応じて記載する。
4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。
5) 設置時の変化と飽和過程およびB値測定過程での変化を合わせる。

調査件名

第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日

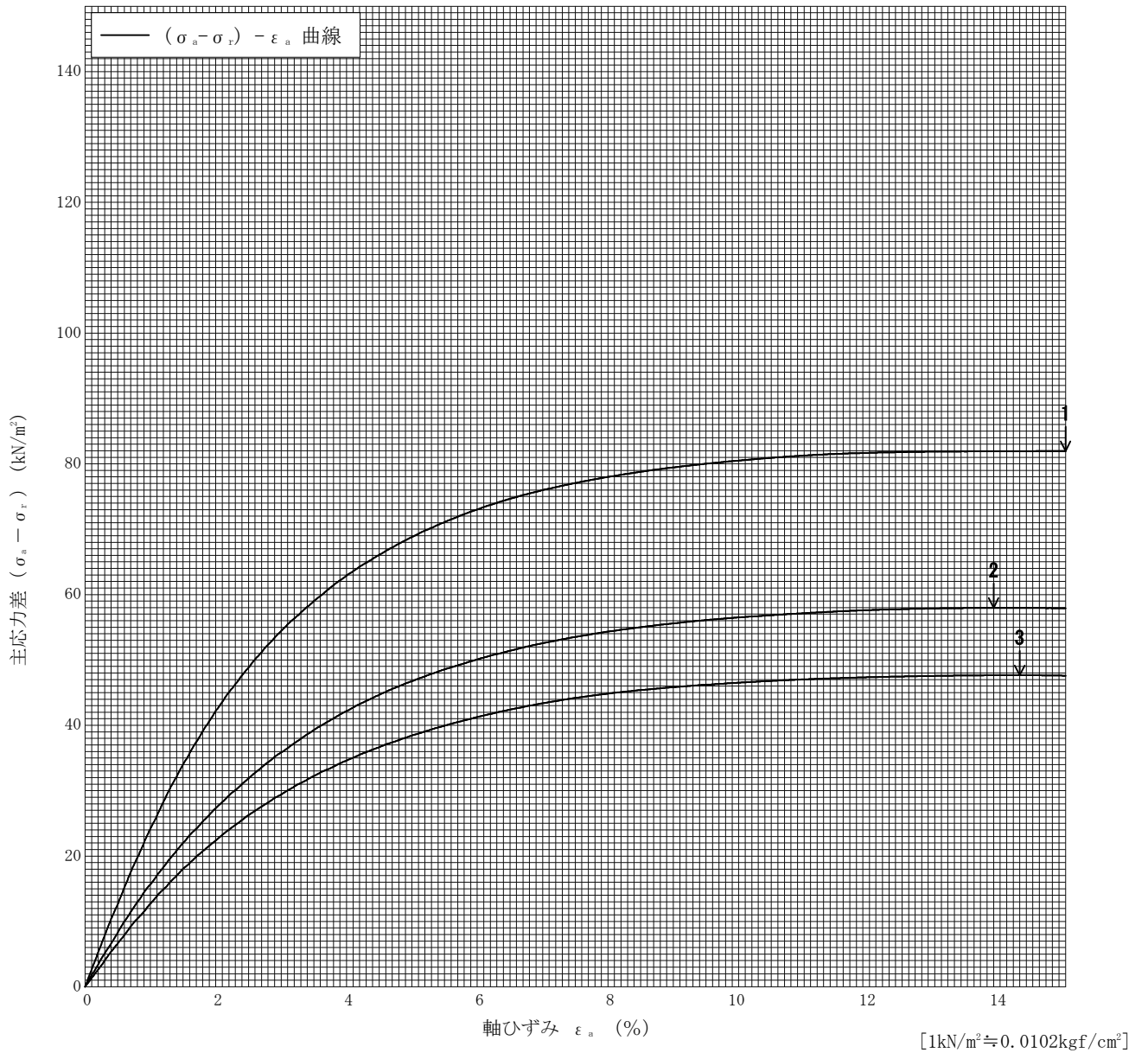
2026年 8月 31日

試料番号 (深さ)

BV-2:2TW-1 (4.55~5.25m)

試験者

土 質 名 称	(CH-S)	供 試 体 No.		1	2	3	
液性限界 w_L %	52.4	セル圧・圧密応力 σ_a kN/m^2		25	50	100	
塑性限界 w_p %	25.9	背 圧 u_b kN/m^2		0	0	0	
ひずみ速度 %/min	1.0	圧縮強さ $(\sigma_a - \sigma_r)_{\max}$ kN/m^2		82	58	48	
特記事項 1) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。	主 応 力 差 最 大 時	軸ひずみ ε_{af} %		15.00	13.90	14.30	
		CU	間隙水圧 u_f kN/m^2				
			有効軸方向応力 σ'_{af} kN/m^2				
			有効側方向応力 σ'_{rf} kN/m^2				
		CD	体積ひずみ ε_{vf} %				
			間 隙 比 e_f				
	供試体の破壊状況						



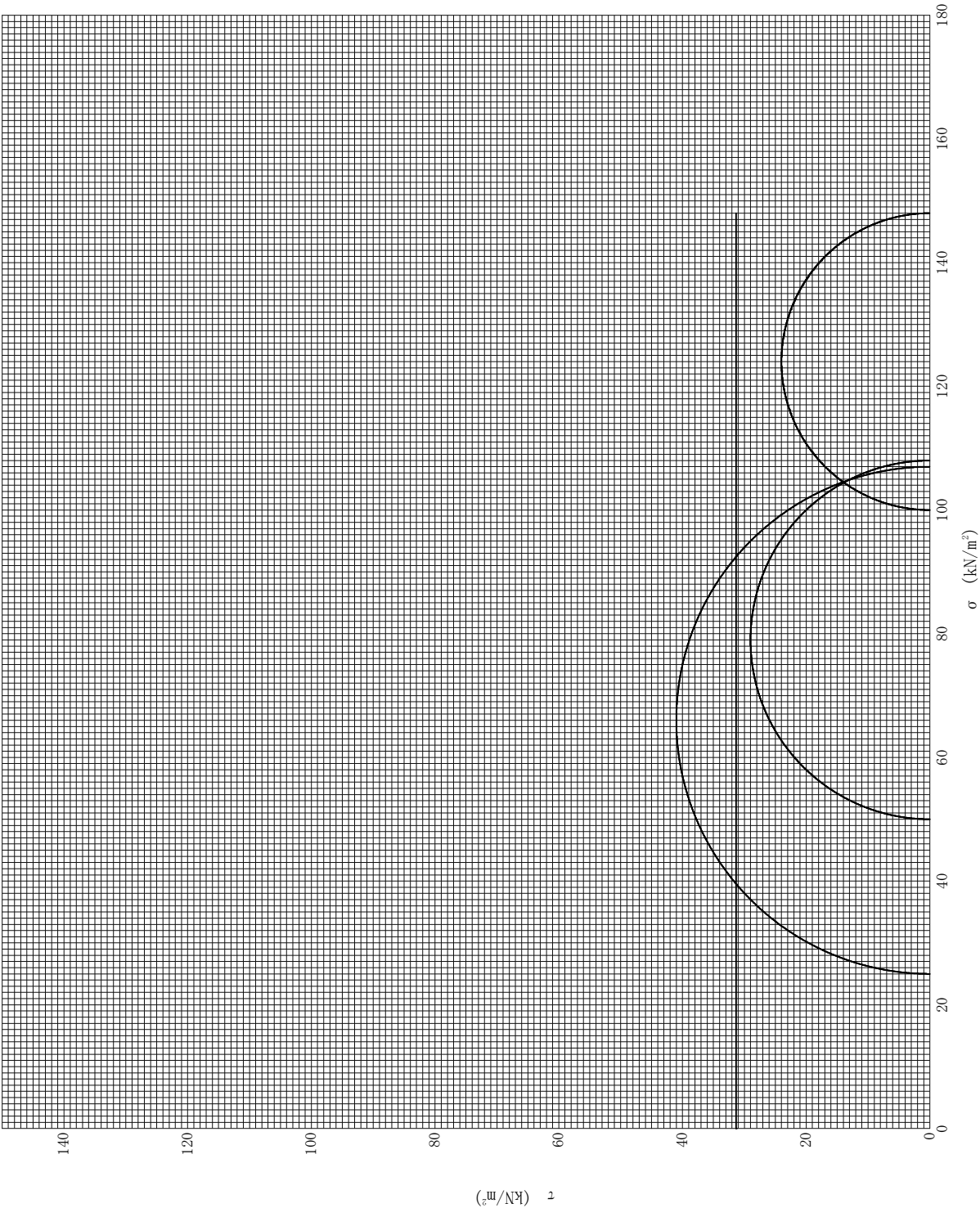
調査件名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日 2026年 8月 31日

試料番号 (深さ) BV-2:2TW-1 (4.55~5.25m)

試験者

強度定数 応力範囲	全 応 力			有 効 応 力	
	c_u kN/m ²	ϕ_u °	$\tan \phi_u$	c' kN/m ²	ϕ' °
正 規 圧 密 領 域					
過 圧 密 領 域					
	31	0.0	0.00		



特記事項

JGS	0520	土の三軸試験の供試体作製・設置	
-----	------	-----------------	--

調査件名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業) 試験年月日 2026年 8月 31日

試料番号(深さ) BV-2:2TW-2 (7.00～7.70m) 試験者

供試体を用いる試験の基準番号と名称		JGS 0521 土の非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験			
試料の状態 ¹⁾	乱さない	土粒子の密度 $\rho_s^{3)}$ Mg/m ³		2.659	
供試体の作製 ²⁾	トリミング法	液性限界 w_L % ⁴⁾		45.3	
土質名称	(CLS)	塑性限界 w_P % ⁴⁾		22.4	
供試体 No.		1	2	3	
初期状態	直径 mm	49.8	50.0	49.8	
		49.9	50.0	50.0	
		50.0	50.0	49.9	
	平均直径 D_i mm	49.9	50.0	49.9	
	高さ mm	99.9	100.0	100.0	
		99.9	100.0	100.0	
		99.7	100.0	100.0	
	平均高さ H_i mm	99.8	100.0	100.0	
	体積 V_i mm ³	195.17×10 ³	196.35×10 ³	195.56×10 ³	
	含水比 w_i %	24.5	27.6	39.7	
	質量 m_i g	385.80	381.45	348.65	
	湿潤密度 $\rho_{ti}^{3)}$ Mg/m ³	1.977	1.943	1.783	
	乾燥密度 $\rho_{di}^{3)}$ Mg/m ³	1.588	1.523	1.276	
	間隙比 $e_i^{3)}$	0.674	0.746	1.084	
	飽和度 $S_{ri}^{3)}$ %	96.7	98.4	97.4	
	相対密度 $D_{ri}^{3)}$ %				
設置・飽和過程	軸変位量の測定方法				
	設置時の軸変位量 mm				
	飽和過程の軸変位量 mm				
	軸変位量 $\Delta H_i^{5)}$ mm				
	体積変化量の測定方法				
	設置時の体積変化量 mm ³				
	飽和過程の体積変化量 mm ³				
	体積変化量 $\Delta V_i^{5)}$ mm ³				
圧密前(試験前)	高さ H_0 mm	99.8	100.0	100.0	
	直径 D_0 mm	49.9	50.0	49.9	
	体積 V_0 mm ³	195.17×10 ³	196.35×10 ³	195.56×10 ³	
	乾燥密度 $\rho_{d0}^{3)}$ Mg/m ³	1.588	1.523	1.276	
	間隙比 $e_0^{3)}$	0.674	0.746	1.084	
	相対密度 $D_{r0}^{3)}$ %				
炉乾燥後	容器 No.				
	(炉乾燥供試体+容器)質量 g				
	容器質量 g				
	炉乾燥質量 m_s g	309.88	298.94	249.57	

特記事項

1) 試料の採取方法, 試料の状態(塊状, 凍結, ときほぐされた)等を記載する。
2) トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
3) 必要に応じて記載する。
4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。
5) 設置時の変化と飽和過程およびB値測定過程での変化を合わせる。

調査件名

第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日

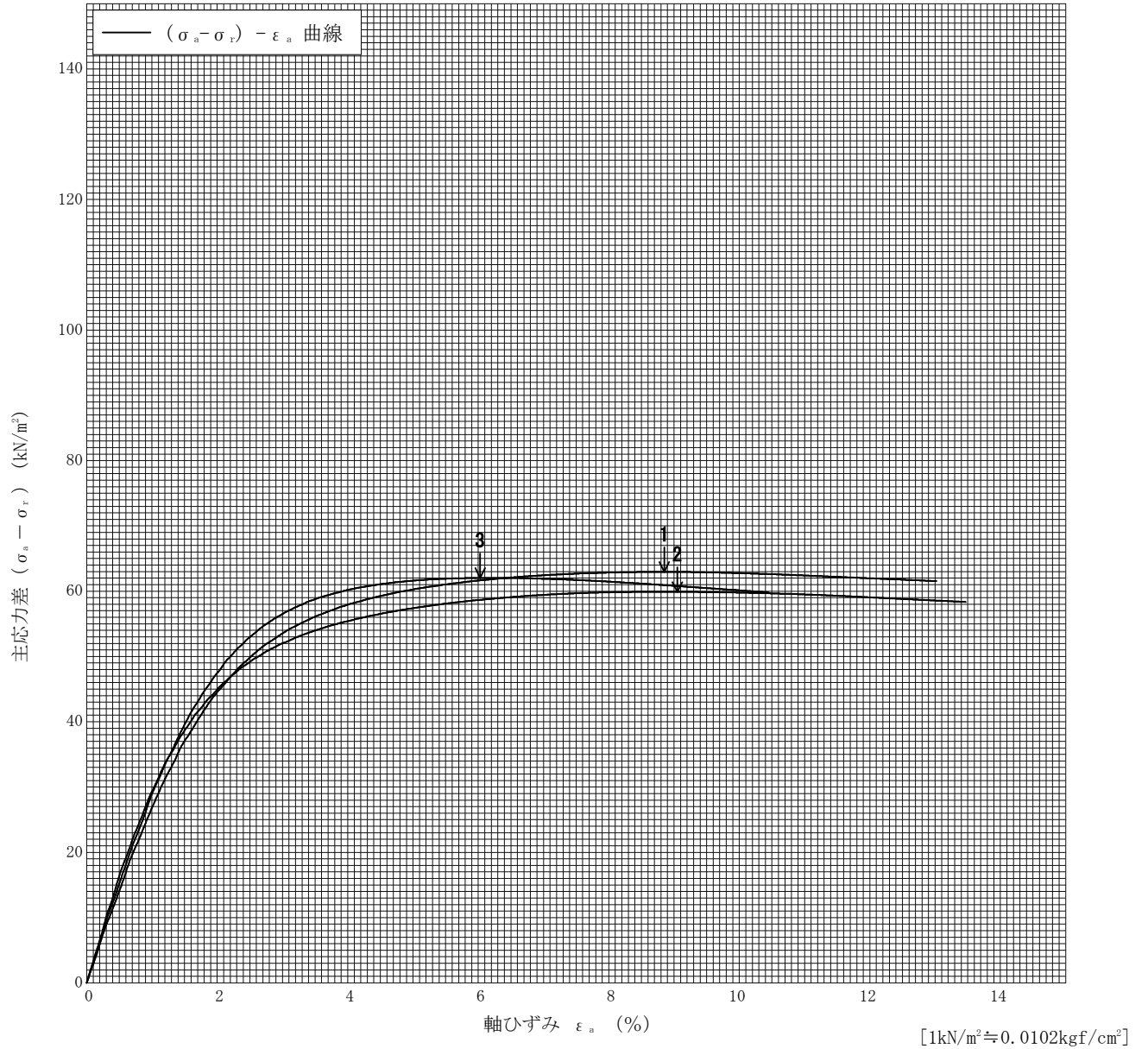
2026年 8月 31日

試料番号 (深さ)

BV-2:2TW-2 (7.00~7.70m)

試験者

土 質 名 称	(CLS)	供 試 体 No.		1	2	3	
液性限界 w_L %	45.3	セル圧・圧密応力 kN/m^2		35	70	140	
塑性限界 w_p %	22.4	背 圧 u_b kN/m^2		0	0	0	
ひずみ速度 %/min	1.0	圧縮強さ $(\sigma_a - \sigma_r)_{max}$ kN/m^2		63	60	62	
特記事項 1) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。	主 応 力 差 最 大 時	軸ひずみ ε_{af} %		8.85	9.05	6.03	
		CU	間隙水圧 u_f kN/m^2				
			有効軸方向応力 σ'_{af} kN/m^2				
			有効側方向応力 σ'_{rf} kN/m^2				
		CD	体積ひずみ ε_{vf} %				
			間 隙 比 e_f				
		供試体の破壊状況					



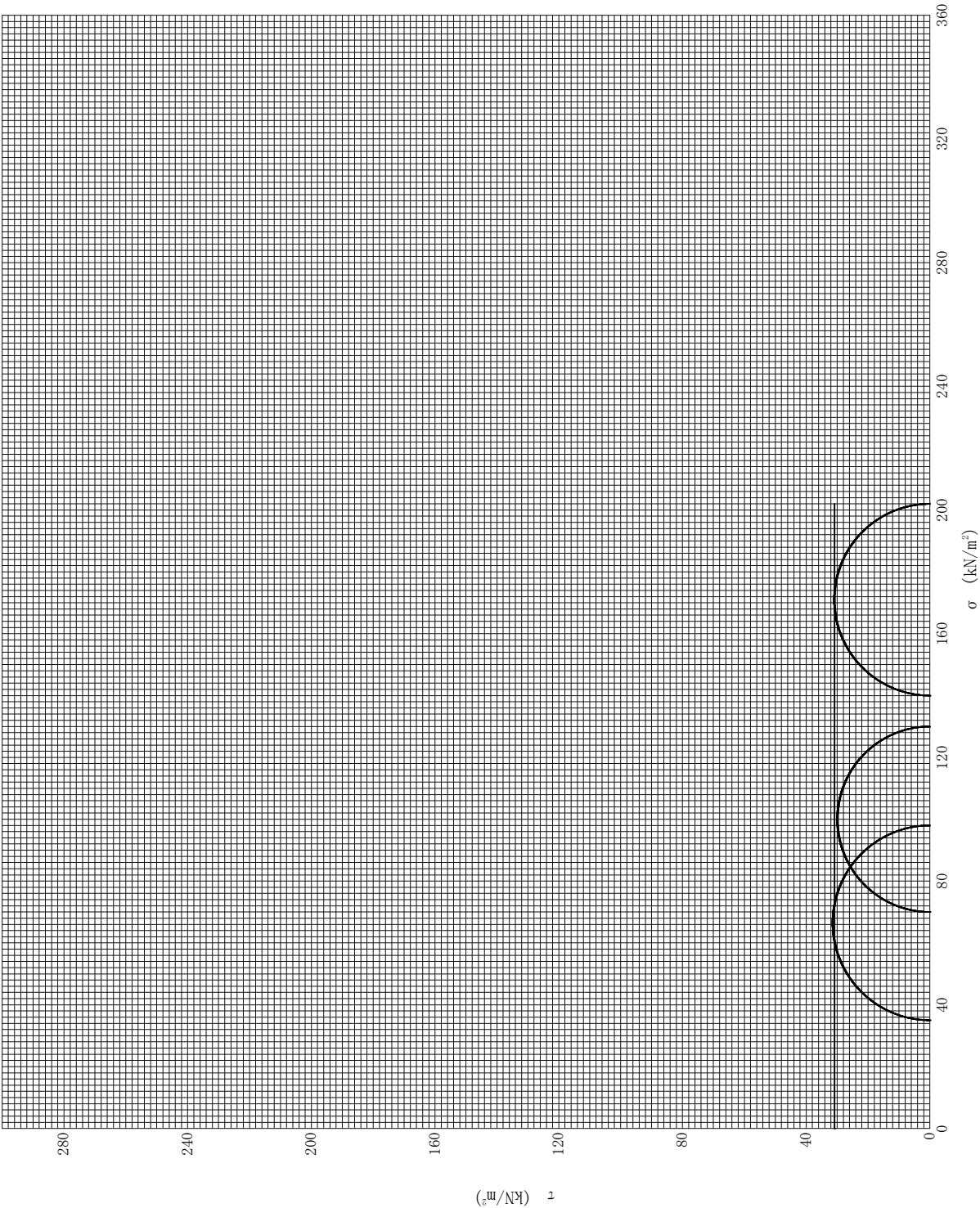
調査件名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日 2026年 8月 31日

試料番号 (深さ) BV-2:2TW-2 (7.00～7.70m)

試験者

強度定数 応力範囲	全 応 力			有 効 応 力	
	c_u kN/m ²	ϕ_u °	$\tan \phi_u$	c' kN/m ²	ϕ' °
正 規 圧 密 領 域					
過 圧 密 領 域					
	31	0.0	0.00		



特記事項

調査件名

第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日

2026年 8月 31日

試料番号（深さ）

BV-2:2TW-3（8.50～8.90m）

試験者

供試体を用いる試験の基準番号と名称		JGS 0521 土の非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験			
試料の状態 ¹⁾		乱さない	土粒子の密度 $\rho_s^{3)}$ Mg/m ³		2.722
供試体の作製 ²⁾		トリミング法	液性限界 w_L % ⁴⁾		29.6
土質名称		(CLS)	塑性限界 w_P % ⁴⁾		19.1
供試体 No.		1	2	3	
初期状態	直径 mm	50.0	50.0	50.0	
		50.0	50.1	50.0	
		50.0	50.2	50.0	
	平均直径 D_i mm	50.0	50.1	50.0	
	高さ mm	100.0	100.0	100.0	
		100.0	100.0	100.0	
		100.0	100.0	100.0	
	平均高さ H_i mm	100.0	100.0	100.0	
	体積 V_i mm ³	196.35×10 ³	197.14×10 ³	196.35×10 ³	
	含水比 w_i %	25.0	24.6	25.9	
	質量 m_i g	398.25	400.42	395.22	
態	湿潤密度 $\rho_{ti}^{3)}$ Mg/m ³	2.028	2.031	2.013	
	乾燥密度 $\rho_{di}^{3)}$ Mg/m ³	1.622	1.630	1.599	
	間隙比 $e_i^{3)}$	0.678	0.670	0.702	
	飽和度 $S_{ri}^{3)}$ %	100.4	99.9	100.4	
設置・飽和過程	軸変位量の測定方法				
	設置時の軸変位量 mm				
	飽和過程の軸変位量 mm				
	軸変位量 $\Delta H_i^{5)}$ mm				
	体積変化量の測定方法				
	設置時の体積変化量 mm ³				
	飽和過程の体積変化量 mm ³				
	体積変化量 $\Delta V_i^{5)}$ mm ³				
圧密前（試験前）	高さ H_0 mm	100.0	100.0	100.0	
	直径 D_0 mm	50.0	50.1	50.0	
	体積 V_0 mm ³	196.35×10 ³	197.14×10 ³	196.35×10 ³	
	乾燥密度 $\rho_{d0}^{3)}$ Mg/m ³	1.622	1.630	1.599	
	間隙比 $e_0^{3)}$	0.678	0.670	0.702	
	相対密度 $D_{r0}^{3)}$ %				
炉乾燥後	容器 No.				
	(炉乾燥供試体+容器)質量 g				
	容器質量 g				
	炉乾燥質量 m_s g	318.60	321.36	313.92	

特記事項

1) 試料の採取方法，試料の状態（塊状，凍結，ときほぐされた）等を記載する。
2) トリミング法，負圧法の種別，凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
3) 必要に応じて記載する。
4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界，塑性限界，砂質土の場合は最小乾燥密度，最大乾燥密度等を記載する。
5) 設置時の変化と飽和過程および B 値測定過程での変化を合わせる。

調査件名

第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日

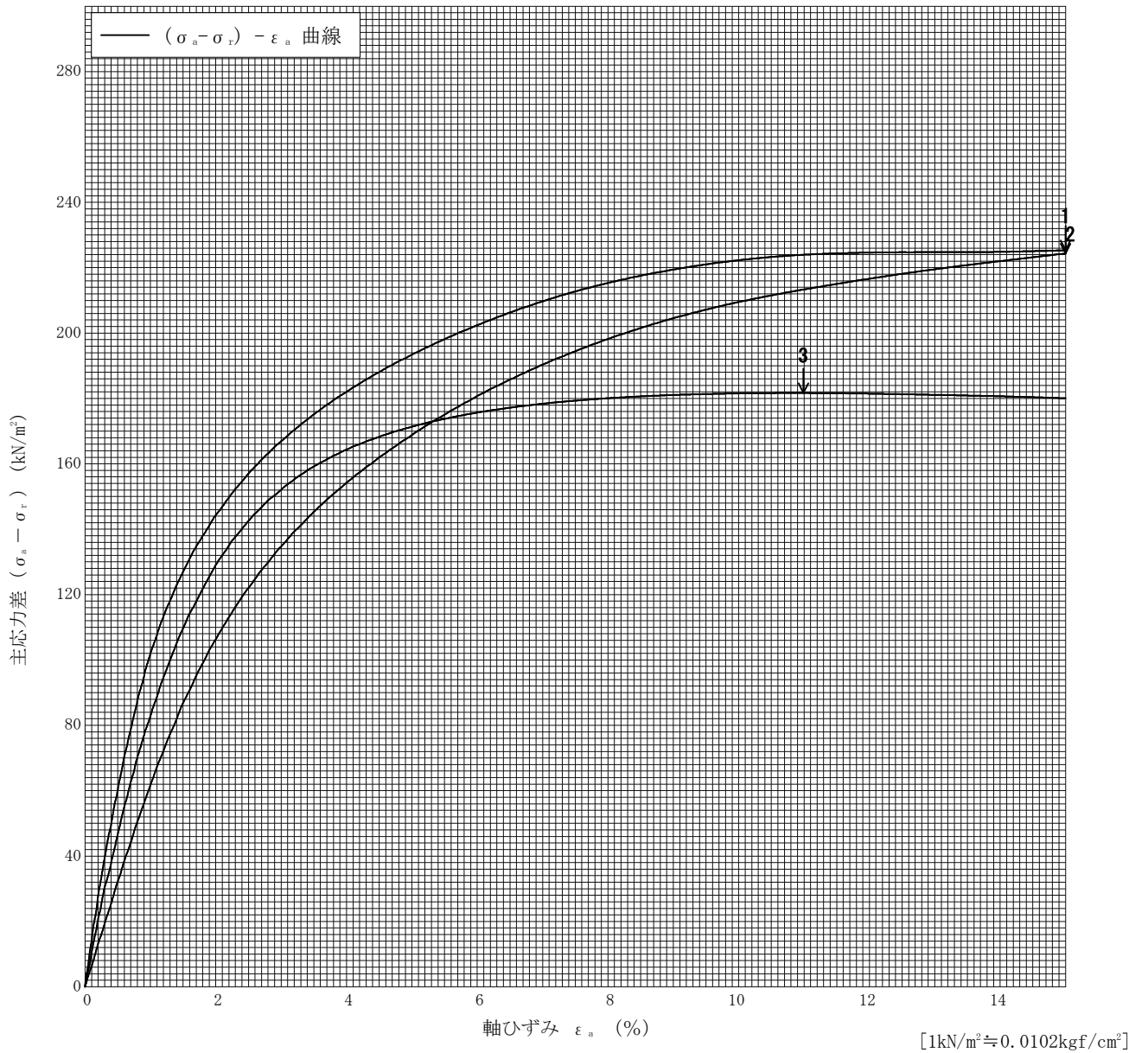
2026年 8月 31日

試料番号 (深さ)

BV-2:2TW-3 (8.50~8.90m)

試験者

土 質 名 称	(CLS)	供 試 体 No.		1	2	3	
液性限界 w_L %	29.6	セル圧・圧密応力 σ_a kN/m^2		40	80	160	
塑性限界 w_p %	19.1	背 圧 u_b kN/m^2		0	0	0	
ひずみ速度 %/min	1.0	圧縮強さ $(\sigma_a - \sigma_r)_{\max}$ kN/m^2		224	225	182	
特記事項 1) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界，塑性限界，砂質土の場合は最小乾燥密度，最大乾燥密度等を記載する。	主 応 力 差 最 大 時	軸ひずみ ε_{af} %		15.00	15.00	10.99	
		CU	間隙水圧 u_f kN/m^2				
			有効軸方向応力 σ'_{af} kN/m^2				
			有効側方向応力 σ'_{rf} kN/m^2				
		CD	体積ひずみ ε_{vf} %				
			間 隙 比 e_f				
		供試体の破壊状況					



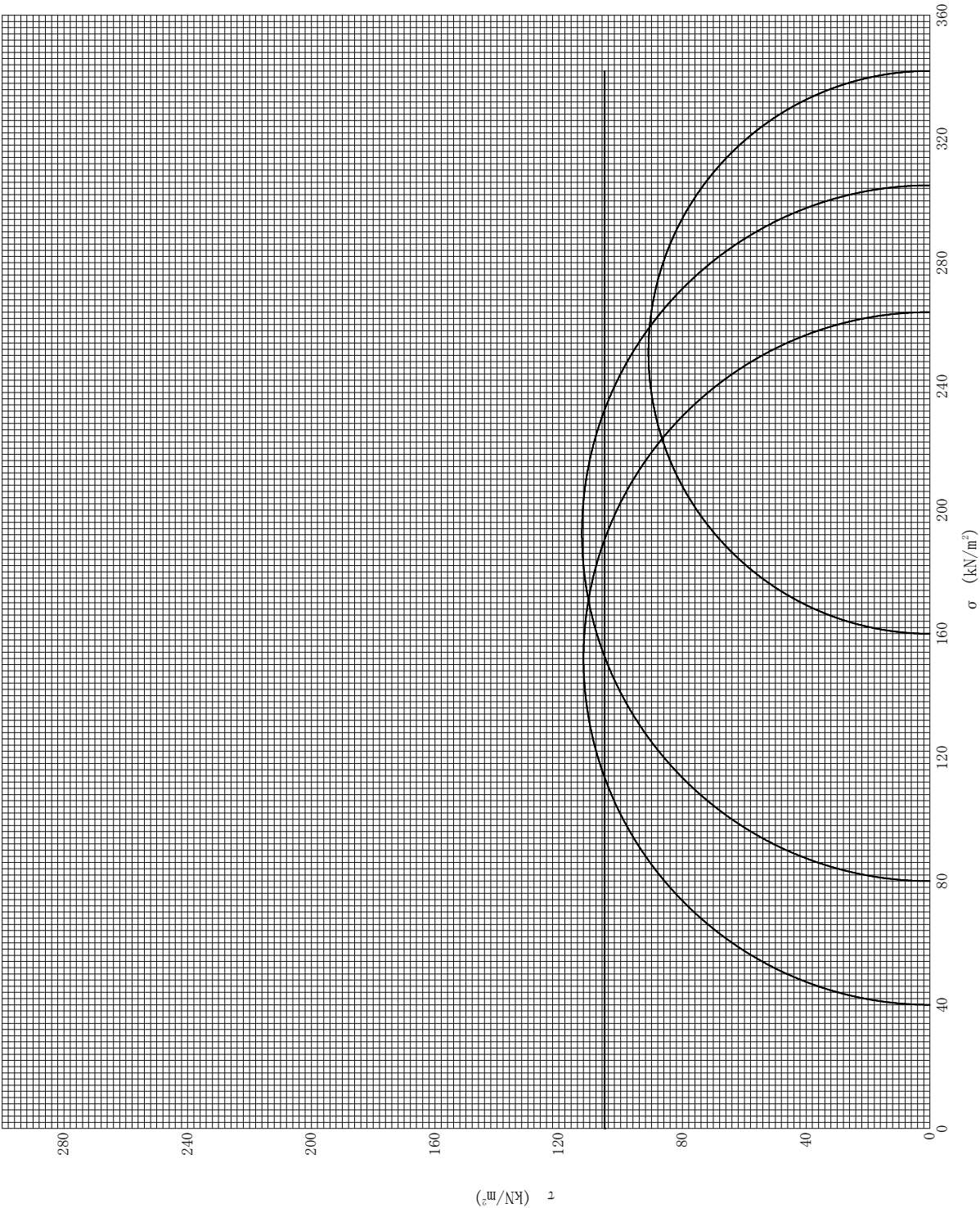
調査件名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日 2026年 8月 31日

試料番号 (深さ) BV-2:2TW-3 (8.50~8.90m)

試験者

強度定数 応力範囲	全 応 力			有 効 応 力	
	c_u kN/m ²	ϕ_u °	$\tan \phi_u$	c' kN/m ²	ϕ' °
正 規 圧 密 領 域					
過 圧 密 領 域					
	105	0.0	0.00		



特記事項

土質試験結果一覧表（基礎地盤）

調査件名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

整理年月日 2026年 9月 16日

整理担当者

試料番号 (深 さ)		BV-3:3TW-1 (3.00～3.50m)					
一般	湿潤密度 ρ_t Mg/m ³	1.716					
	乾燥密度 ρ_d Mg/m ³	1.169					
	土粒子の密度 ρ_s Mg/m ³	2.695					
	自然含水比 w_n %	46.9					
	間隙比 e	1.308					
	飽和度 S_r %	96.5					
粒度	石分 (7.5mm以上) %						
	礫分 ¹⁾ (2～7.5mm) %	0.3					
	砂分 ¹⁾ (0.075～2mm) %	19.1					
	シルト分 ¹⁾ (0.005～0.075mm) %	47.3					
	粘土分 ¹⁾ (0.005mm未満) %	33.3					
	最大粒径 mm	4.75					
	均等係数 U_c	—					
	50%粒径 D_{50} mm	0.013					
コンシステンシー特性	液性限界 w_L %	53.7					
	塑性限界 w_p %	28.0					
	塑性指数 I_p	25.7					
	コンシステンシー指数 I_c	0.2					
分類	地盤材料の 分類名	砂質粘土 (高液性限界)					
	分類記号	(CHS)					
圧密	試験方法						
	圧縮指数 C_c						
	圧密降伏応力 p_c kN/m ²						
一軸圧縮	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²						
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²						
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²						
	一軸圧縮強さ q_u kN/m ²						
せん断	試験条件	三軸UU					
	全応力 c kN/m ²	12					
	ϕ °	0.0					
	有効応力 c' kN/m ²						
	ϕ' °						

特記事項

コンシステンシー指数 I_{cl} は、土の含水比試験結果から算出している。

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

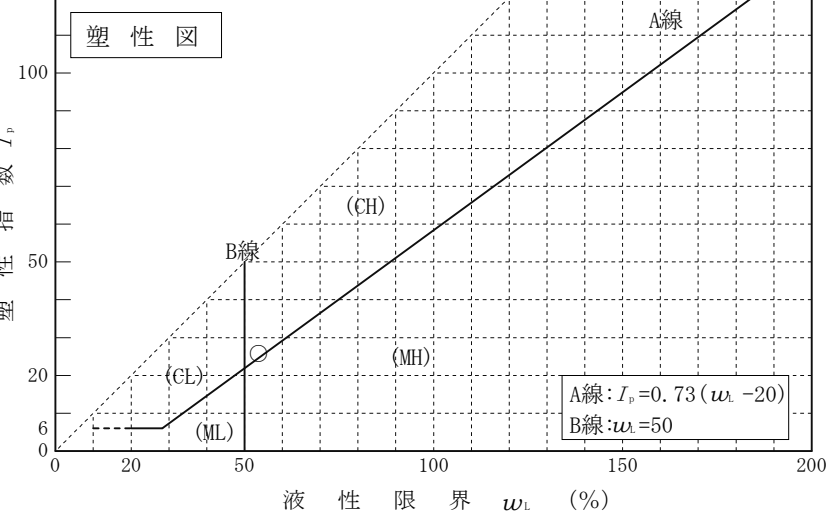
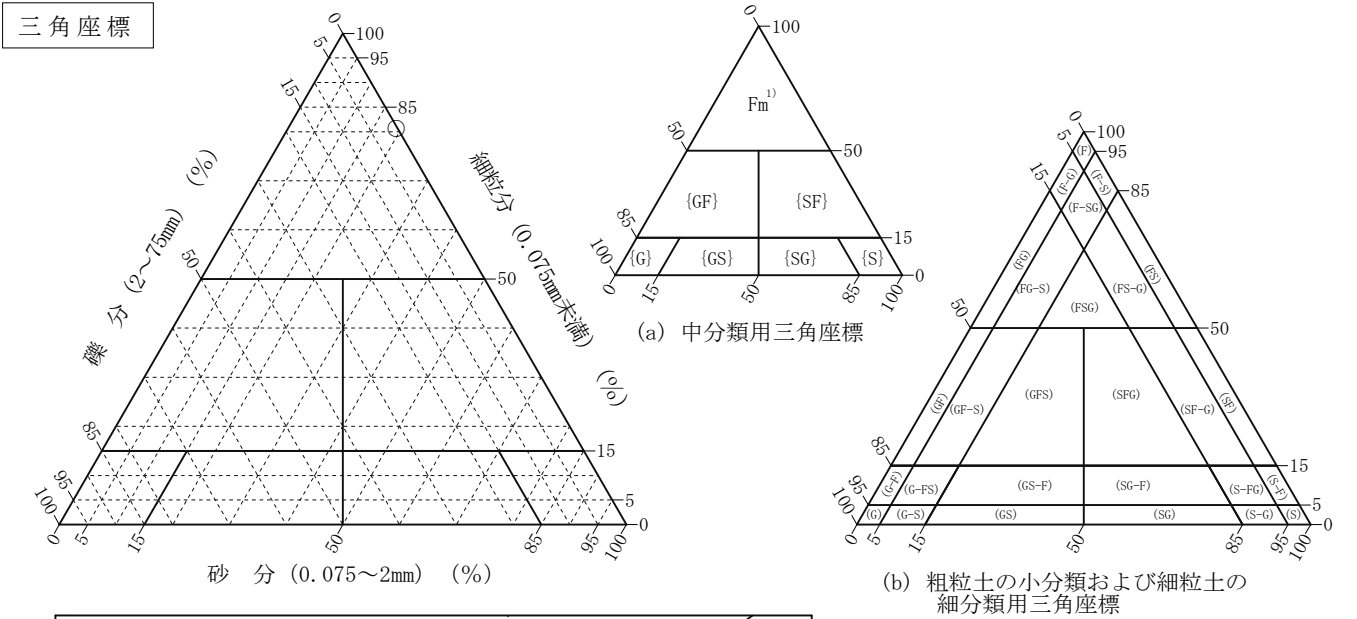
[1kN/m²≒0.0102kgf/cm²]

調査件名第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日2026年 9月 11日

試験者

試料番号 (深 さ)	BV-3:3TW-1 (3.00～3.50m)					
石 分(75mm以上)	%					
礫 分(2～75mm)	%	0.3				
砂 分(0.075～2mm)	%	19.1				
細 粒 分(0.075mm未満)	%	80.6				
シルト分(0.005～0.075mm)	%	47.3				
粘 土 分(0.005mm未満)	%	33.3				
最 大 粒 径	mm	4.75				
均 等 係 数 U_c		-				
液 性 限 界 w_L	%	53.7				
塑 性 限 界 w_p	%	28.0				
塑 性 指 数 I_p		25.7				
地盤材料の分類名	砂質粘土 (高液性限界)					
分 類 記 号	(CHS)					
凡 例 記 号	○					



特記事項 1) 主に観察と塑性図で判別分類

調査件名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業) 試験年月日 2026年 9月 8日

試験者

試料番号 (深さ)		BV-3:3TW-1 (3.00~3.50m)					
ピクノメーター No.		13	14	15			
(試料+蒸留水+ピクノメーター) 質量 $m_{\text{d}}(T_1)$ g		143.474	139.217	141.941			
$m_{\text{d}}(T_1)$ をはかったときの内容物の温度 T_1 °C		23.8	23.8	23.8			
T_1 °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T_1)$ Mg/m ³		0.99734	0.99734	0.99734			
温度 T_1 °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター) 質量 $m_{\text{d}}(T_1)^{1)}$ g		135.212	130.708	133.819			
試料の 炉乾燥質量	容器 No.	13	14	15			
	(炉乾燥試料+容器)質量g	89.726	87.462	91.307			
	容器質量 g	76.619	73.943	78.413			
m_s g		13.107	13.519	12.894			
土粒子の密度 ρ_s Mg/m ³		2.698	2.691	2.695			
平均値 ρ_s Mg/m ³		2.695					
試料番号 (深さ)							
ピクノメーター No.							
(試料+蒸留水+ピクノメーター) 質量 $m_{\text{d}}(T_1)$ g							
$m_{\text{d}}(T_1)$ をはかったときの内容物の温度 T_1 °C							
T_1 °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T_1)$ Mg/m ³							
温度 T_1 °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター) 質量 $m_{\text{d}}(T_1)^{1)}$ g							
試料の 炉乾燥質量	容器 No.						
	(炉乾燥試料+容器)質量g						
	容器質量 g						
m_s g							
土粒子の密度 ρ_s Mg/m ³							
平均値 ρ_s Mg/m ³							
試料番号 (深さ)							
ピクノメーター No.							
(試料+蒸留水+ピクノメーター) 質量 $m_{\text{d}}(T_1)$ g							
$m_{\text{d}}(T_1)$ をはかったときの内容物の温度 T_1 °C							
T_1 °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T_1)$ Mg/m ³							
温度 T_1 °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター) 質量 $m_{\text{d}}(T_1)^{1)}$ g							
試料の 炉乾燥質量	容器 No.						
	(炉乾燥試料+容器)質量g						
	容器質量 g						
m_s g							
土粒子の密度 ρ_s Mg/m ³							
平均値 ρ_s Mg/m ³							

特記事項

1) ピクノメーターの検定結果から求める。

$$\rho_s = \frac{m_s}{m_s + [m_{\text{d}}(T_1) - m_{\text{d}}(T_1)]} \rho_w(T_1)$$

調査件名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日 2026年 9月 7日

試 験 者 XXXXXXXXXX

試料番号 (深さ)	BV-3:3TW-1 (3.00～3.50m)					
容 器 No.	168	169	170			
m_a g	83.84	75.72	68.64			
m_b g	66.23	60.96	56.26			
m_c g	29.72	29.36	30.52			
w %	48.2	46.7	48.1			
平均値 w %	47.7					
特 記 事 項						

試料番号 (深さ)						
容 器 No.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平均値 w %						
特 記 事 項						

試料番号 (深さ)						
容 器 No.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平均値 w %						
特 記 事 項						

試料番号 (深さ)						
容 器 No.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平均値 w %						
特 記 事 項						

試料番号 (深さ)						
容 器 No.						
m_a g						
m_b g						
m_c g						
w %						
平均値 w %						
特 記 事 項						

$$w = \frac{m_a - m_b}{m_b - m_c} \times 100$$

m_a : (試料+容器)質量
 m_b : (炉乾燥試料+容器)質量
 m_c : 容器質量

調査件名

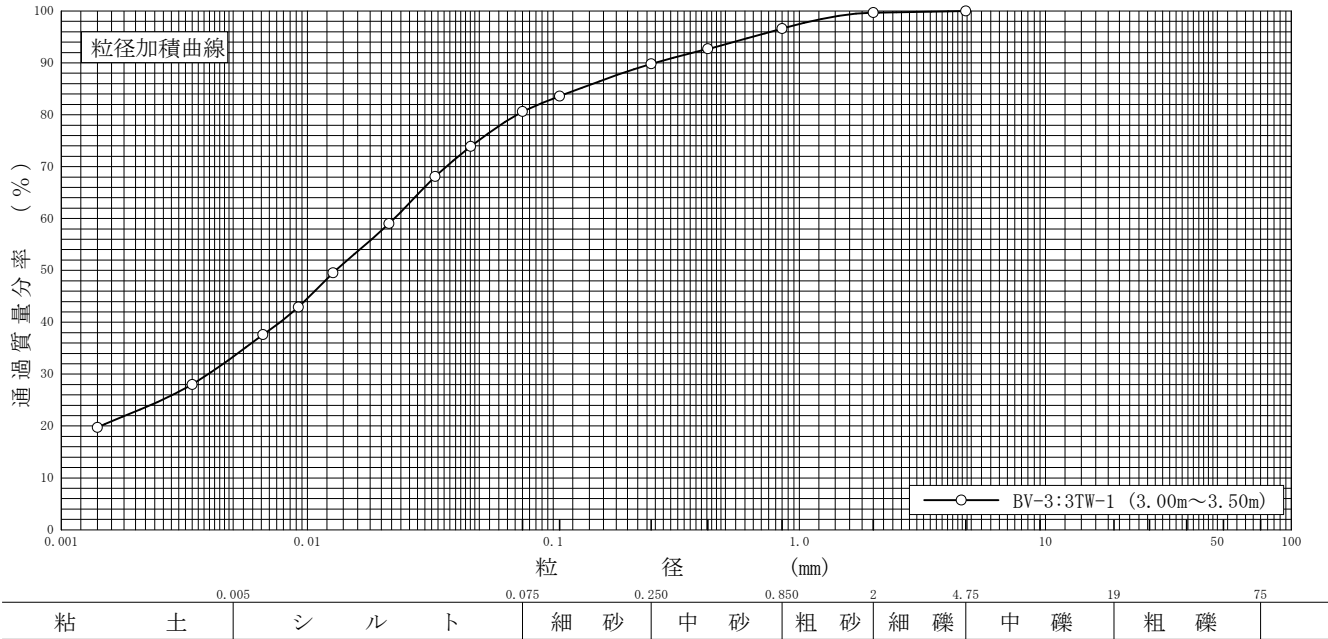
第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日

2026年 9月 8日

試験者

試料番号 (深 さ)	BV-3:3TW-1 (3.00~3.50m)				試 料 番 号 (深 さ)	BV-3:3TW-1 (3.00~3.50m)	
ふるい 分 析	粒 径 mm	通過質量分率%	粒 径 mm	通過質量分率%	粗 礫 分 %	-	
	75		75		中 礫 分 %	-	
	53		53		細 礫 分 %	0.3	
	37.5		37.5		粗 砂 分 %	3.1	
	26.5		26.5		中 砂 分 %	6.8	
	19		19		細 砂 分 %	9.2	
	9.5		9.5		シ ル ト 分 %	47.3	
	4.75	100.0	4.75		粘 土 分 %	33.3	
	2	99.7	2		2mmふるい通過質量分率 %	99.7	
	0.850	96.6	0.850		425μmふるい通過質量分率 %	92.7	
	0.425	92.7	0.425		75μmふるい通過質量分率 %	80.6	
	0.250	89.8	0.250		最 大 粒 径 mm	4.75	
	0.106	83.6	0.106		60 % 粒 径 D_{60} mm	0.023	
	0.075	80.6	0.075		50 % 粒 径 D_{50} mm	0.013	
沈 降 分 析	0.0461	73.9			30 % 粒 径 D_{30} mm	0.0040	
	0.0331	68.1			10 % 粒 径 D_{10} mm	-	
	0.0215	59.0			均 等 係 数 U_c	-	
	0.0127	49.5			曲 率 係 数 U_c'	-	
	0.0092	42.9			土 粒 子 の 密 度 ρ_s Mg/m ³	2.695	
	0.0066	37.6			使用した分散剤	ヘキサメタリン酸ナトリウム	
	0.0034	28.0			溶液濃度, 溶液添加量	20%, 10ml	
	0.0014	19.7			20 % 粒 径 D_{20} mm	0.0014	



特記事項

調査件名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日 2026年 9月 8日

試験者

試料番号（深さ） BV-3:3TW-1（3.00～3.50m）

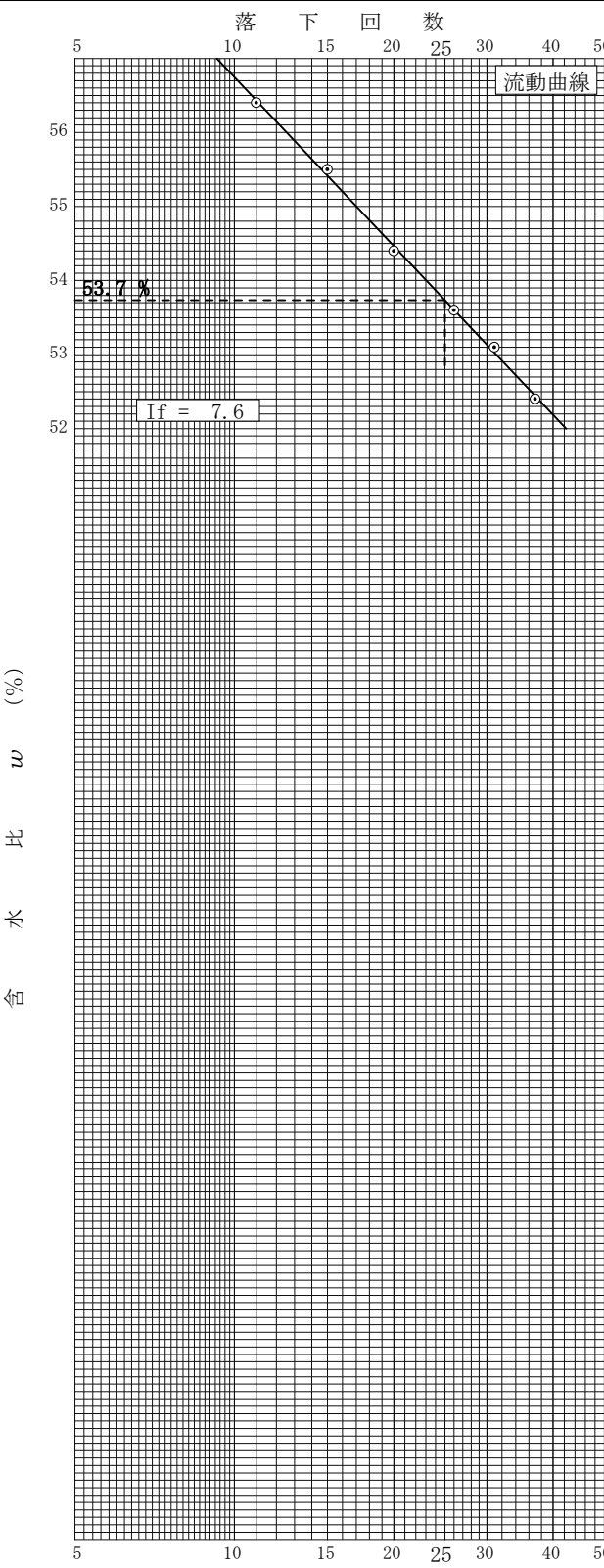
液性限界試験		塑性限界試験	液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	53.7
37	52.4	28.3	塑性限界 w_p %
31	53.1	27.5	28.0
26	53.6	28.2	塑性指数 I_p
20	54.4		25.7
15	55.5		
11	56.4		

液性限界試験		塑性限界試験	液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	
			塑性限界 w_p %
			塑性指数 I_p

液性限界試験		塑性限界試験	液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	
			塑性限界 w_p %
			塑性指数 I_p

液性限界試験		塑性限界試験	液性限界 w_L %
落下回数	含水比 w %	含水比 w %	
			塑性限界 w_p %
			塑性指数 I_p

特記事項



JIS A 1225 JGS 0191	土の湿潤密度試験（ノギス法）	
------------------------	----------------	--

調査件名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業) 試験年月日 2026年 9月 4日

試料番号（深さ） BV-3:3TW-1 (3.00～3.50m) 試験者

供 試 体 No.			1	2	3	4	
供試体の質量 m g			133.02	134.67	130.84	130.47	
供 試 体	直 径	上 部 mm	35.0	35.0	35.0	35.0	
			35.0	35.0	35.0	35.0	
		中 部 mm	35.0	35.1	35.0	35.0	
			35.0	35.1	35.0	35.0	
		下 部 mm	35.0	35.1	35.0	35.0	
			35.1	35.0	35.0	34.9	
		平 均 値 D mm	35.0	35.1	35.0	35.0	
	高 さ	mm	80.0	80.0	80.0	80.0	
			80.0	80.0	80.0	80.0	
			80.0	80.0	80.0	80.0	
		平 均 値 H mm	80.0	80.0	80.0	80.0	
体 積 $V = (\pi D^2 / 4)H$ mm ³			76.97×10 ³	77.41×10 ³	76.97×10 ³	76.97×10 ³	
含 水 比	容 器 No.		1673	1565	3586	1515	
	m_a g		64.80	64.00	64.56	63.87	
	m_b g		53.30	52.94	53.51	51.56	
	m_c g		27.01	27.51	31.75	26.87	
	w %		43.7	43.5	50.8	49.9	
	容 器 No.		3598	3645	1922	1738	
	m_a g		67.39	68.96	63.91	66.47	
	m_b g		56.80	58.03	51.81	53.66	
	m_c g		32.49	31.90	27.93	28.48	
	w %		43.6	41.8	50.7	50.9	
平 均 値 w %			43.7	42.7	50.8	50.4	
湿潤密度 $\rho_t = (m / V) \times 10^3$ Mg/m ³			1.728	1.740	1.700	1.695	
乾燥密度 $\rho_d = \rho_t / (1 + w / 100)$ Mg/m ³			1.203	1.219	1.127	1.127	
間 隙 比 $e = (\rho_s / \rho_d) - 1$			1.240	1.211	1.391	1.391	
飽 和 度 $S_r = w \rho_s / (e \rho_w)$ %			95.0	95.0	98.4	97.6	
土粒子の密度 ρ_s Mg/m ³			2.695	平 均 値 w %	46.9	平均値 ρ_t Mg/m ³	1.716
平 均 値 ρ_d Mg/m ³			1.169	平 均 値 e	1.308	平均値 S_r %	96.5

特記事項

調査件名

第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日

2026年 9月 16日

試料番号(深さ)

BV-3:3TW-1 (3.00~3.50m)

試験者

供試体を用いる試験の基準番号と名称		JGS 0521 土の非圧密非排水(UU)三軸圧縮試験			
試料の状態 ¹⁾	乱さない	土粒子の密度 $\rho_s^{3)}$ Mg/m ³		2.695	
供試体の作製 ²⁾	トリミング法	液性限界 w_L % ⁴⁾		53.7	
土質名称	(CHS)	塑性限界 w_p % ⁴⁾		28.0	
供試体 No.		1	2	3	4
初期状態	直径 mm	35.0	35.0	35.0	35.0
		35.0	35.0	35.1	35.0
		35.1	35.0	35.1	35.0
	平均直径 D_i mm	35.0	35.0	35.1	35.0
		80.0	80.0	80.0	80.0
		80.0	80.0	80.0	80.0
	高さ mm	80.0	80.0	80.0	80.0
		80.0	80.0	80.0	80.0
		80.0	80.0	80.0	80.0
	平均高さ H_i mm	80.0	80.0	80.0	80.0
	体積 V_i mm ³	76.97×10 ³	76.97×10 ³	77.41×10 ³	76.97×10 ³
	含水比 w_i %	43.7	50.8	42.7	50.4
	質量 m_i g	133.02	130.84	134.67	130.47
	湿潤密度 $\rho_{ti}^{3)}$ Mg/m ³	1.728	1.700	1.740	1.695
設置・飽和過程	乾燥密度 $\rho_{di}^{3)}$ Mg/m ³	1.203	1.127	1.219	1.127
	間隙比 $e_i^{3)}$	1.240	1.391	1.211	1.391
	飽和度 $S_{ri}^{3)}$ %	95.0	98.4	95.0	97.6
	相対密度 $D_{ri}^{3)}$ %				
	軸変位量の測定方法				
	設置時の軸変位量 mm				
	飽和過程の軸変位量 mm				
	軸変位量 $\Delta H_i^{5)}$ mm				
	体積変化量の測定方法				
	設置時の体積変化量 mm ³				
	飽和過程の体積変化量 mm ³				
	体積変化量 $\Delta V_i^{5)}$ mm ³				
圧密前(試験前)	高さ H_0 mm	80.0	80.0	80.0	80.0
	直径 D_0 mm	35.0	35.0	35.1	35.0
	体積 V_0 mm ³	76.97×10 ³	76.97×10 ³	77.41×10 ³	76.97×10 ³
	乾燥密度 $\rho_{d0}^{3)}$ Mg/m ³	1.203	1.127	1.219	1.127
	間隙比 $e_0^{3)}$	1.240	1.391	1.211	1.391
	相対密度 $D_{r0}^{3)}$ %				
炉乾燥後	容器 No.				
	(炉乾燥供試体+容器)質量 g				
	容器質量 g				
	炉乾燥質量 m_s g	92.57	86.76	94.37	86.75

特記事項

1) 試料の採取方法、試料の状態(塊状、凍結、ときほぐされた)等を記載する。
2) トリミング法、負圧法の種別、凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
3) 必要に応じて記載する。
4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界、塑性限界、砂質土の場合は最小乾燥密度、最大乾燥密度等を記載する。
5) 設置時の変化と飽和過程およびB値測定過程での変化を合わせる。

調査件名

第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日

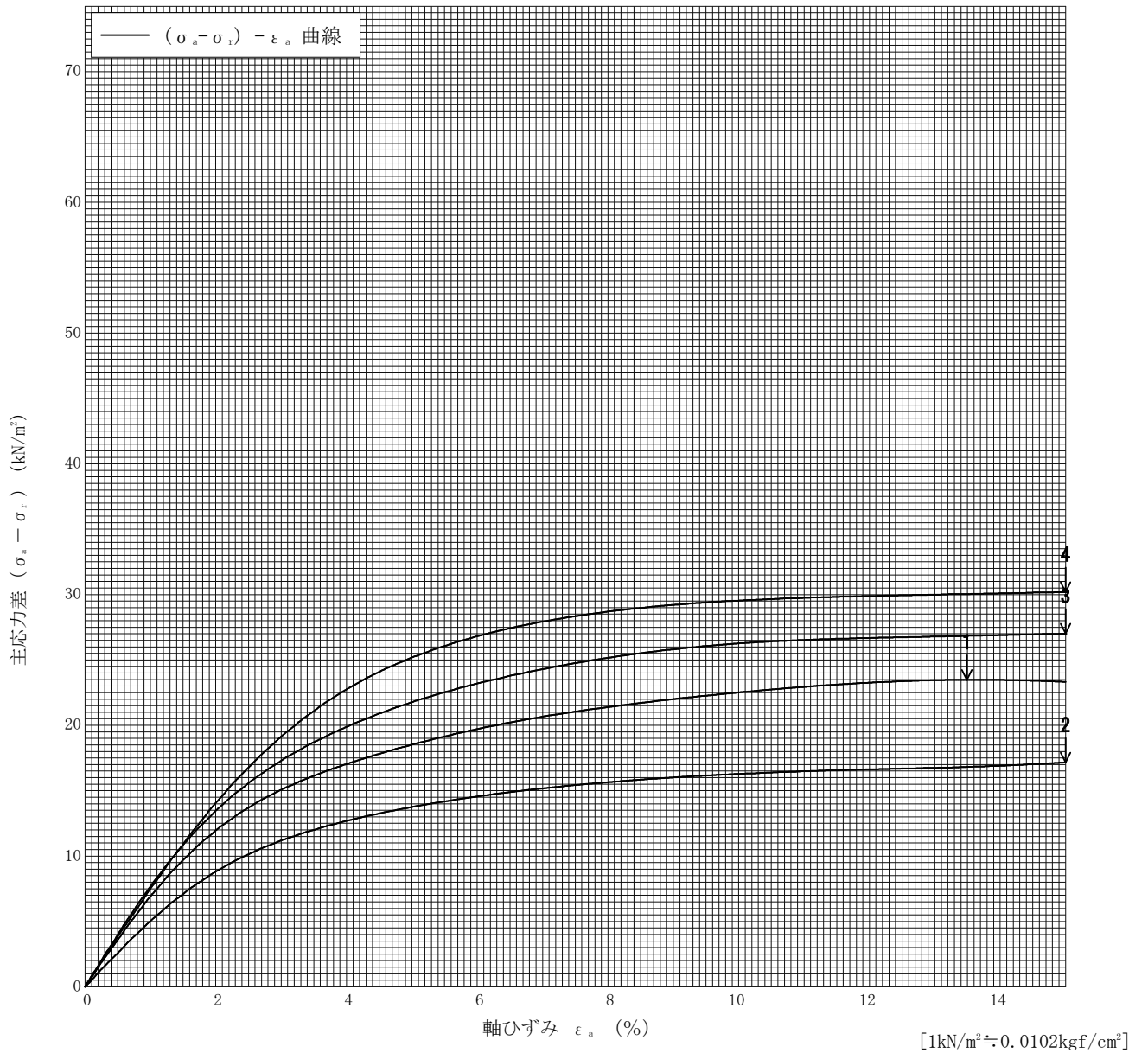
2026年 9月 16日

試料番号 (深さ)

BV-3:3TW-1 (3.00~3.50m)

試験者

土 質 名 称	(CHS)	供 試 体 No.		1	2	3	4
液性限界 w_L %	53.7	セル圧・圧密応力 σ_a kN/m^2		25	50	75	100
塑性限界 w_p %	28.0	背 圧 u_b kN/m^2		0	0	0	0
ひずみ速度 %/min	1.0	圧縮強さ $(\sigma_a - \sigma_r)_{\max}$ kN/m^2		23	17	27	30
特記事項 1) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界，塑性限界，砂質土の場合は最小乾燥密度，最大乾燥密度等を記載する。	主 応 力 差 最 大 時	軸ひずみ ε_{af} %		13.49	15.00	15.00	15.00
		CU	間隙水圧 u_f kN/m^2				
			有効軸方向応力 σ'_{af} kN/m^2				
			有効側方向応力 σ'_{rf} kN/m^2				
		CD	体積ひずみ ε_{vf} %				
			間 隙 比 e_f				
		供試体の破壊状況					



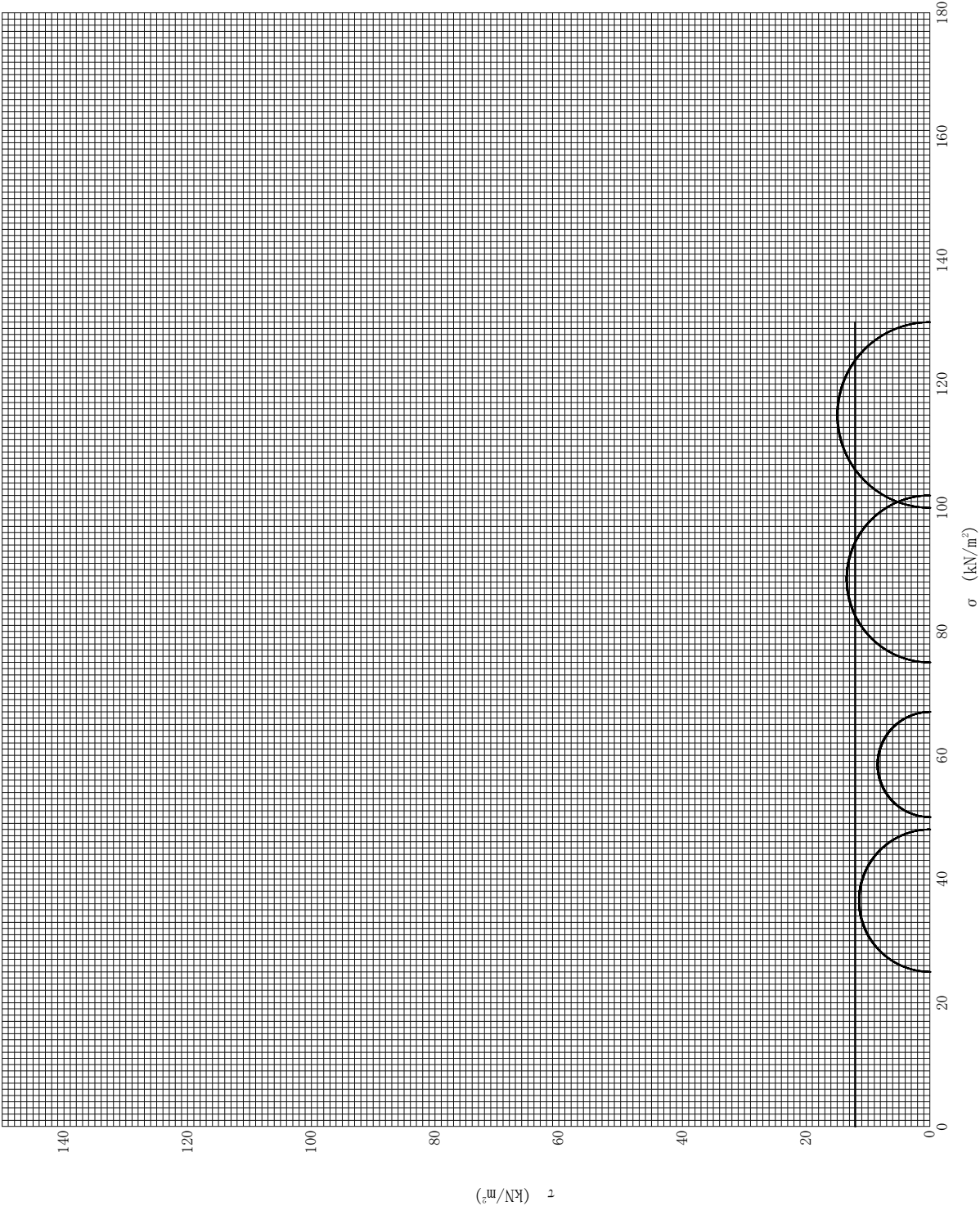
調査件名 第010-委1号 令和8年度 地質調査業務委託(医大・周辺まちづくり検討事業)

試験年月日 2026年 9月 16日

試料番号 (深さ) BV-3:3TW-1 (3.00～3.50m)

試験者

強度定数 応力範囲	全 応 力			有 効 応 力	
	c_u kN/m ²	ϕ_u °	$\tan \phi_u$	c' kN/m ²	ϕ' °
正 規 圧 密 領 域					
過 圧 密 領 域					
	12	0.0	0.00		



特記事項